

令和 2 年度

市民アンケート実施結果 報 告 書

令和 2 年 8 月

鹿角市総務部政策企画課総合戦略室

目 次

I	実施概要	3
II	回収状況	4
III	調査の総括	5
IV	設問別集計結果	13
1	子育て支援について	14
2	公共交通について	18
3	地域情報化について	22
4	中心市街地について	25
5	男女共同参画の状況について	27
6	芸術鑑賞について	29
7	コモッセの利用状況について	32
8	学びの状況について	34
9	運動の実施状況について	36
10	教育のあり方・方向性について	38
11	学校の再編を進めることについて	40
12	地域コミュニティについて	42
13	上水道について	44
14	住みごこちについて	47
15	愛着について	49
16	まちの満足度について	51
17	市の政策について	58
18	自由意見	64
資料	令和2年度市民アンケート回答票	77

I 実施概要

1 実施目的

本市では、平成 23 年度から令和 2 年度を計画期間とする「第 6 次鹿角市総合計画（以下、「総合計画」と呼びます。）」において、市の将来のあるべき姿として、「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」を将来都市像として定め、その実現を目指しています。この調査は、総合計画の推進を図るため、市が導入している行政評価制度の外部評価の一環として、総合計画を構成する各施策の進捗状況を成果指標として確認するほか、施策の効果とニーズ（需要）を調査・把握するとともに、市民の意識や意見等を集約し、今後の施策推進に活用することを目的としています。

2 設問構成

設問	設問の趣旨	担当課
1 あなた自身について	居住地区、性別、年代、子育て状況の確認	—
2 子育て支援について	子育てしやすいまちだと感じる割合と必要と感じる支援の把握	すこやか子育て課
3 公共交通について	バス等の利用頻度と不便を感じる方の割合の把握	市民共動課
4 地域情報化について	インターネット利用状況の把握	総務課
5 中心市街地について	中心市街地の生活環境に対する満足度と不満要因の把握	総合戦略室
6 男女共同参画の状況について	地域内の共同参画状況の把握	市民共動課
7 芸術鑑賞について	芸術鑑賞した割合の把握	生涯学習課
8 コモッセの利用状況について	コモッセの利用状況の把握	生涯学習課
9 学びの状況について	講座や研修会の参加状況の把握	生涯学習課
10 運動の実施状況について	運動や生活活動の頻度とその時間の把握	スポーツ振興課
11 教育のあり方・方向性について	今後力をいれるべき教育の把握	総務学事課
12 学校の再編について	学校統合を進めることに対する考えの把握	総務学事課
13 地域コミュニティについて	社会活動、地域活動への参加頻度の把握	市民共動課
14 上水道について	水道水の水質に対する満足度と不満要因の把握	上下水道課
15 住みごごちについて	鹿角市の住みごごちに対する満足度の把握	総合戦略室
16 愛着について	鹿角市に愛着を持っている方の割合の把握	総合戦略室
17 まちの満足度について	まちに活力や魅力、快適な環境があると思う方の割合の把握	総合戦略室
18 市の政策について	施策効果と市民ニーズを調査し、施策評価と優先度等を把握	総合戦略室
19 自由記入	—	—

3 実施期間

令和 2 年 5 月 28 日（木）～6 月 15 日（月）まで

4 実施対象

令和 2 年 5 月 28 日時点で住民基本台帳に登録されている方のうち、無作為によって抽出した満年齢 18 歳から 74 歳までの市民 700 人。抽出にあたっては性別、年齢、地域条件を考慮し均衡を図ったほか、平成 29 年度から令和元年度までの市民アンケート調査対象者を除いています。

5 実施方法

- (1) 配付 自治会長及び広報等配布員による配付（一部郵送）
- (2) 回収 職員による回収及び郵便（受取人払い）による回収

II 回収状況

1 回収率

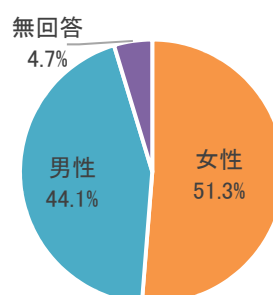
73.3%（513人／700人） ※令和元年度の回収率 68.6%（480人／700人）

2 回答者の属性

市民アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は次のとおりです。構成比¹は、その区分の対象者（回答者）が全対象者（回答者）のうち何%を占めているかを表しています。回収率²は、その区分の対象者数のうち何%³が回答を寄せたかを表しています。

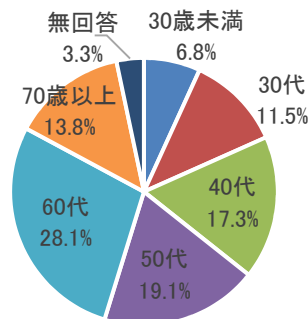
(1) 男女別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
男性	355	50.7%	226	44.1%	63.7%
女性	345	49.3%	263	51.3%	76.2%
無回答	—	—	24	4.7%	—
計	700	100%	513	100%	73.3%



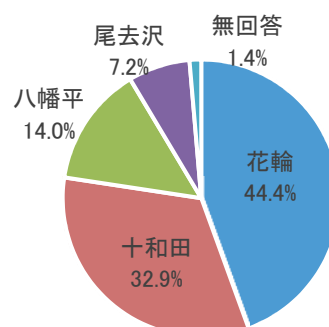
(2) 年代別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
30歳未満	83	11.9%	35	6.8%	42.2%
30代	91	13.0%	59	11.5%	64.8%
40代	128	18.3%	89	17.3%	69.5%
50代	136	19.4%	98	19.1%	72.1%
60代	172	24.6%	144	28.1%	83.7%
70歳以上	90	12.9%	71	13.8%	78.9%
無回答	—	—	17	3.3%	—
計	700	100%	513	100%	73.3%



(3) 地区別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
花輪	329	47.0%	228	44.4%	69.3%
十和田	227	32.4%	169	32.9%	74.4%
尾去沢	55	7.9%	37	7.2%	67.3%
八幡平	89	12.7%	72	14.0%	80.9%
無回答	—	—	7	1.4%	—
計	700	100%	513	100%	73.3%



¹ 構成比 = その区分に属する対象者数(回答者数)÷全対象者数(全回答者数)

² 回収率 = その区分に属する回答者数÷その区分に属する対象者数

³ 各設問における項目選択の割合(%)は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

Ⅲ 調査の総括



Ⅲ 調査の総括

1 子育て支援について

子育て支援の満足度	52.8%	▶詳細 P 14
-----------	-------	----------

前年(45.0%)より7.8ポイント増加し、特に子育て世代である30歳未満の年代が、前年(32.4%)より21.9ポイント上回る結果となりました。ファミリー・サポート・センターや子育て世代包括支援センターの開設によって、妊娠期から子育て期にわたり安心して支援を受けられる環境が整ったことや、令和元年10月から保育料の無償化制度に合わせ、助成を充実したことにより、満足度が上昇したものと考えられます。

必要と考える子育て支援の充実については、児童手当支給年齢の引き上げや支給額の増額が多くあったほか、小児科医などの病院の充実を望む声があり、身近に安心して通院できる医療体制の整備が求められています。

2 公共交通について

数年間、公共交通を利用したことがない人の割合	67.8%	▶詳細 P 18
公共交通に不便を感じる市民の割合	18.1%	▶詳細 P 20

日常の移動手段として自家用車を使用している方が9割以上いると考えられ、利用時間や行先に制限のない自家用車と比較して、制限の多い公共交通は不便と感じている人が多い状況が続いています。

公共交通に不便を感じる市民の割合は、前年より4.2ポイント減少しましたが、「バス、鉄道ともに運行本数が少ない」「バス停や駅まで遠い」「乗り換えが不便である」といった声が寄せられています。

利用者の減少に伴い運行本数を削減してきた経緯もあり、増便は難しい状況にありますが、予約型デマンド運行や地域主体の乗合交通の取組を進めながら、最寄りのバス停までの距離が遠い方々の利便性向上を図ることが必要です。

また、学校再編や交通需要に基づく路線網の見直しなどにより、運行の効率化を図るとともに、公共交通を必要とする方への支援制度の拡充や啓発活動により市民の関心を高め、地域に必要な公共交通を維持していきます。

3 地域情報化について

インターネットを利用している市民の割合	74.3%	▶詳細 P 22
---------------------	-------	----------

前年（77.9%）を3.6ポイント下回りましたが、普及率は高い水準を維持しています。

これまで普及率が高かった50代以下の年代に加え、60代以上の年代でインターネット利用が浸透しています。

利用機器は、各年代でスマートフォンの利用が最も多く、とくに50代以上で前年より大幅に増加しているなど、年代を問わずスマートフォンで気軽にインターネットを利用していることがうかがえます。

4 中心市街地について

中心市街地の環境に満足している市民の割合	49.7%	▶詳細 P 25
----------------------	-------	----------

中心市街地として位置付ける花輪市街地の環境に「満足」「やや満足」と回答した割合は、49.7%で前年（52.9%）を3.2ポイント下回りました。

年代別では、30歳未満が前年（48.6%）から11.4ポイント増加し、30代から60代までがほぼ横ばいである一方で、70歳以上では前年（68.0%）から24.4ポイント減少しています。70歳以上のマイナス評価の理由としては、買い物する場所や営業時間のほか、まちの賑わいや活気のなさを挙げるものが多くなっていますが、「駐車場が少ない」「公共交通機関が不便」といった交通に関する理由は、例年同様、年代を問わず多くなっています。

中心市街地の満足度を高めるためには、買い物客のニーズに応えられるような各店舗の魅力向上とともに、交通アクセスの改善が必要です。

5 男女共同参画の状況について

男女の地位が平等になったと感じている人の割合	26.7%	▶詳細 P 27
------------------------	-------	----------

男女の地位が平等であると感じている市民の割合は26.7%で、前年（27.3%）より0.6ポイントの減少となりました。「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した方の割合は59.8%で、前年（62.8%）より3.0ポイント減少に転じたものの、男性優遇と考える割合が依然として高い状況が続いています。

また、「平等である」と回答した男女の割合を比較すると、男性（32.3%）と女性（22.8%）の差は9.5ポイントで、前年（13.2%）より縮小したものの、男女間の意識に格差が生じていることがうかがわれます。

このほか、年代別では、30歳未満で「平等である」と感じる割合が60.0%に達していることから、引き続き、男女の役割に関する固定的な観念を解消し、性別に関わりなく個性や能力を発揮できるよう啓発活動に取り組むことが必要です。

6 芸術鑑賞について

1 年間に芸術鑑賞に親しんだ割合	39.0%	▶詳細 P 29
------------------	-------	----------

芸術鑑賞した人は 39.0%で昨年 (41.0%) を 2.0 ポイント下回ったものの、昨年と同水準で推移しています。このうち、コモッセで芸術鑑賞をした割合は 69.0%で、昨年より 1.5 ポイント増加していることから、鑑賞機会としてコモッセが利用されていることがうかがえます。

また、コモッセ（文化ホール）で鑑賞した人を年代別にみると、70 歳以上が 85.7%と最も多く、次いで 40 代が 72.7%でしたが、引き続き、様々な年代の方が芸術に触れ、楽しむことができるよう、プロや市民参加型の公演など、魅力的な芸術鑑賞機会を創出していく必要があります。

7 コモッセの利用状況について

1 年間にコモッセを利用した割合	56.1%	▶詳細 P 32
------------------	-------	----------

コモッセを利用した人は 56.1%で、前年 (61.1%) を 5.0 ポイント下回る結果となりました。

どの年代もおおむね 50%から 60%の利用がありましたが、30 歳未満が前年 (43.2%) より 11.1 ポイント増加した一方で、60 代では前年 (61.9%) から 12.6 ポイント減少し、年代によって増減のばらつきが見られます。

また、一度も利用しなかった理由として、「用事がない」「興味のあるイベントがない」という声が多かったことから、これまで足を運ぶ機会がなかった人にも気軽に立ち寄ってもらえるよう、複合施設の利点を活かした催しや様々な利用方法を知ってもらう取組が必要です。

8 学びの状況について

1 年間に講座や研修会に参加した割合	17.0%	▶詳細 P 34
--------------------	-------	----------

1 年間に講座や研修会に参加した市民の割合は 17.0%となっています。

年代別では、70 歳以上の参加率が 23.9%と最も高く、生きがいや仲間づくり、自己啓発等を目的に参加する方が多い年代であることがうかがえます。一方、40 代は 10.1%と全年代の中で最も低くなっており、地域の担い手として期待される年代ですが、仕事や子育てに多忙で参加しにくい状況が考えられるため、ニーズの把握に努めながら、学びの機会の提供方法について検討する必要があります。

9 運動の実施状況について

週 1 回以上の頻度で運動する市民の割合	52. 2%	▶詳細 P 36
----------------------	--------	----------

実施率は 52.2%と前年（50.3%）を 1.9 ポイント上回り、平成 25 年度以降、継続して 50%以上を保っています。

年代別では、30 歳未満が 62.9%で、前年（48.6%）より 14.3 ポイント上回り、30 代や 40 代においてもそれぞれ 2.7 ポイント改善したものの、依然として 30 代から 50 代の働き盛り世代の割合が 50%を下回っている状況です。チャレンジデーやスポーツイベントを継続して開催し、今後も多くの市民がスポーツに親しめるよう、啓発に努める必要があります。

10 教育のあり方・方向性について

今後 10 年間に力を入れるべき教育	▶詳細 P 38
--------------------	----------

今後 10 年間に力を入れるべき教育として、「あいさつや言葉遣いなど集団生活のルールを身に付ける指導」が一番多く、次いで「社会の中でたくましく生き抜く豊かな心と健やかな体の育成」、「自然災害や獣害、感染症から身を守る教育の推進」や「ふるさとを愛し、ふるさとを支える気概をもった人材の育成」、「自己実現のために必要な確かな学力の育成」が続く結果になりました。

社会情勢や、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中においても、「豊かな心や健やかな体、集団のルールやふるさと愛」といった時が経っても変わらない大切な部分の教育が望まれています。

11 学校再編を進めることについて

統合はやむを得ないと考える割合	74. 7%	▶詳細 P 40
-----------------	--------	----------

望ましい学校規模に統合することについて、「やむを得ない」が 74.7%という結果になりました。小規模でのきめ細かい指導などを期待するよりも、複式学級などのデメリットを回避すべきという意向が反映されたものと考えられます。

また、統合方法については「近くの学校同士」が 39.0%、「小中一貫校、義務教育学校」が 34.1%となり、学校再編の方法については意見が分かれる結果となりました。

12 コミュニティについて

社会活動・地域活動の参加割合	60.0%	▶詳細 P 42
----------------	-------	----------

昨年1年間に社会活動や地域活動に参加した方の割合は60.0%で、前年(54.8%)を5.2ポイント上回る結果となりました。

年代別では、30歳未満が25.7%で特に低くなっていますが、40代以上の参加率はいずれも6割を超え、本市の地域活動の担い手として活躍されていることがうかがえます。

地域コミュニティの活性化を図るために、現在の活動の中心となっている世代に加え、若年層も含めたすべての世代が参加できるような仕組みを構築することが必要です。

13 上水道について

水道水の水質について	▶詳細 P 44
------------	----------

「ふつう」が43.3%で、「満足」「やや満足」とあわせると、日常生活のなかで当たり前のサービスとして認知され、利用されていることがうかがえます。

また、「不満」「やや不満」は10.4%でしたが、その理由については「おいしくない」が最も多く、次いで「においがある」となっています。

今後、人口減少に伴う給水収益の減少や、施設の老朽化などにより、施設の維持が課題となりますが、水道への関心と満足度がより一層高まるような取組が必要です。

14 住みごちについて

住みごちに満足している割合	53.8%	▶詳細 P 47
---------------	-------	----------

「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方は53.8%であり、前年(43.1%)から10.7ポイント改善しました。すべての年代で前年を上回りましたが、特に30歳未満で前年(35.1%)から19.2ポイント、60代で前年(47.3%)から11.7ポイント伸びており、男女別では、男性が53.5%、女性が53.2%で同じ水準となっています。

ポイント改善の背景には、子育て支援や健康づくりなどに関する満足度のほか、鹿角花輪駅前広場や市営住宅の整備、鹿角観光ふるさと館「あんたらあ」の改修など、計画的な社会基盤の整備に対する評価が反映されたものと考えられます。

15 愛着について

鹿角に愛着を持っている割合	68.4%	▶詳細 P 49
---------------	-------	----------

鹿角市に愛着がある方の割合は 68.4%で、前年（63.1%）を 5.3 ポイント上回りました。

すべての地区で前年を上回り、花輪地区が 1.5 ポイント、十和田地区が 11.6 ポイント、八幡平地区が 2.3 ポイント、尾去沢地区が 0.8 ポイントの増となっています。

また、年代別では 30 歳未満が前年（54.1%）から 5.9 ポイント、50 代が前年（57.4%）から 14.0 ポイント、60 代が（65.5%）から 8.8 ポイントの増となりました。

愛着はふるさとへの誇りを生み、地域を盛り上げる雰囲気醸成や魅力的な地域づくりの礎となることから、鹿角ブランドの取組を強化し、愛着をさらに高めていく必要があります。

16 まちの満足度について

▶詳細 P 51

令和 3 年度から始まる第 7 次鹿角市総合計画において、各分野の取組の評価基準とするため、現状についてどう思うかを答えていただきました。（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合）

設問項目	割合
1. 市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思う	19.5%
2. 心身ともに健康に暮らせていると思う	58.7%
3. 生活環境が快適なまちだと思う	49.7%
4. 安全で安心して暮らせるまちだと思う	77.6%
5. 市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思う	23.4%
6. 文化遺産が豊富で誇れるまちだと思う	51.3%
7. 自分に必要な行政サービスが受けられていると思う	59.8%

17 市の政策について

▶詳細 P 58

- ・市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるもの
- ・市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるもの

効果が得られていると感じるものとして、最も高い評価を得たのは「子育て支援の充実」で、これまでの取組に加え、保育料の負担軽減や放課後児童クラブのサービスが拡充されたことで満足度が上昇したものと考えられます。

2 番目に多く選択されたのは「高齢者福祉の充実」で、介護予防施設の整備が充実していることや、デイサービスの利用環境、保健師の訪問活動などの対応が評価されています。

3 番目に多く選択されたのは「健康づくりの推進」で、定期的な健診の実施とともに、対象者への呼びかけや案内が丁寧に行われていることなどが評価されています。

4 番目は「観光の振興」で、まちの玄関口である鹿角花輪駅前の整備や、道の駅かづの「あんたらあ」の改修に着手し、賑わいの創出を図っていることが評価されています。

5 番目は「農業生産の振興」で、北限の桃や枝豆、かづの牛など、農産物の積極的なブランド化の取組が評価されています。

一方、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じる施策については、前年と同じ「地域医療体制の充実」で、今回は女性に限らず、男性からも産科医の確保と小児科医の充足を望む声が寄せられました。このほか、緊急時の対応や地域医療の将来を不安に思うとの意見があり、全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が収束していない状況が影響しているものと考えられます。

2 番目も前年に続き「商店街の活性化」で、店舗の少なさや、人通りが少なく活気が感じられないことなどが主な理由として挙がっています。

3 番目は「学校教育の充実」で、前年から1つ上がりました。児童生徒の将来の夢に結びつくような教育を望む声のほか、管内高校の統合校の学科について多様化を望む意見がありました。

4 番目は「雇用の安定」で、前年同様、若年層の流出を防ぐために、若者の働く場の確保や賃金の向上を求める声があり、これらは50代以降の年代の方々から多く寄せられています。

5 番目は「市街地の整備」で、前年から2つ上がりました。シャッター街や空き家の解消のほか、商店街では駐車場の確保を求める声も寄せられました。

効果が得られていると感じるものについては継続するとともに、もっと力を入れて欲しいと感じるものについては、改善に向け、引き続き重点的かつ戦略的に取り組んでいきます。

■ 効果が得られていると感じるもの

順位	H29 年度	H30 年度	R 元年度
第1位	子育て支援の充実	観光の振興	子育て支援の充実
第2位	健康づくりの推進	子育て支援の充実	高齢者福祉の充実
第3位	高齢者福祉の充実	健康づくりの推進	健康づくりの推進
第4位	鹿角ライフの促進	高齢者福祉の充実	観光の振興
第5位	スポーツの推進	鹿角ライフの促進	農業生産の振興

■ もっと力を入れて欲しいと感じるもの

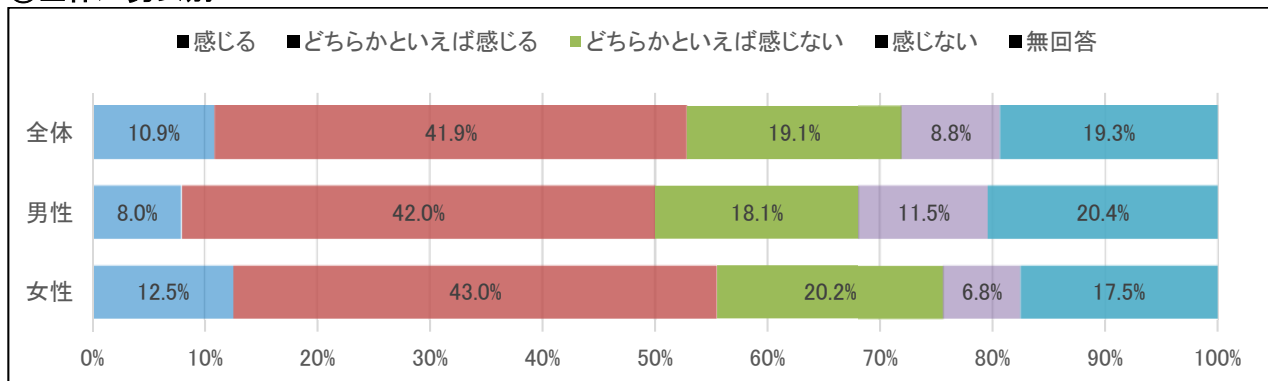
順位	H29 年度	H30 年度	R 元年度
第1位	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実
第2位	雇用の安定	商店街の活性化	商店街の活性化
第3位	商店街の活性化	雇用の安定	学校教育の充実
第4位	学校教育の充実	学校教育の充実	雇用の安定
第5位	観光の振興	地域産業の活性化 公共交通の確保	市街地の整備

Ⅳ 設問別集計結果

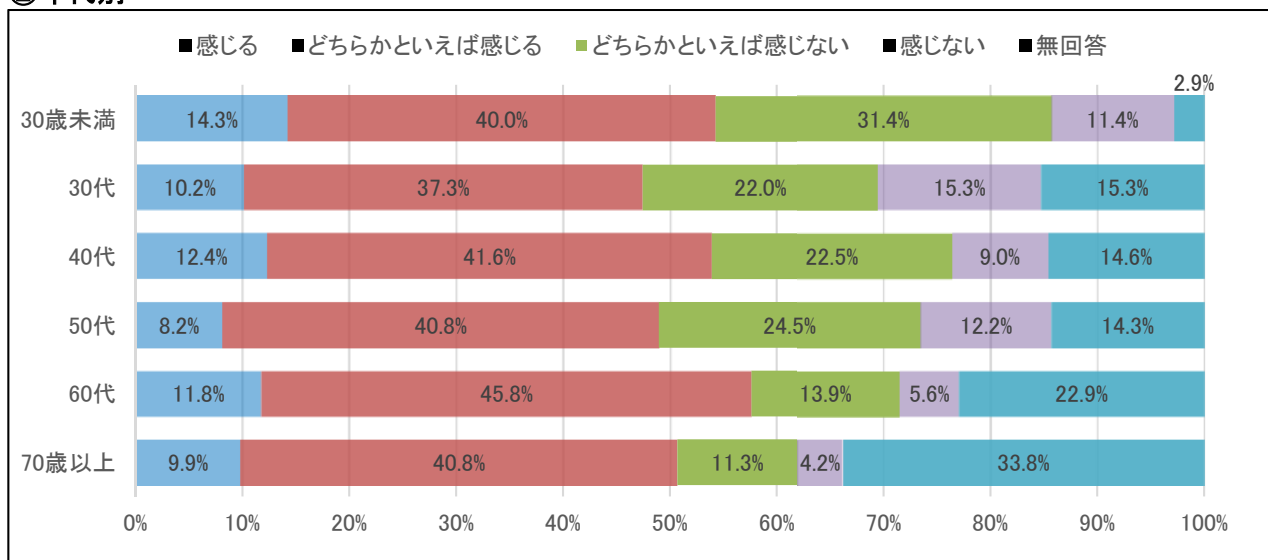
1 子育て支援について

設問 2① あなたは鹿角市が子育てしやすいまちだと感じますか。

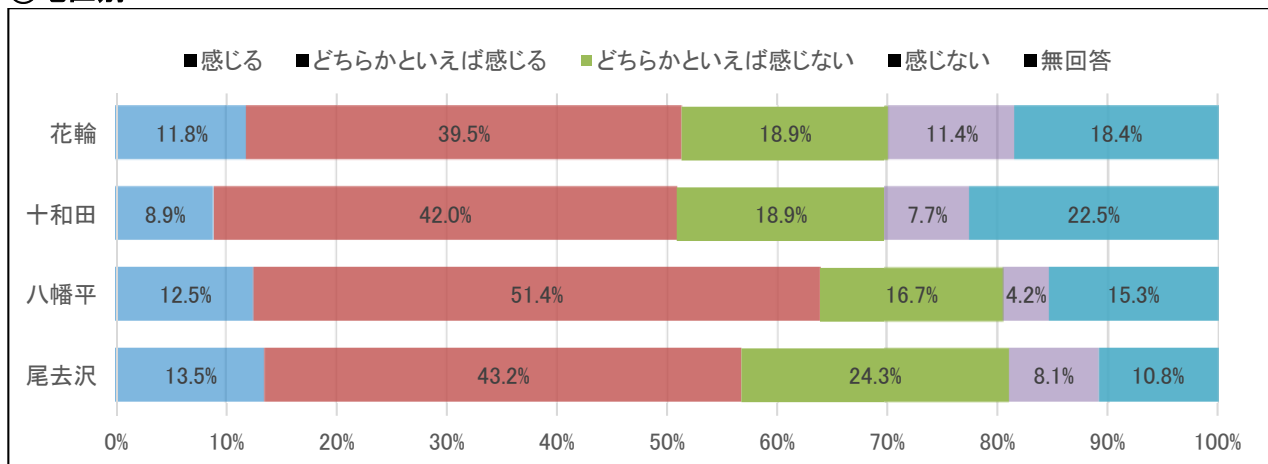
①全体／男女別



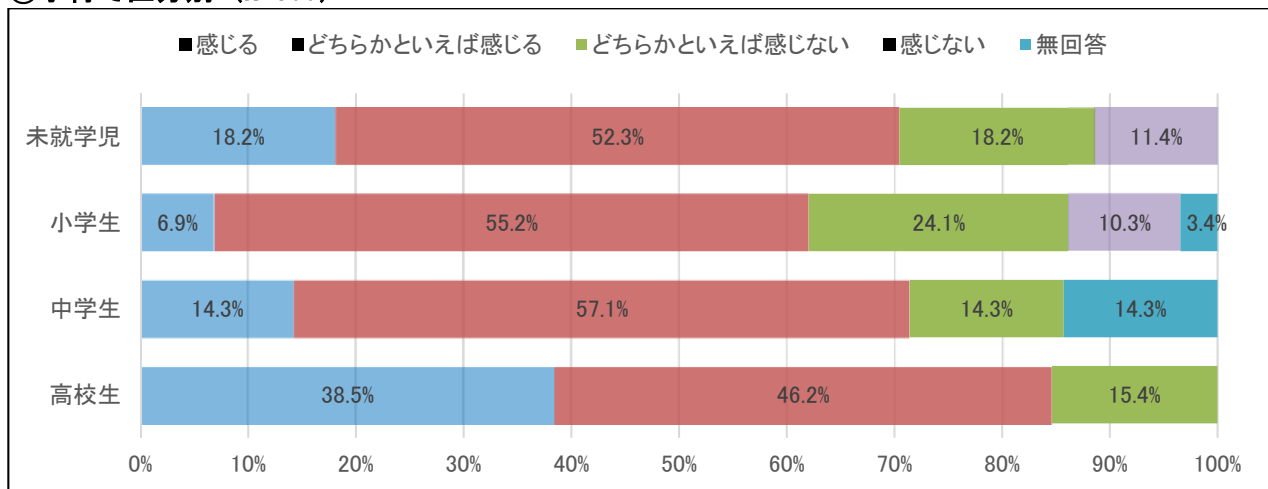
②年代別



③地区別



④子育て区分別（N=100）



⑤分析結果

「子育てしやすいまちだと感じる」、「どちらかといえば感じる」とのプラス評価が 52.8%、マイナス評価となる「感じない」、「どちらかといえば感じない」が 27.9%で、プラス評価が 24.9 ポイント高い結果となりました。

男女別では、女性のプラス評価が 55.5%に対し、男性は 50.0%となり、前年は女性と男性の評価に 15.2 ポイントの差がありましたが、今回の調査では 5.5 ポイントと差が縮まっています。

また、年代別では、前年最もプラス評価が低かった 30 歳未満の世代が 54.3%と 21.9 ポイント上昇しました。今回、最もプラス評価が高かったのは 60 代の 57.6%で、自身が子育てしていた頃の支援と比較して評価したものと推察されます。

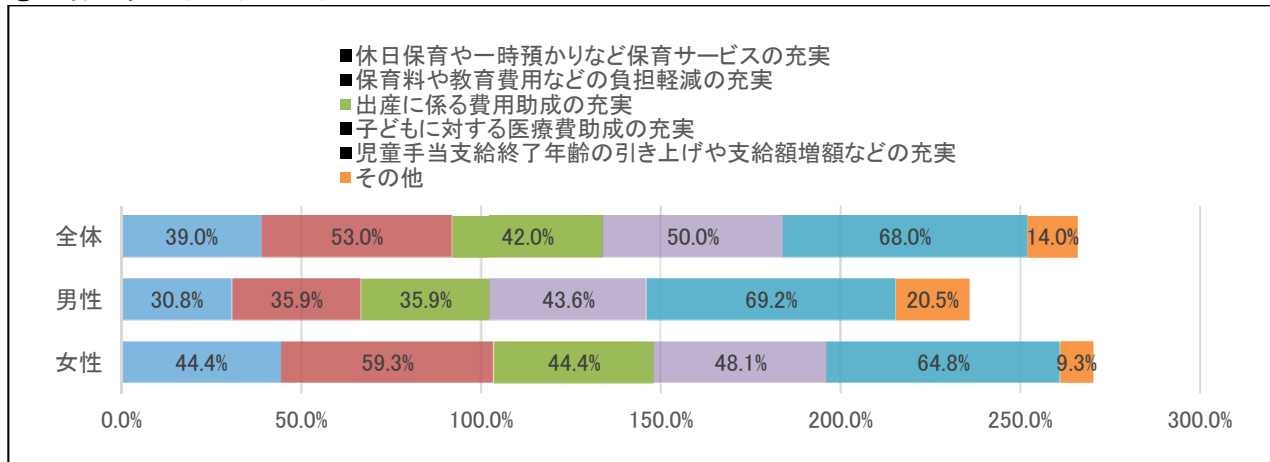
地区別では、全ての地区で 50%以上のプラス評価となっていますが、中でも八幡平地区が 63.9%と最も高い結果となりました。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

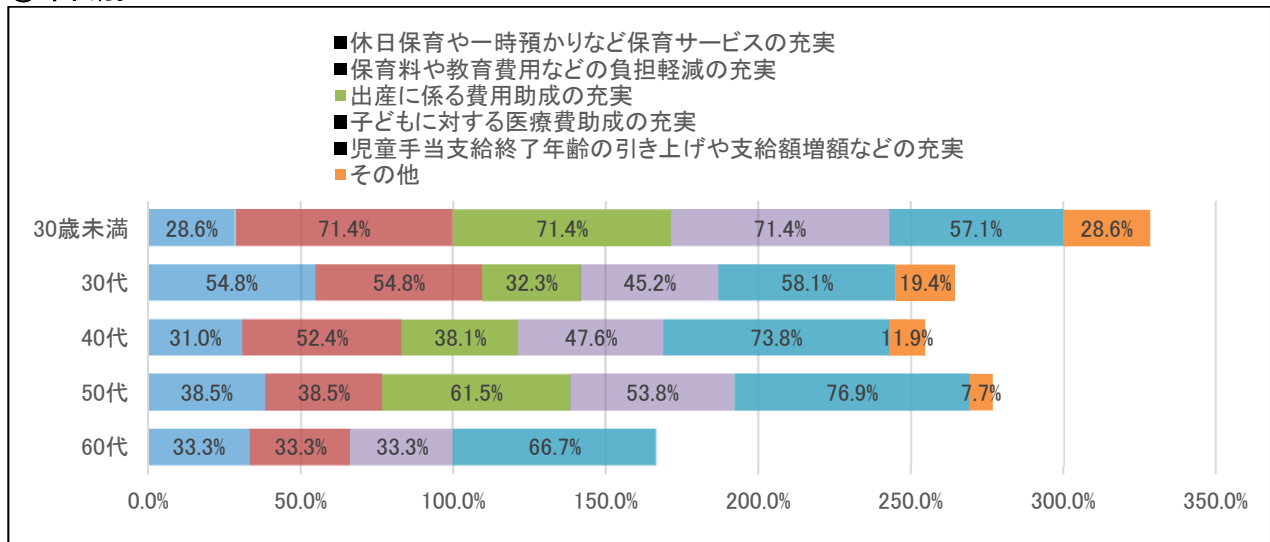
成果指標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R2)
子育てしやすいまちと感じる割合	46.2%	52.8%	57.0%

設問 2② 現在、ご自分が子育てをされている方におたずねします。どのような子育て支援の充実が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

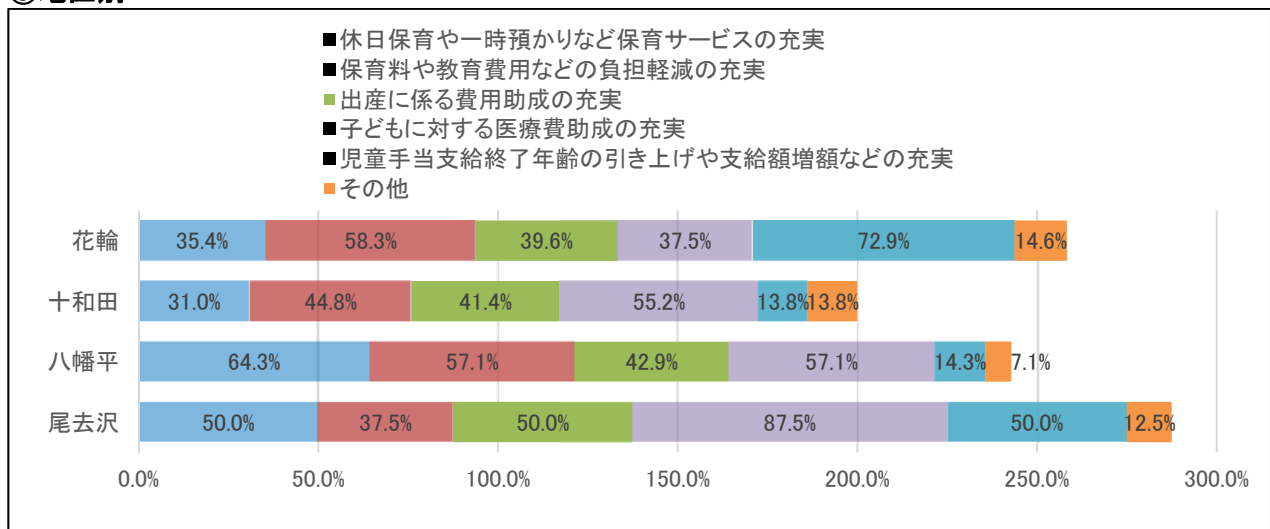
①全体／男女別（N=100）



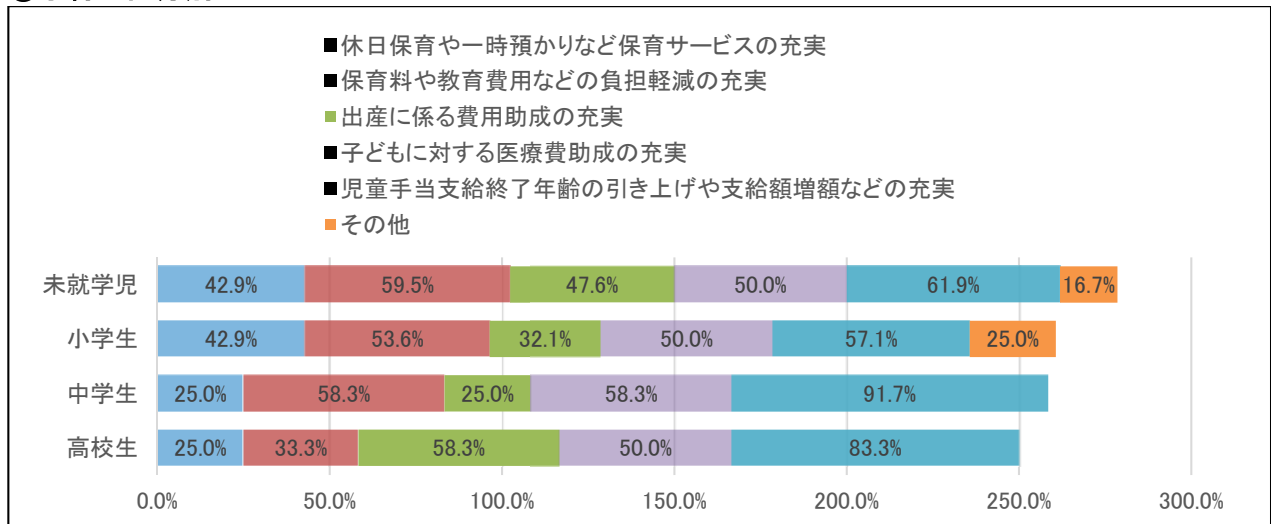
②年代別



③地区別



④子育て区分別



⑤分析結果

現在子育てをしている方へ「どのような子育て支援の充実が必要か」という設問に対し、回答項目として「保育サービスの充実」のほか、毎年回答率の高い「経済的支援」を大まかに区分けし、「保育料や教育費用の負担軽減」、「出産費用の助成」、「医療費助成」及び「児童手当支給終了年齢の引き上げや支給額の増額」を用意したところ、「児童手当支給終了年齢の引き上げや支給額の増額」が全体の 68.0%と最も高い結果となりました。

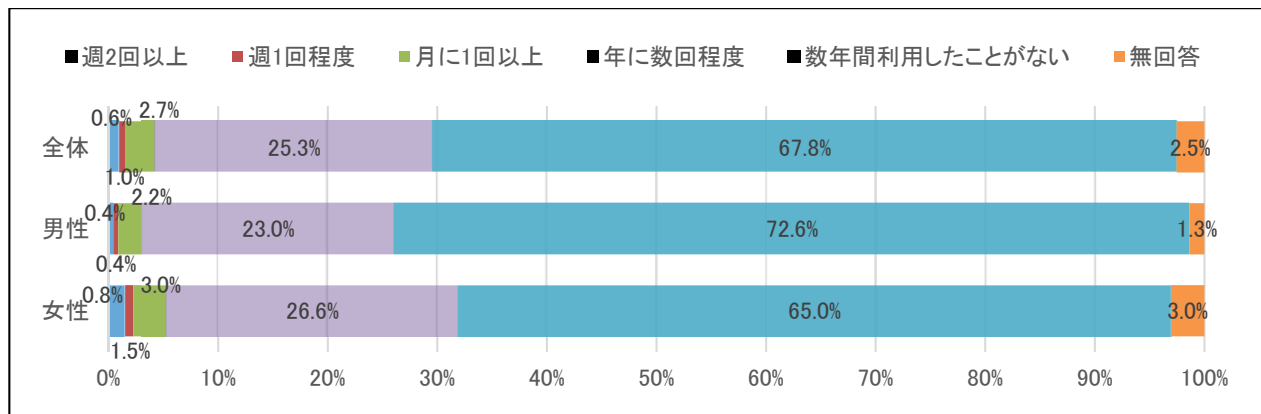
就学別では、中学生と高校生の保護者が 8 割を超えており、支給年齢が中学生までとなっている現在の制度の年齢引き上げが望まれています。

また、「保育料や教育費用などの負担軽減」及び「医療費助成の充実」が必要であるとした方が約半数となっていますが、保育料の無償化制度や高校生までのマル福による医療費軽減などの経済的支援の充実を図ってきていることから、継続を求める声であると考えられます。

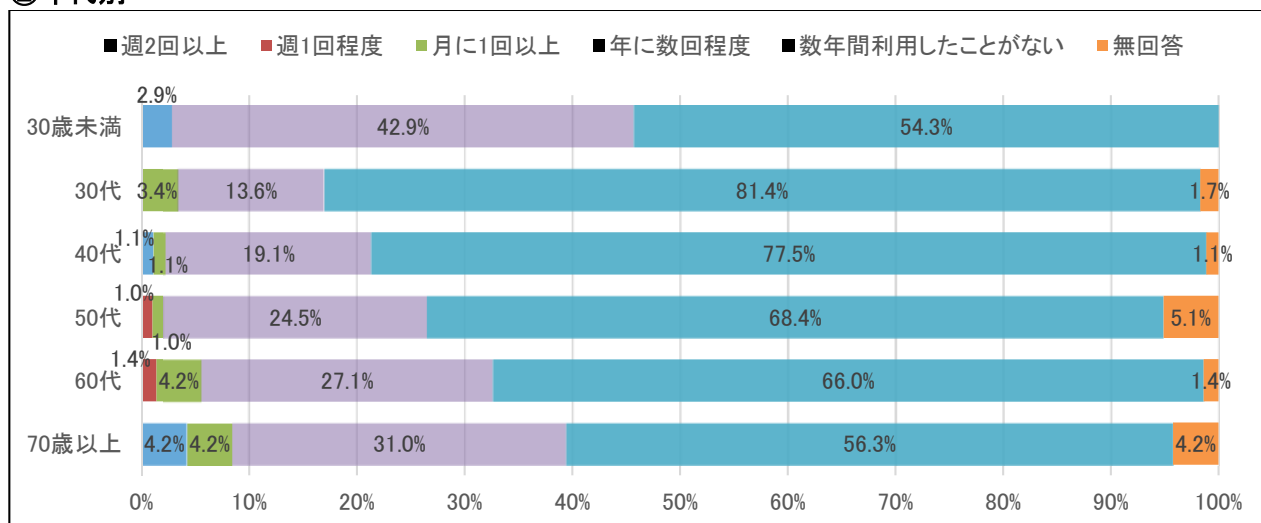
2 公共交通について

設問 3① バス（予約型乗合タクシー含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度として、当てはまるものを一つ選んでください。

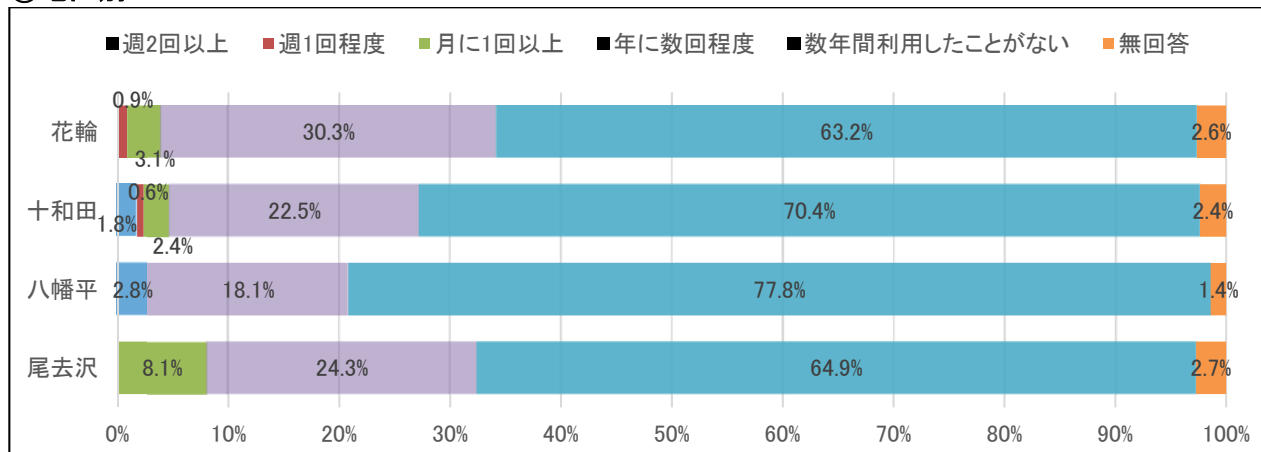
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

公共交通機関を数年間利用したことがないと回答した方の割合は 67.8%となっており、年に数回程度利用と回答した方の 25.3%の割合と合わせると、前年同様、依然として 9 割以上の方が自家用車を日常の移動手段としているものと考えられます。

年代別では、年に数回程度利用と回答した方と利用したことがないと回答した方の割合は、30 歳未満が 97.2%、70 歳以上が 87.3%となっており、30 歳未満の世代は、特に自家用車を日常の移動手段として利用していると分析されます。

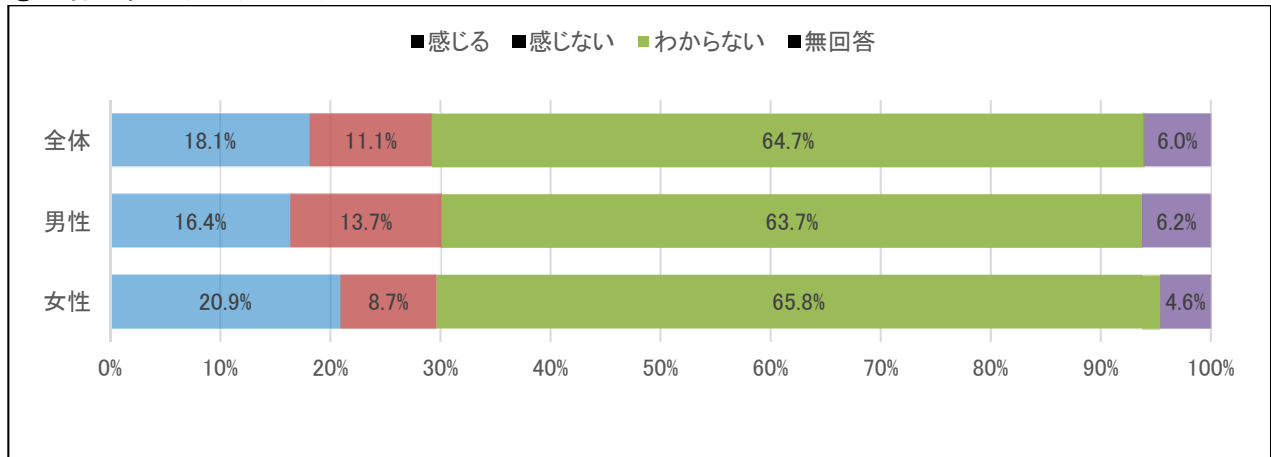
地区別では、年に数回程度利用と回答した方と利用したことがないと回答した方の割合は、八幡平地区が 95.9%で尾去沢地区 (89.2%) より 6.7 ポイント高く、地区によっても利用状況に差が見られます。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

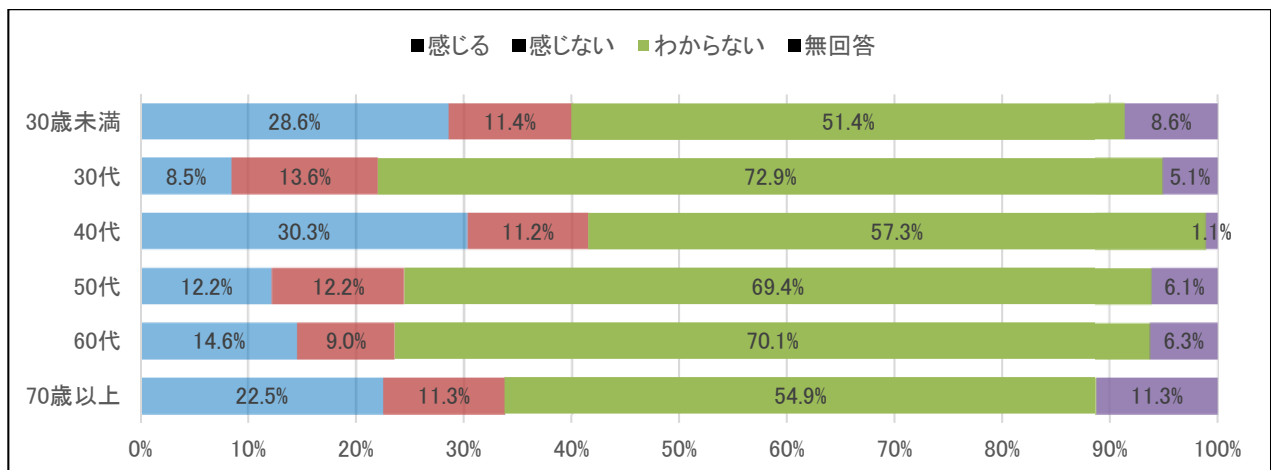
成果指標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R2)
数年間公共交通を利用したことが無い人の割合	58.8%	67.8%	50.0%

設問 3② あなたは、普段の生活の中で、バスや鉄道などの公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

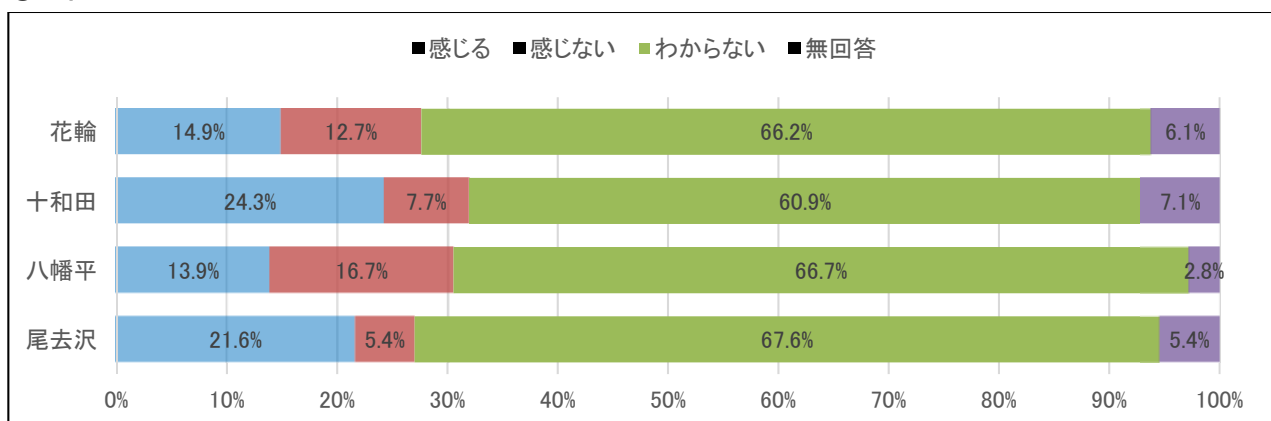
①全体／男女別（N=513）



②年代別



③地区別



④分析結果

公共交通に不便を感じると回答した割合は18.1%で前年(22.3%)から4.2ポイント改善しました。不便を感じる理由としては、バス、鉄道とも「本数が少ない」が圧倒的に多くなっているほか、自宅からバス停や駅まで遠いことや乗り換えの不便さが挙げられています。

不便を感じないと回答した割合は11.1%となっており、前年(10.9%)とほぼ同じであることから、公共交通の利用者は固定化されてきているものと考えられます。

また、公共交通が不便かどうか、「あまり利用しないのでわからない」との回答が64.7%と、前年同様、過半数を超えており、普段利用しない方からはあまり関心が向けられていないことがうかがわれます。

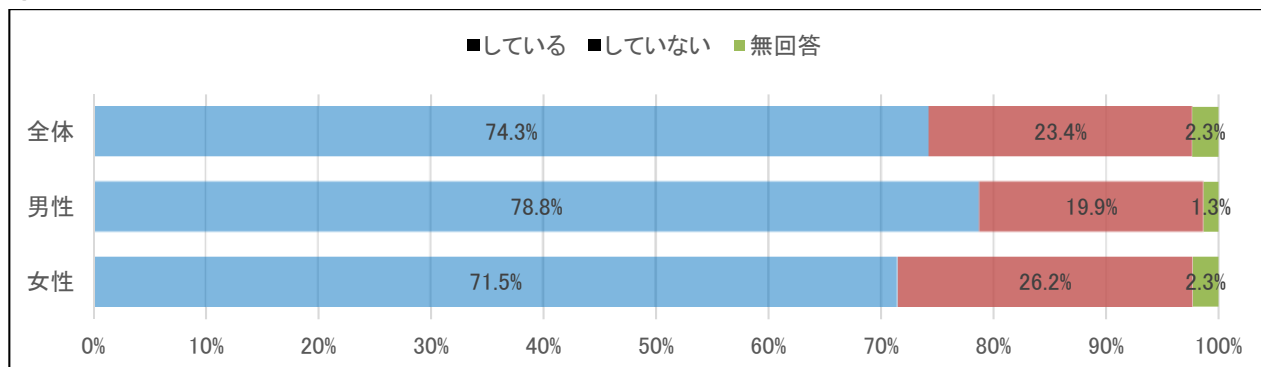
[参考]地域公共交通網形成計画評価指標と実績値

評価指標	基準値 (H27)	実績値 (R1)	目標値 (R2)
公共交通に不便を感じる市民の割合	17.8%	18.1%	15.0%

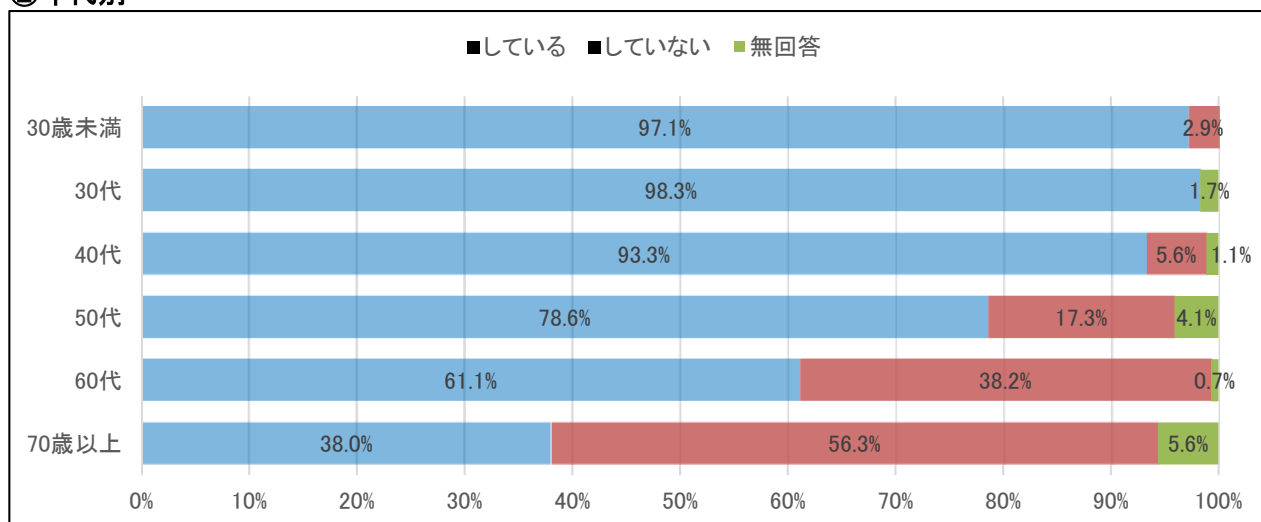
3 地域情報化について

設問4 あなたはインターネットを利用していますか。

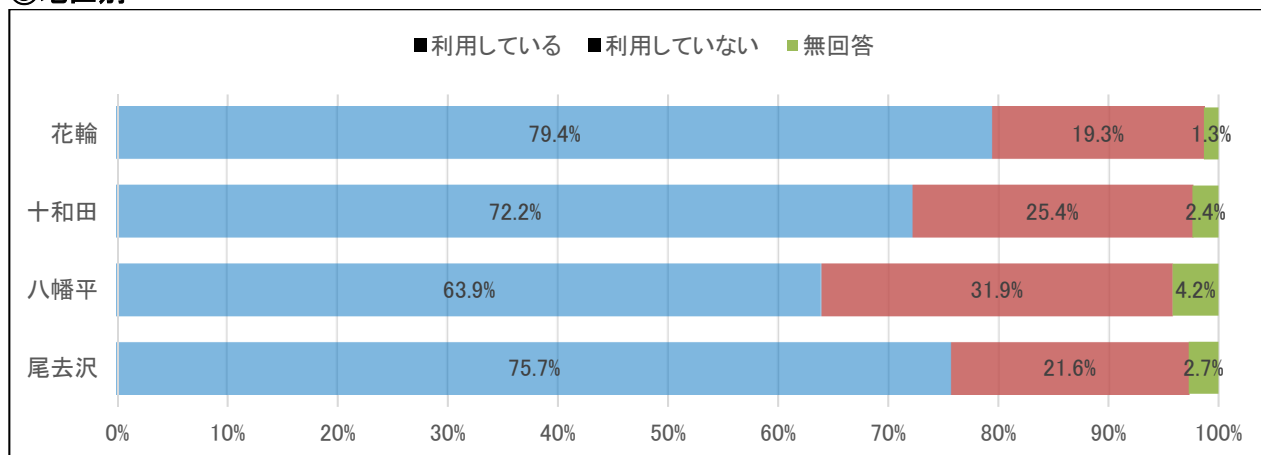
①全体／男女別



②年代別

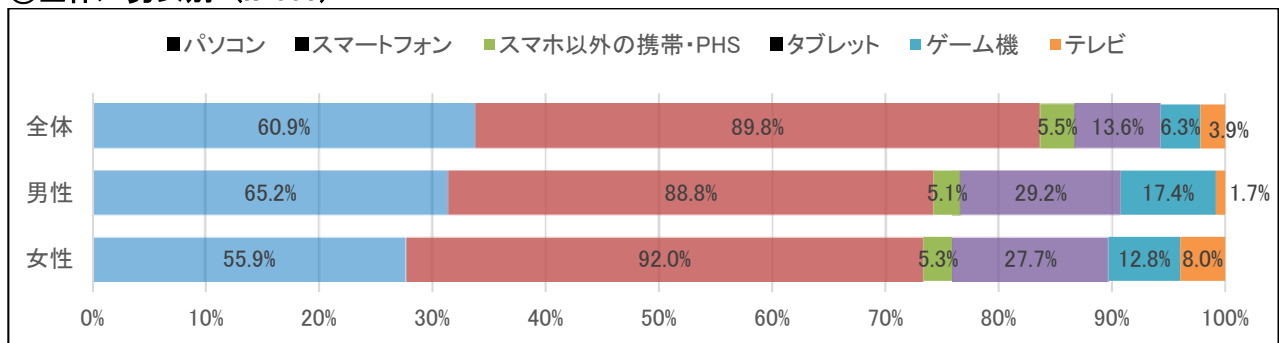


③地区別

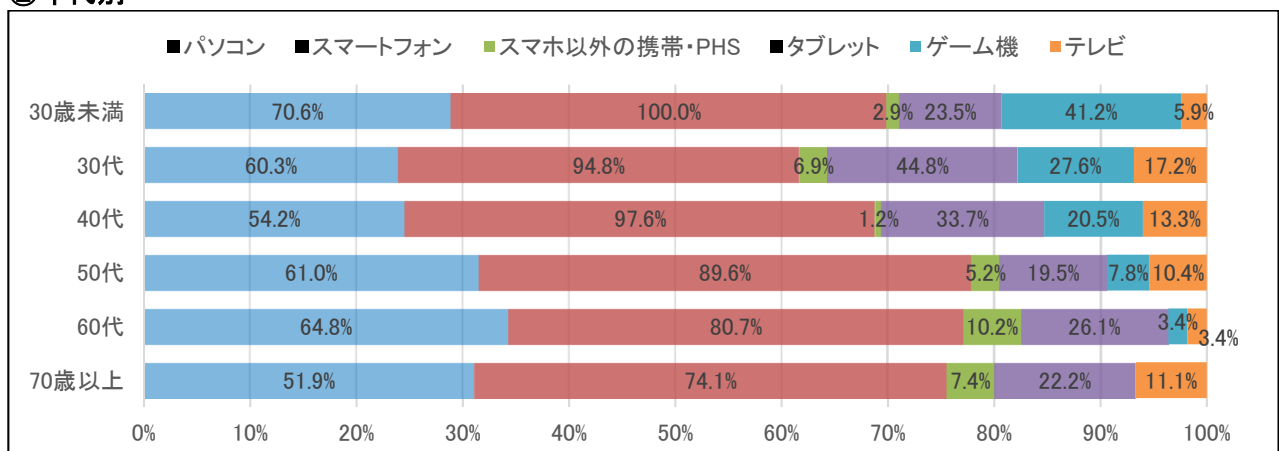


◆利用している場合の利用機器（すべて回答）

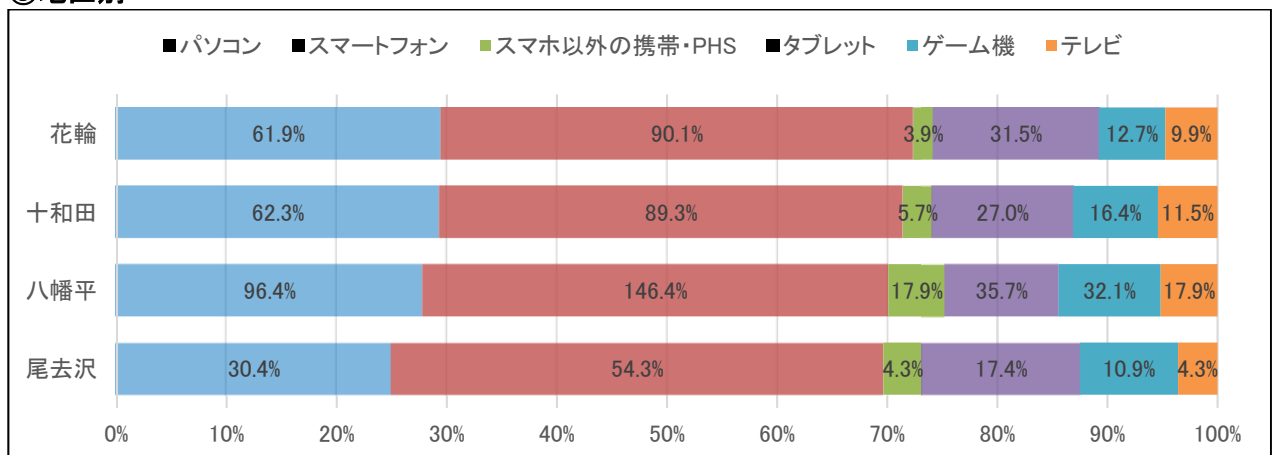
①全体／男女別（N=381）



②年代別



③地区別



④分析結果

インターネットを利用していると回答した方は全体の 74.3%となり、一昨年の 73.1%、昨年の 77.9%に続き、目標としている 60.0%を上回り、高い割合で推移していることが分かります。

年代別でみると、30 歳未満で 97.1%、30 代で 98.3%、40 代で 93.3%と前年同様に若い世代で高い割合となっていることに加え、60 代で 6.6 ポイント、70 代で 14.0 ポイント増加し、高齢の方への普及が進んだことにより、年代間の差が縮小傾向にあります。

また、インターネットを利用する機器は、各年代でスマートフォンの利用が最も多く、中でも 50 代以上の年代で、前年と比べてスマートフォンの利用が増加しているなど、年代を問わずスマートフォンを利用して気軽にインターネットを利用していることがうかがえます。

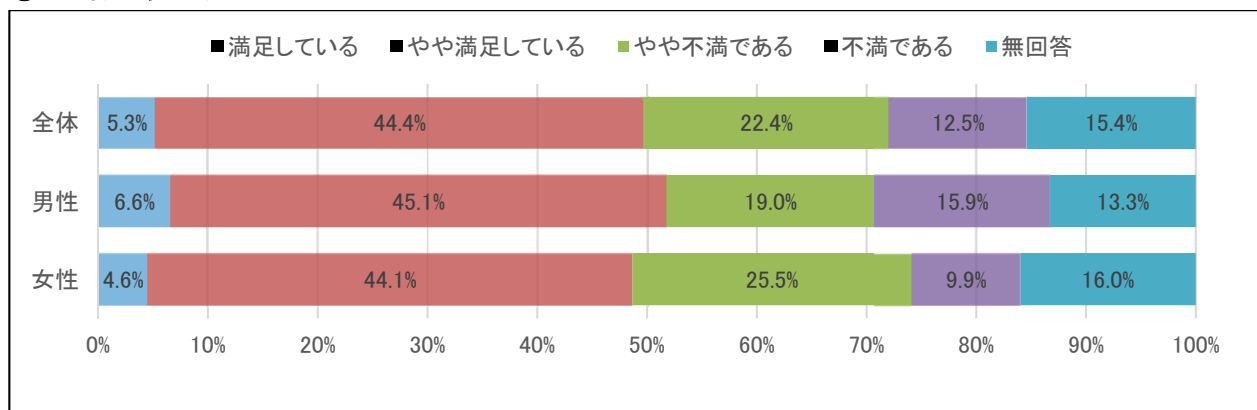
〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R2)
インターネット人口普及率	56.1%	74.3%	60.0%

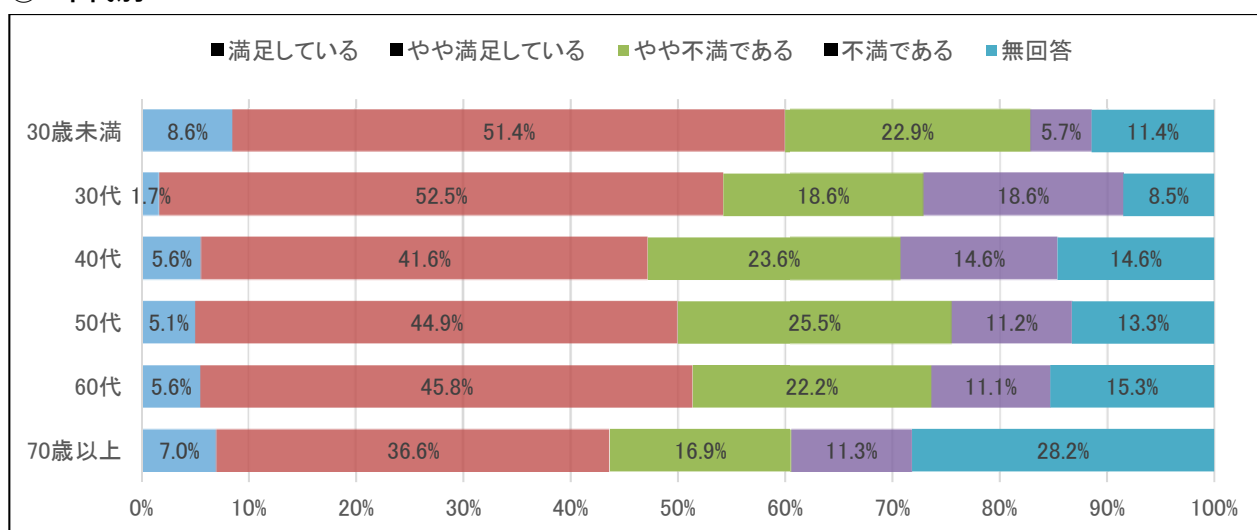
4 中心市街地について

設問5 あなたは、花輪市街地の生活環境（住みごごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

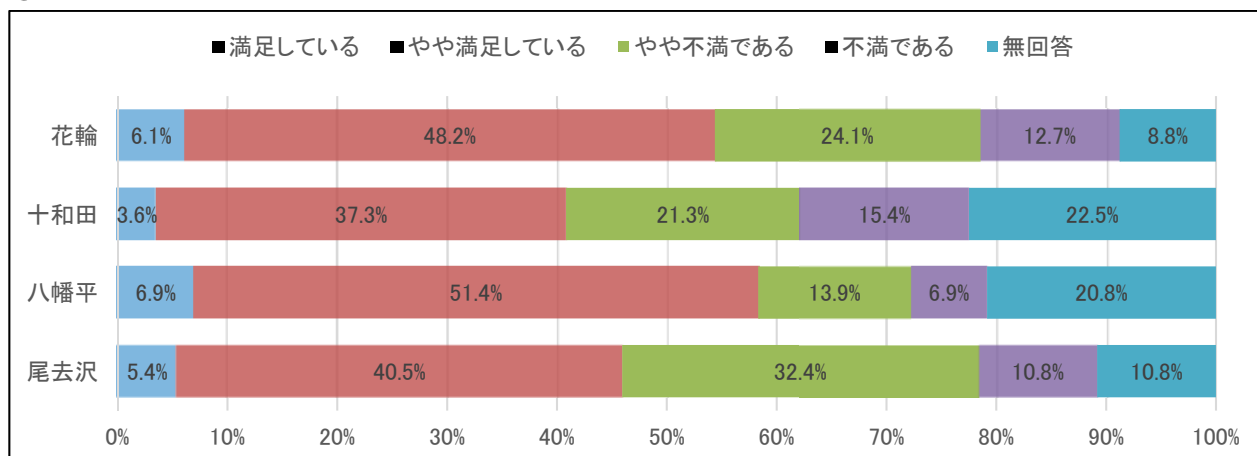
① 全体／男女別



② 年代別



③ 地区別



④分析結果

花輪市街地の生活環境について、「満足」「やや満足」と回答した割合は49.7%で、前年（52.9%）を3.2ポイント下回りました。年代別では、30歳未満が11.4ポイント増加し、30代から60代までがほぼ横ばいでしたが、前年68.0%で最も高かった70歳以上は、24.4ポイント減少（43.6%）して一番低い結果となりました。

70歳以上のマイナス評価の理由としては、買い物する場所や営業時間（開店時間が遅い）のほか、まちの賑わいや活気のなさを挙げるものが増えていますが、「駐車場が少ない」「公共交通機関が不便」といった交通に関する理由は、例年同様、年代を問わず多くなっています。

このほか、「鹿角花輪駅前やコモッセ周辺にコンパクトにまとめるべき」との意見もあり、中心市街地の満足度を高めるためには、商業機能の一定程度の集積と買い物客のニーズに応えられるような各店舗の魅力向上にあわせ、交通アクセスの改善を図ることが必要です。

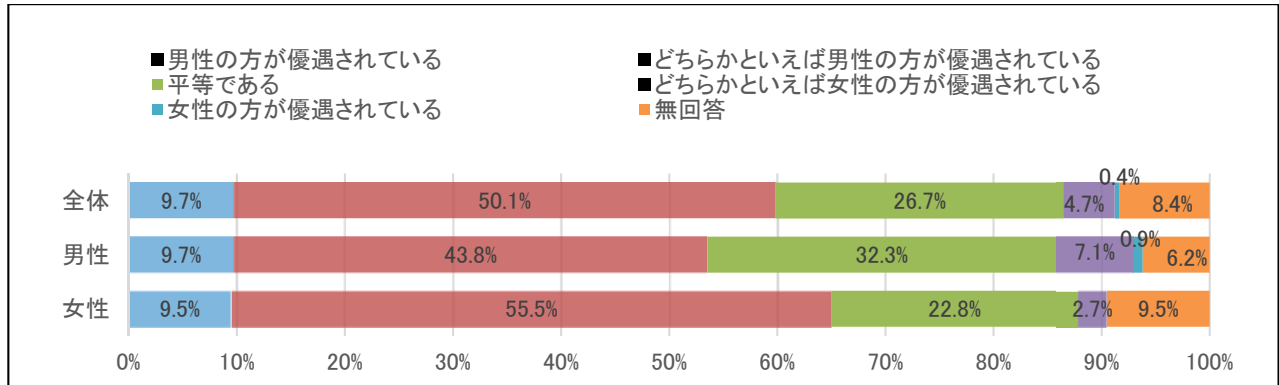
〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値 (H24～H26 平均)	実績値 (R1)	目標値 (R2)
中心市街地の環境に満足している 市民の割合	53.5%	49.7%	59.5%

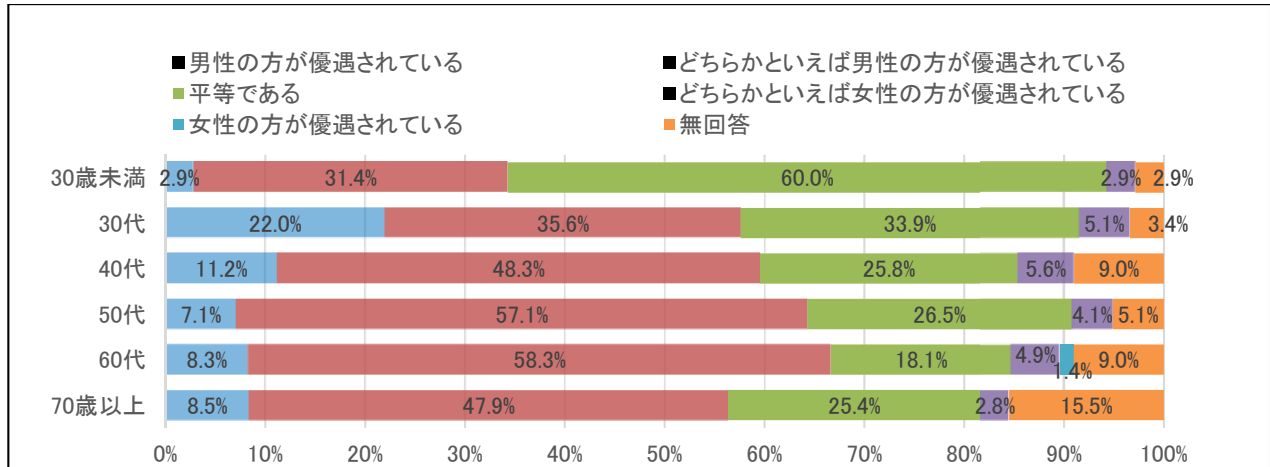
5 男女共同参画の状況について

設問6 あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

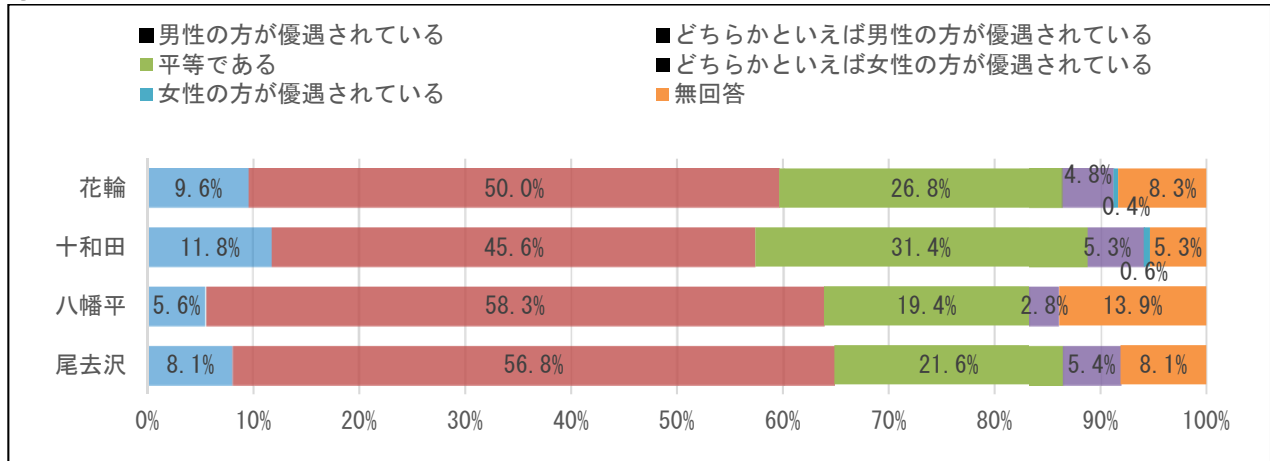
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

男女の地位が「平等である」と回答した方の割合は 26.7%であり、前年（27.3%）より 0.6 ポイント減少していますが、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を選択した割合は全体で 59.8%となり、男女別にみても男性は 53.5%、女性は 65.5%と、男性優遇と考える割合が依然として高い状況が続いています。

また、「平等である」と回答した男女間の意識差をみると、男性は 32.3%、女性は 22.8%と、前年の 13.1 ポイントの差から 9.5 ポイントに縮小したものの、男女間の意識に格差があることがうかがわれます。

年代別では、特に 30 歳未満の 60.0%が「平等である」と感じていることから、今後も男女共同参画を考えるきっかけづくりや、年齢や性別に関わりなく、個性や能力を十分発揮できるよう、様々な機会を通じて啓発活動に取り組んでいきます。

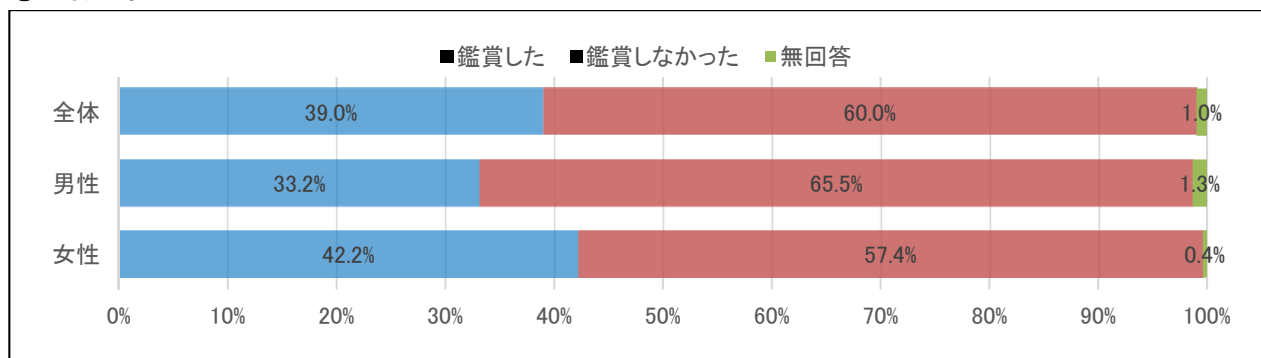
〔参考〕第3次男女共同参画計画 男女共同参画指標と実績値

男女共同参画指標	基準値 (H27)	実績値 (R1)	目標値 (R2)
男女の地位が平等になったと感じている人の割合	19.0%	26.7%	25.0%

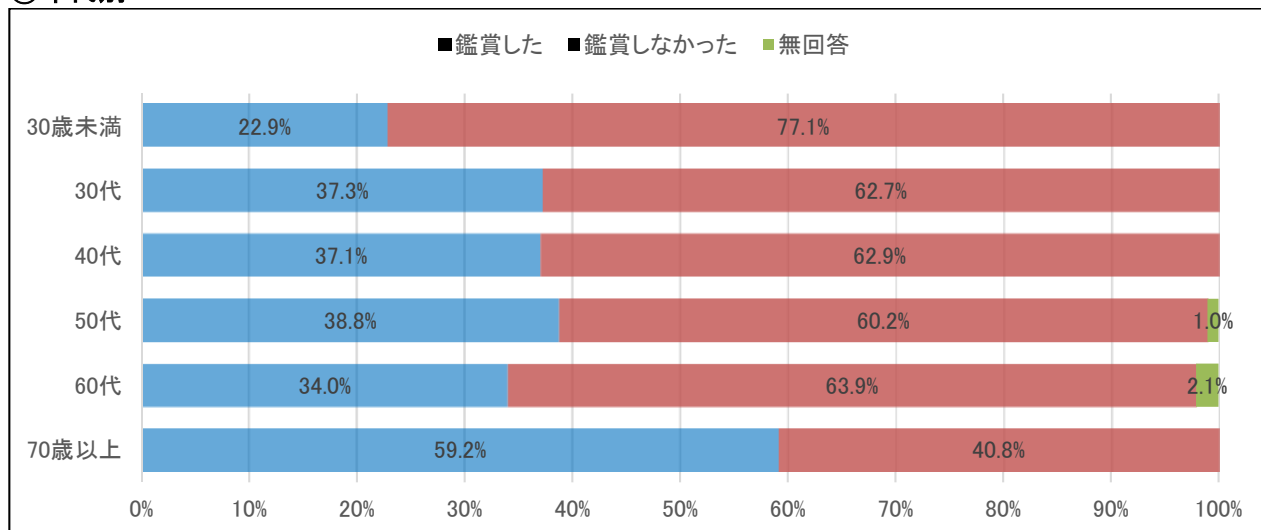
6 芸術鑑賞について

設問7 あなたは、昨年1年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

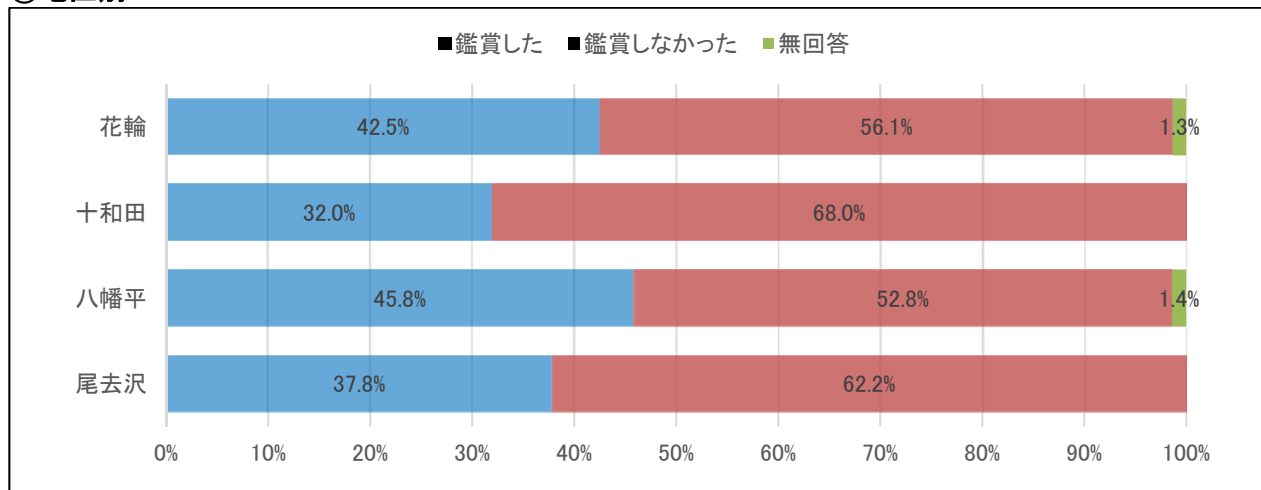
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

芸術鑑賞をした人は前年（39.0％）を2.0ポイント下回ったものの、昨年と同水準で推移しています。

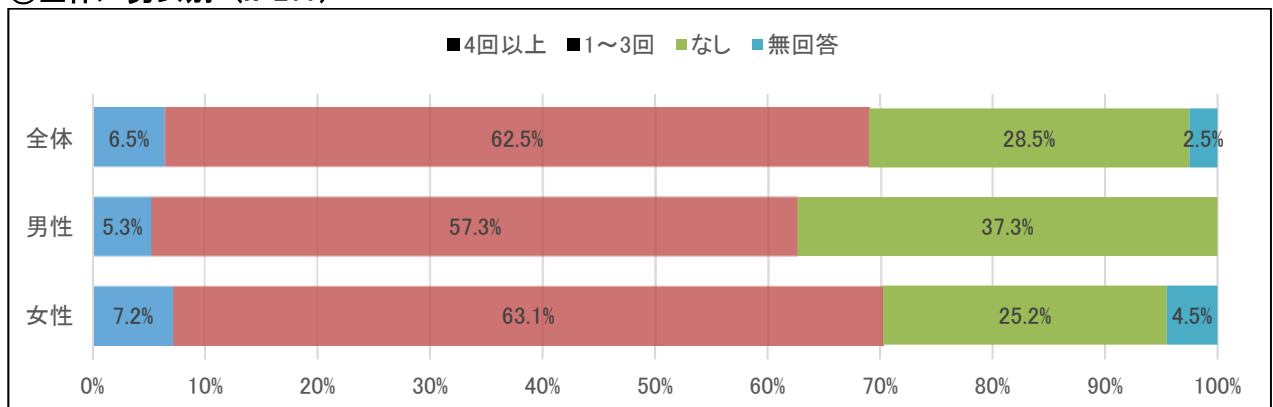
年代別では、30代未満が22.9％で一番少なく、昨年より20.3ポイント減少しています。次いで、60代が34.0％で、昨年より14.2ポイント減少しています。

地区別では、尾去沢地区が9.4ポイント、八幡平地区が7.3ポイント、それぞれ昨年より減少しています。

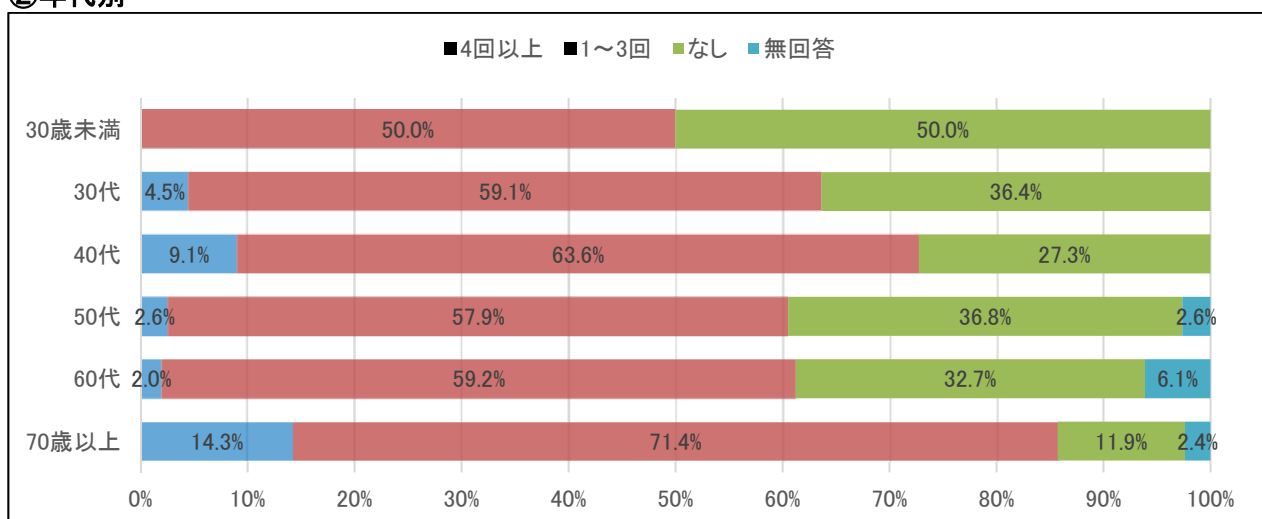
全体の割合に昨年と大きな変化はありませんが、年代や地区によっては大きな減少もみられることから、芸術鑑賞への関心度に差が生じたことがうかがえます。

◆芸術鑑賞した人のうち、コモッセで何回鑑賞したか。

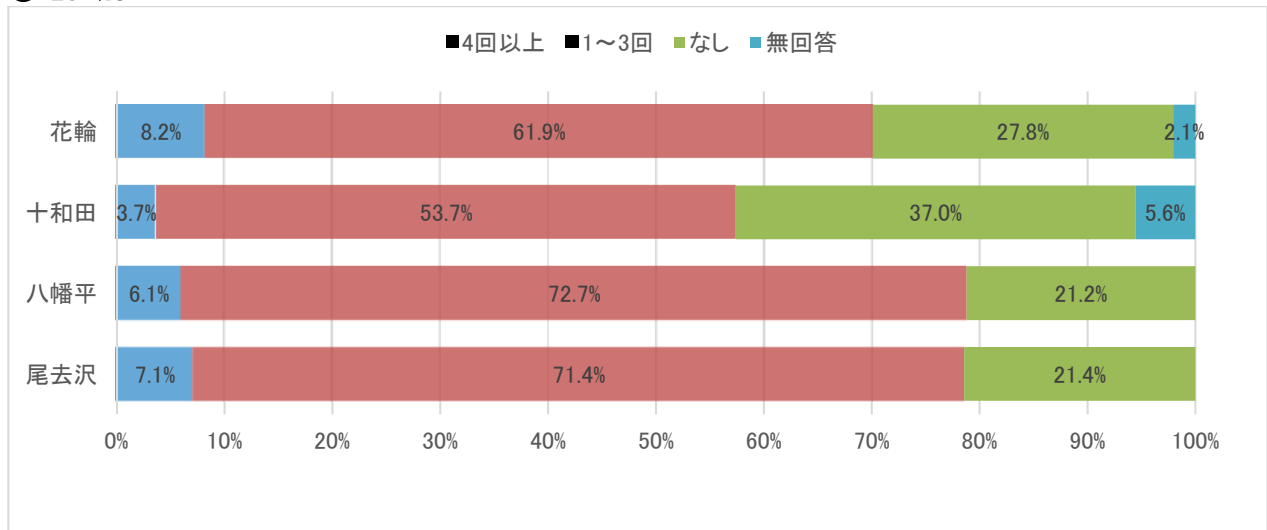
①全体／男女別（N=200）



②年代別



③地区別



④分析結果

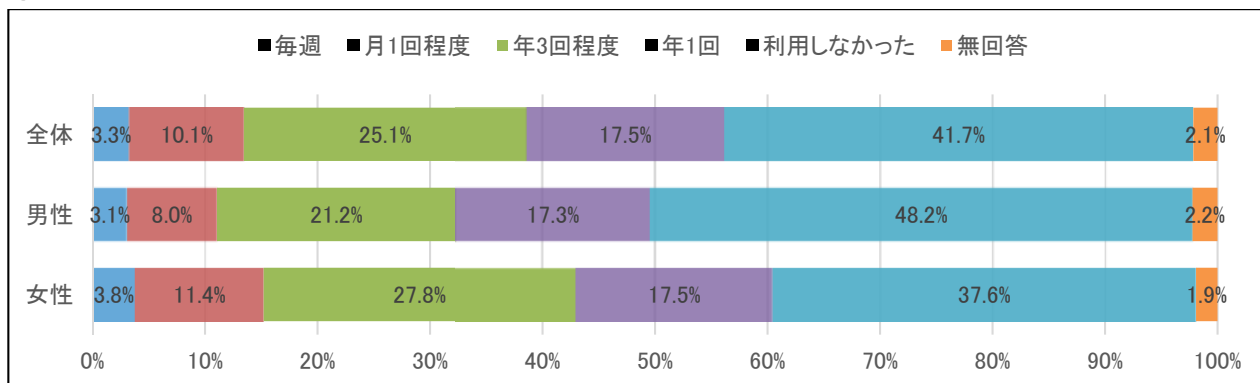
芸術鑑賞した人のうちコモッセで鑑賞した人は 69.0%で、昨年から 1.5 ポイント増加していることから、鑑賞機会としてコモッセが利用されていることがうかがわれます。年代別にみると、すべての年代で 50%以上となりましたが、70 歳以上が 85.7%と最も多く、次いで 40 代の 72.7%でした。

引き続き、様々な年代の方が芸術に触れ、楽しむことができるよう、プロや市民参加型の公演などを企画しながら、魅力的な芸術鑑賞機会を創出していく必要があります。

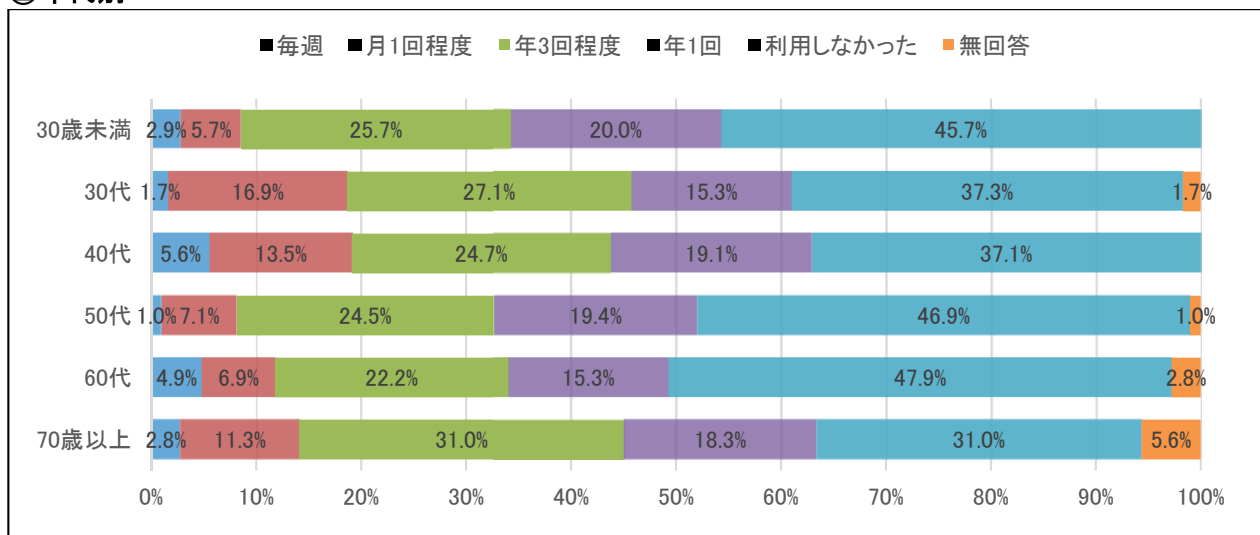
7 コモッセの利用状況について

設問8 あなたは昨年、コモッセをどの程度利用されましたか。

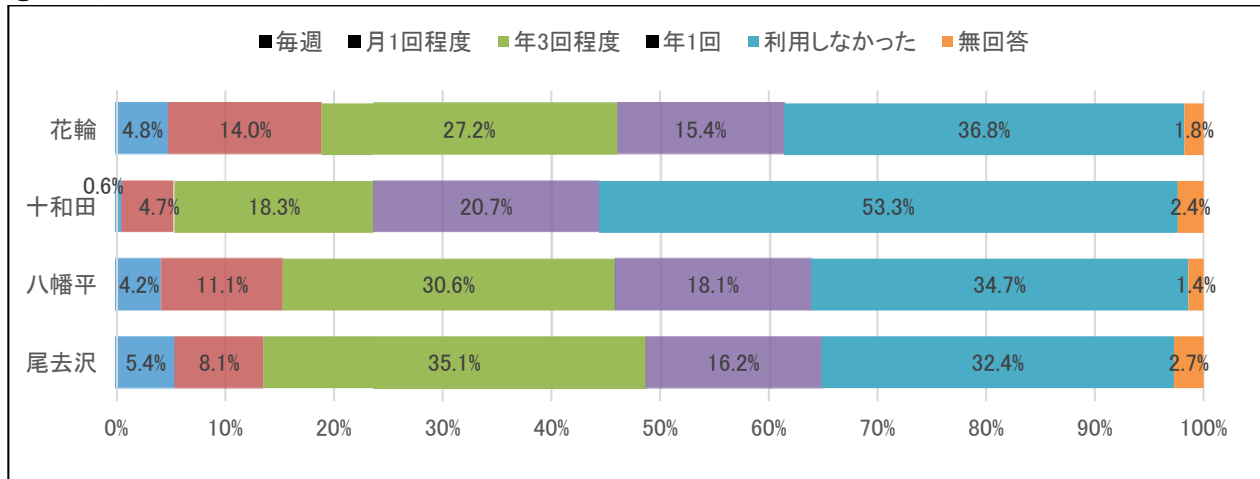
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

コモッセを利用した人は56.1%で、昨年（61.1%）を5.0ポイント下回る結果となりました。

利用回数は昨年と同じく3回程度が最も多くなっています。どの年代もおおむね50%から60%の利用がありましたが、30歳未満が11.1ポイント増加した一方で、60代では12.6ポイント減少し、年代によって増減のばらつきが見られます。

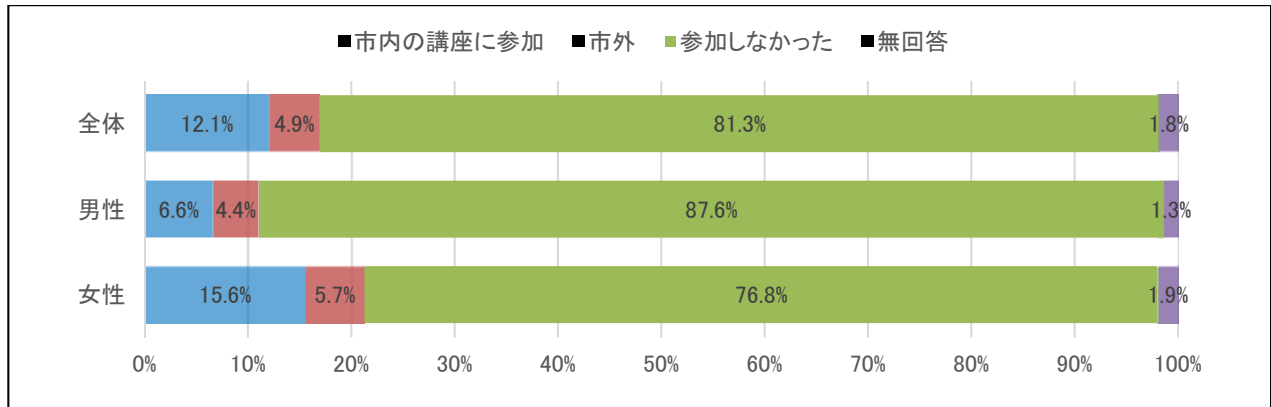
地区別では、花輪、八幡平、尾去沢地区でそれぞれ6割を超えていますが、十和田地区は前年（54.1%）を9.7ポイント下回る44.4%となりました。理由としては、コモッセまでの距離や、十和田市民センターなど地区の施設を利用していることが挙げられています。

また、一度も利用しなかった理由として、「時間がない」「用事がない」「興味のあるイベントがない」といった声のほか、「催しや利用方法がわからない」「イベント情報が入ってこない」という回答もあったことから、これまで機会がなかった人にも利用方法を知ってもらい、気軽に立ち寄ってもらえるような取組が必要です。

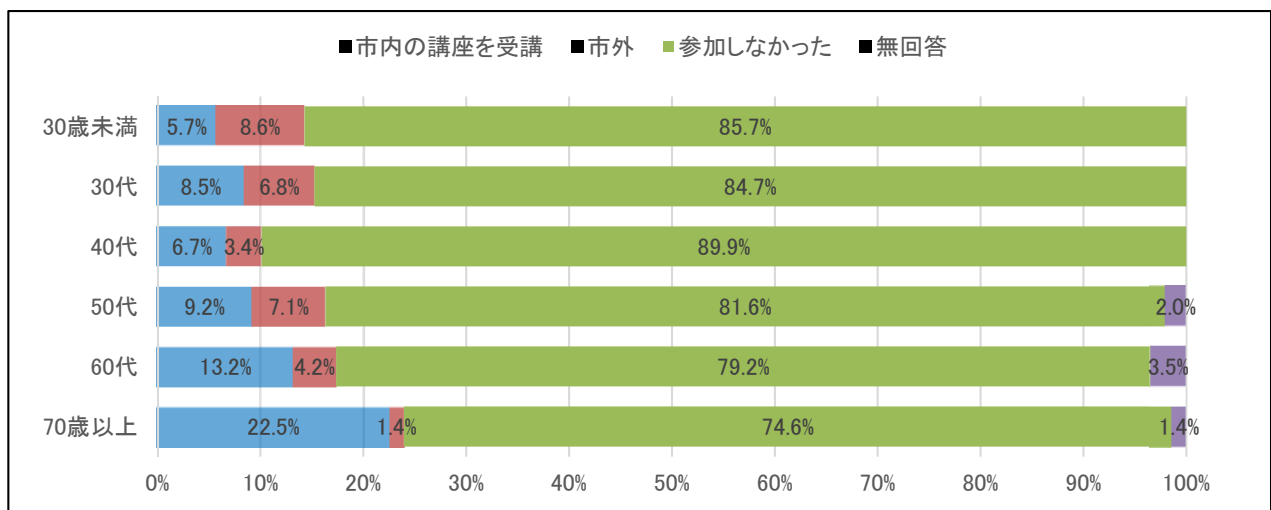
8 学びの状況について

設問9 あなたは、昨年1年間に講座や研修会（市が行うものだけでなく、民間団体が行うものも含む）に参加しましたか。

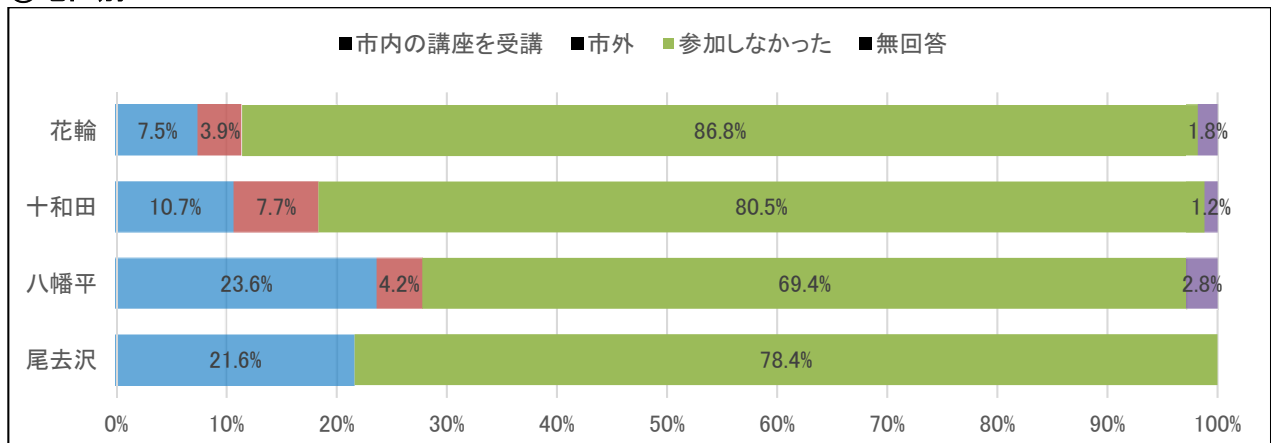
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

1年間に講座や研修会に参加した市民の割合は17.0%でした。

年代別にみると、70歳以上の参加率は23.9%と最も高く、生きがいや仲間づくり、自己啓発等を目的に参加する方が多い年代であることがうかがえます。

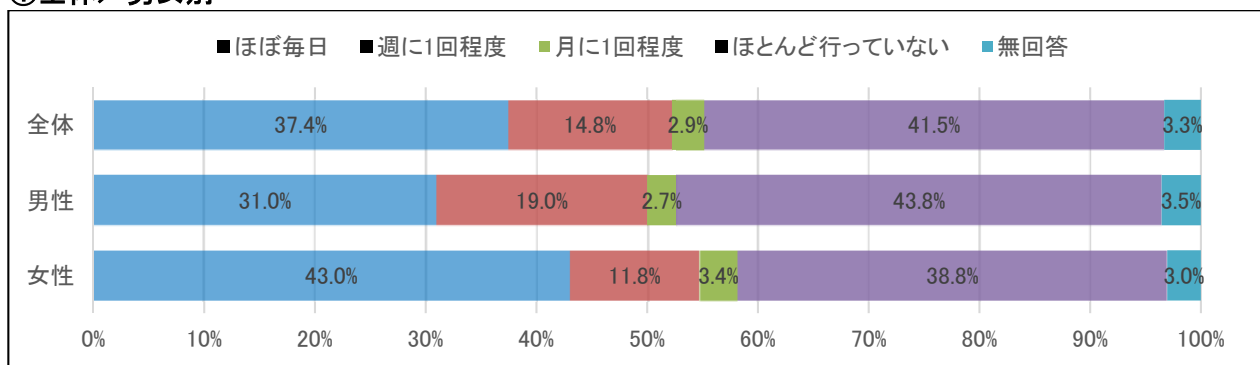
一方、40代は10.1%と全年代で最も低くなっており、地域の担い手として期待される年代ですが、仕事や子育てなどの都合により講座等に参加しにくい現状が考えられるため、ニーズの把握に努めながら、学びの機会の提供方法について検討する必要があります。

なお、年代が下がるほど、市外の講座等に参加する割合が高いことがうかがわれます。

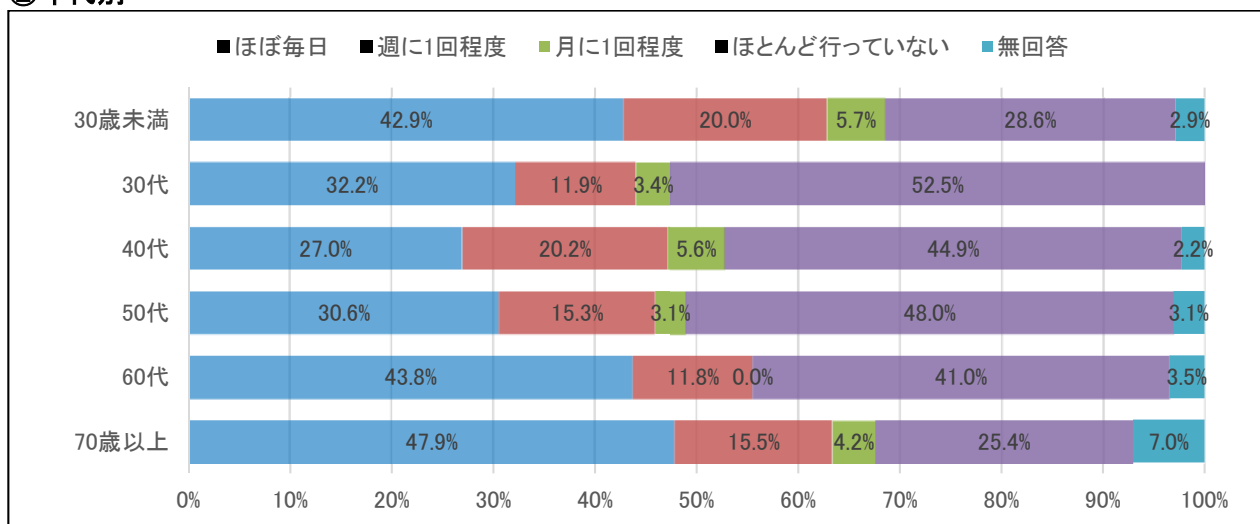
9 運動の実施状況について

設問 10 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や、健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

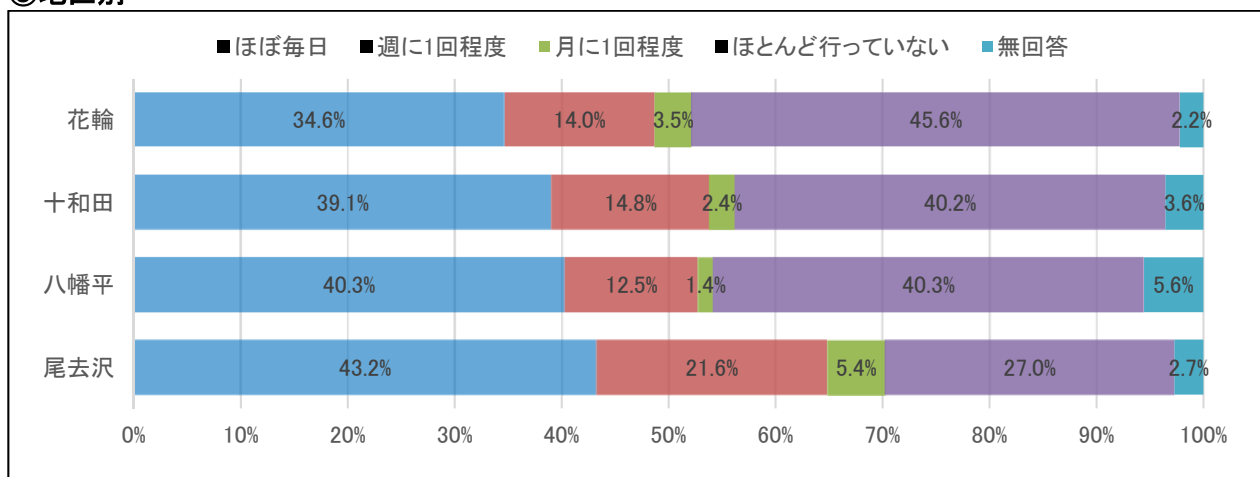
①全体／男女別



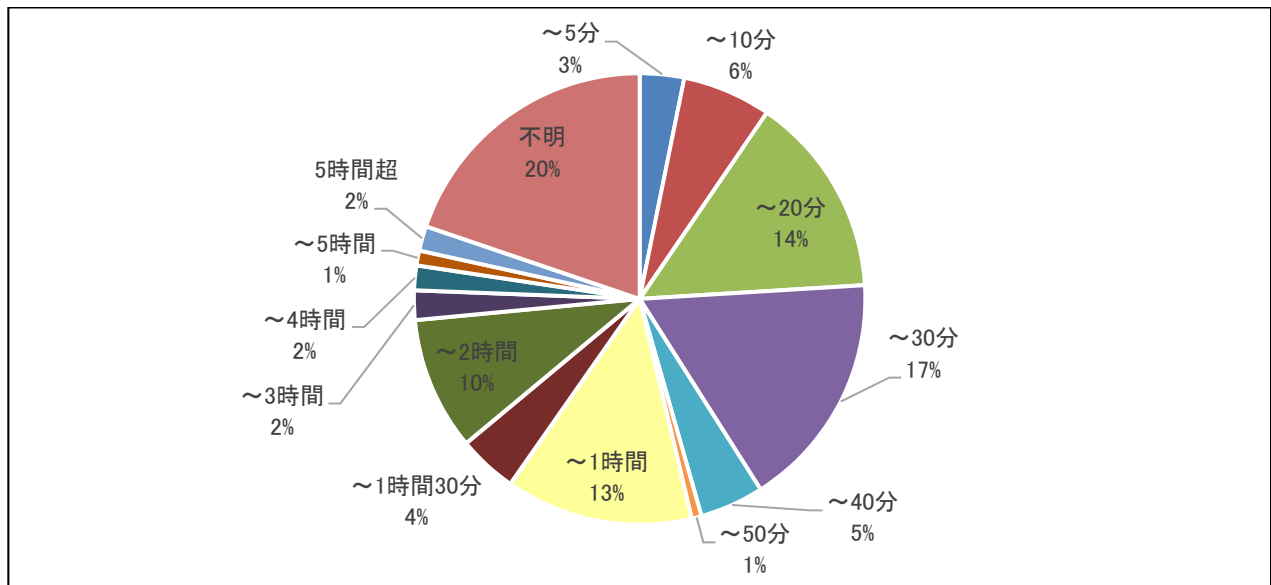
②年代別



③地区別



④ 1回あたりの運動時間（N=283）



⑤分析結果

週1回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は、平成25年度から50%を超えていますが、ここ数年横ばい状態が続き、基準値の58.1%を下回る結果となっています。

市では、チャレンジデーやスポーツイベントなどの開催を通じて、運動やスポーツに取り組むきっかけが継続的に提供されているものと考えていますが、特に30代のほか、働き盛りの40代から50代にかけて運動をする機会やスポーツに取り組むきっかけづくりが課題となっています。

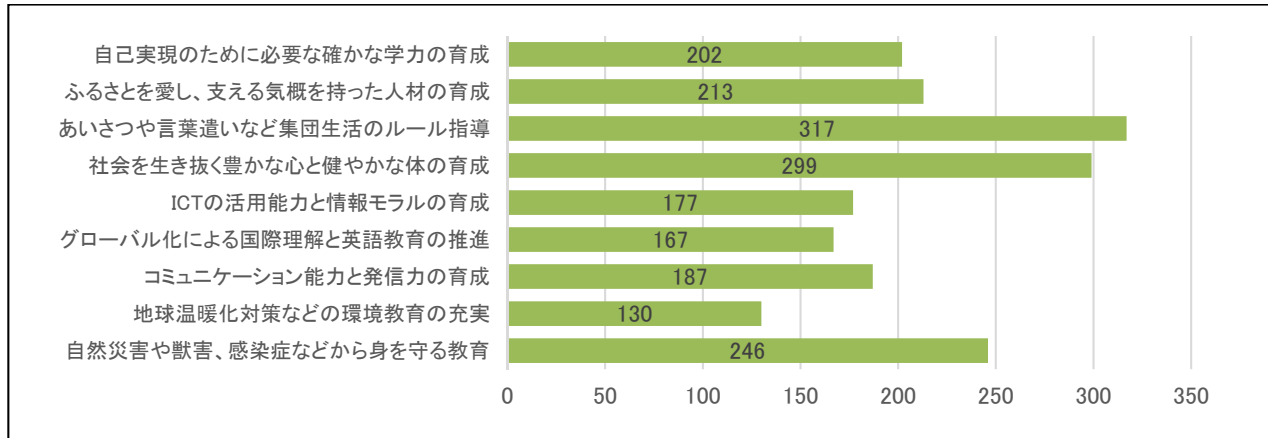
〔参考〕第2次スポーツ推進計画成果指標と実績値

成果指標	基準値（H27）	実績値（R1）	目標値（R2）
週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合	58.1%	52.2%	65.0%

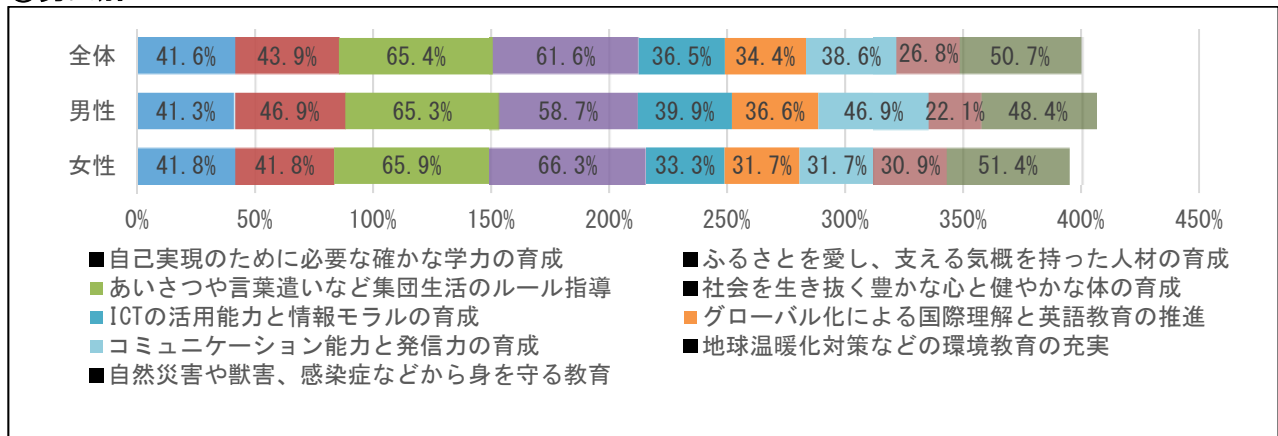
10 教育のあり方・方向性について

設問 11 鹿角市の教育で今後 10 年間にどのような項目に力を入れるべきだと思いますか。

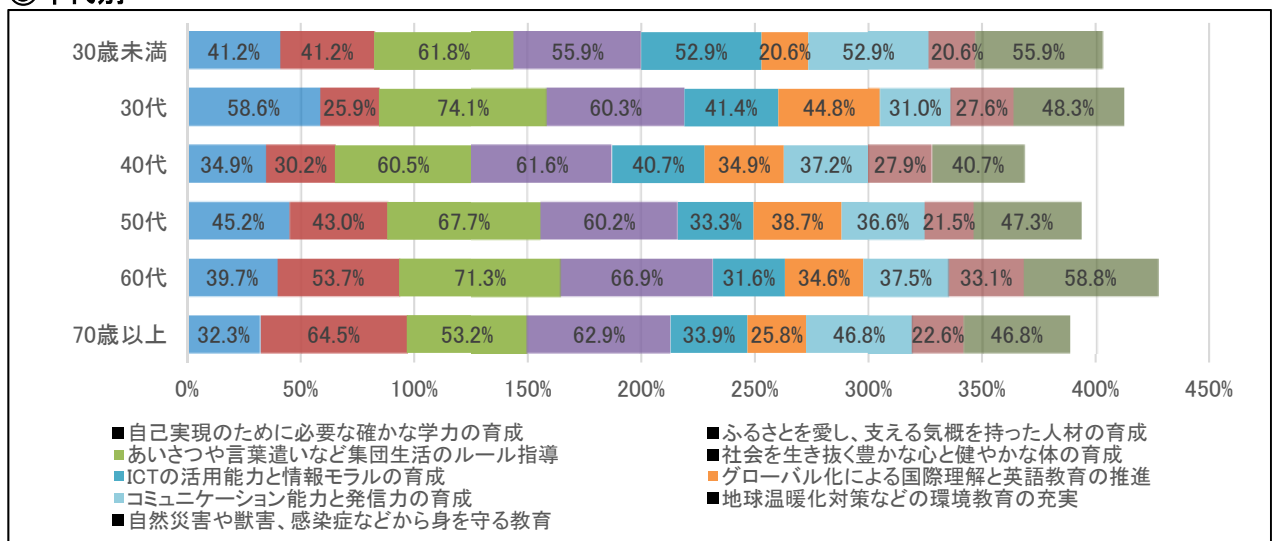
①全体 (N=485)



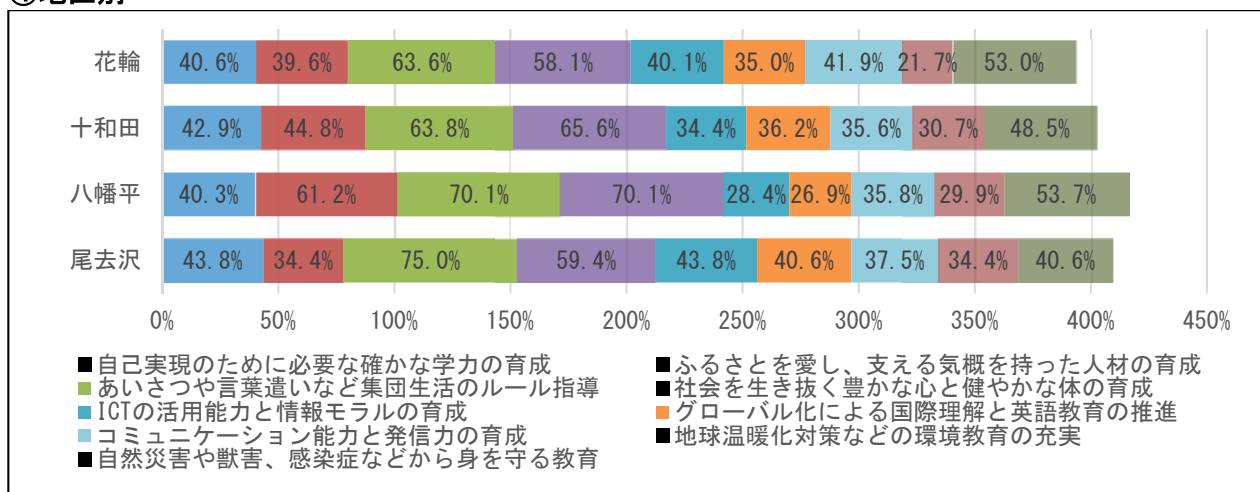
②男女別



③年代別



④地区別



⑤分析結果

一番多かった項目は、「あいさつや言葉遣いなど集団生活のルールを身に付ける指導」で、317人が選択しました。次は「社会の中でたくましく生き抜く豊かな心と健やかな体の育成」で、299人が選択し、これ以降は「自然災害や獣害、感染症から身を守る教育の推進」や「ふるさとを愛し、ふるさとを支える気概をもった人材の育成」、「自己実現のために必要な確かな学力の育成」という項目が続いています。

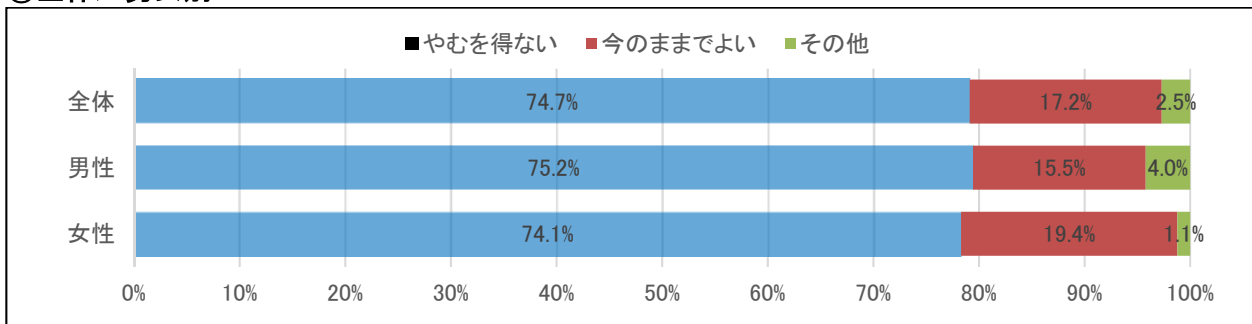
グローバル化やICT化、自然災害の多発、感染症の流行など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中、子どもたちの学び方、規範意識や社会性に関わる資質能力、さらには家庭や地域社会の教育力など、教育に関する様々な課題が見えてきていますが、「豊かな心や健やかな体、あいさつや言葉遣い」といった時が経っても変わらない大切な部分をぶれずに指導してほしいという考えがうかがえます。

男女別では、「コミュニケーション能力と発信力の育成」で、男性が女性より15.2ポイント高い一方で、「環境教育の充実」では、女性が男性を8.8ポイント上回る結果となりました。年代別では、30代が「自己実現のために必要な確かな学力の育成」と「あいさつや言葉遣いなど集団生活のルールを身に付ける指導」を望む割合が大きく、「ふるさとを愛し、ふるさとを支える気概をもった人材の育成」については、年代が上がるにつれて重要視される傾向があることが分かります。また、地区別では、八幡平地区が「ふるさとを愛し、ふるさとを支える気概をもった人材の育成」を選択した比率が他より高く、尾去沢地区では、「あいさつや言葉遣いなど集団生活のルールを身に付ける指導」が大事と考える割合が大きい結果となりました。

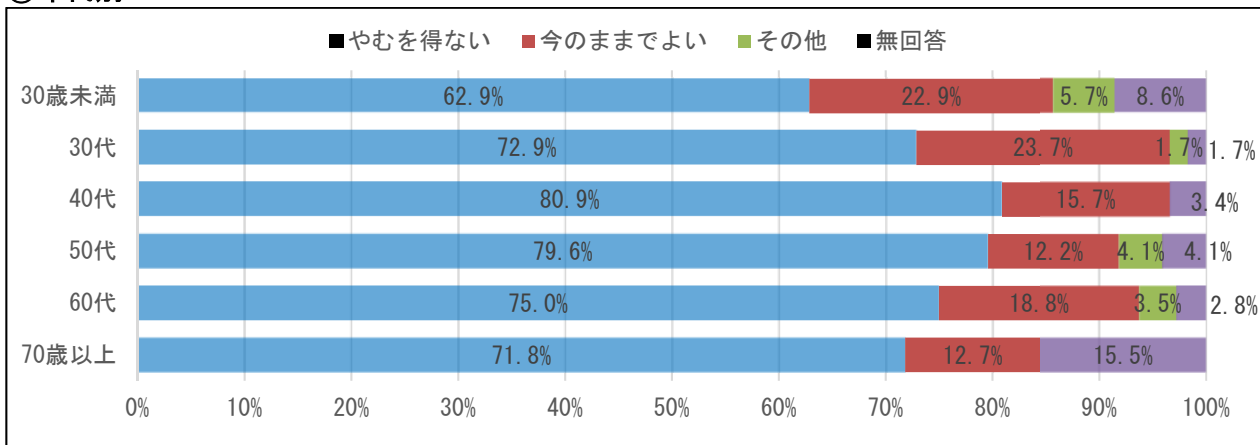
11 学校の再編（統合など）を進めることについて

設問 12 児童生徒数の減少により、今後も学校の小規模化が予想されています。望ましい学校規模にするために、さらに統合を進めることについてどのようにお考えですか。

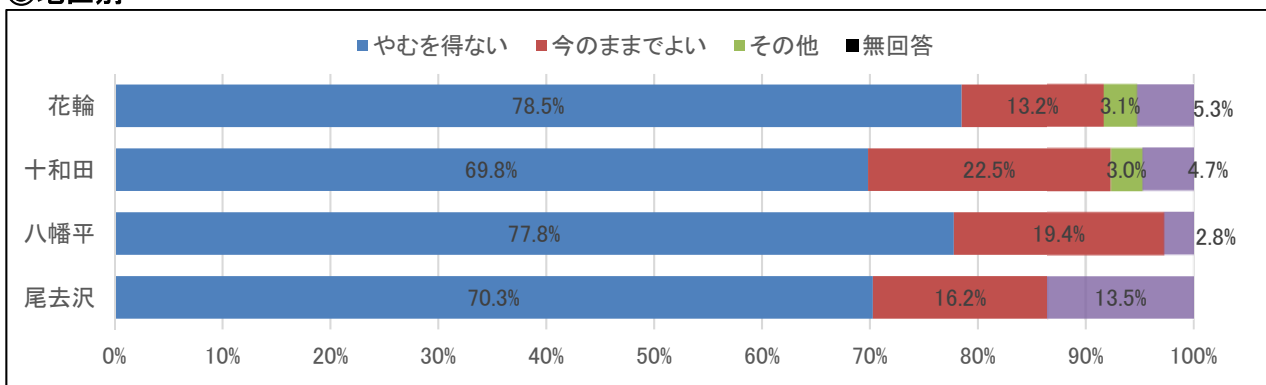
①全体／男女別



②年代別



③地区別



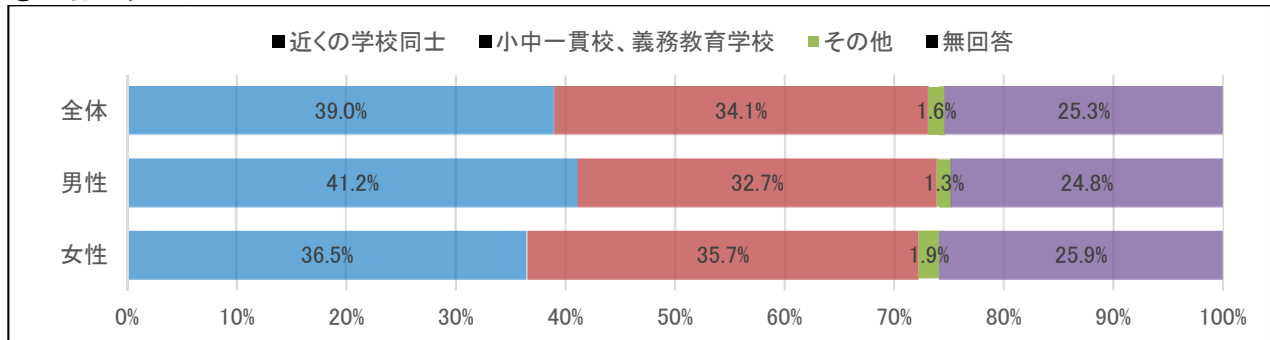
④分析結果（N=513）

望ましい学校規模に統合することについて、「やむを得ない」が74.7%という結果になりましたが、通学路や通学方法について心配する意見が見受けられました。年代別では、30歳未満を除く全ての世代で70%を超えており、地区別では大きな差は見られませんでした。

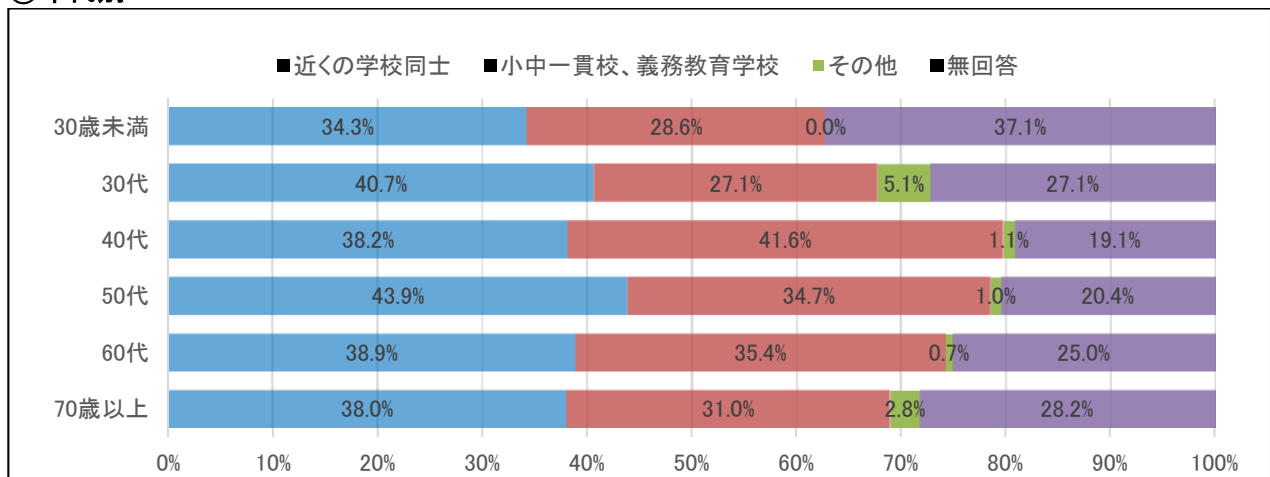
一方で「今のままでよい」と回答した割合は17.2%でしたが、その理由として「少人数学級の方がきめ細かい指導が可能である」「学校が無くなることで地域の活力が低下する」などが挙げられたほか、学区選択制を望む意見もありました。

設問 12② 「統合することもやむを得ない」を選んだ方におたずねします。学校を統合する方法について、どのようにお考えですか。

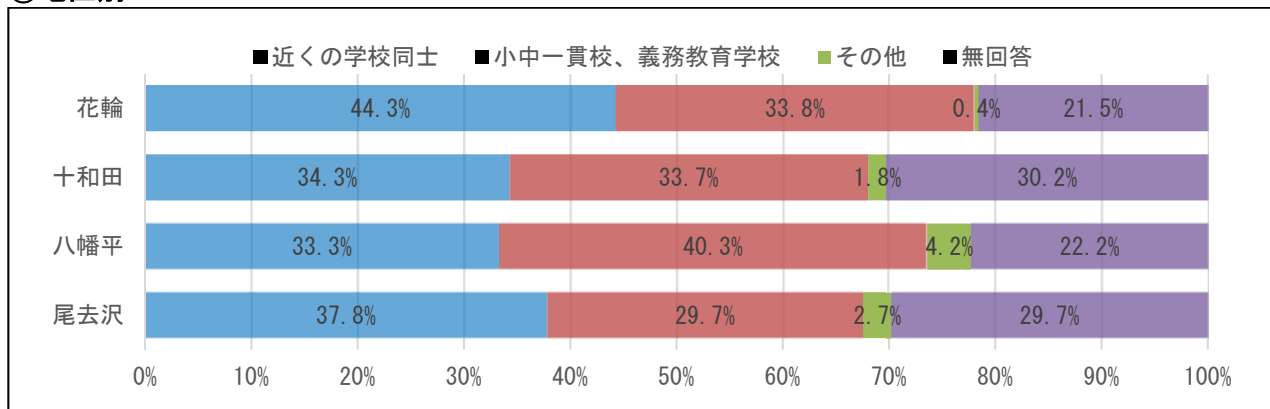
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果 (N=513)

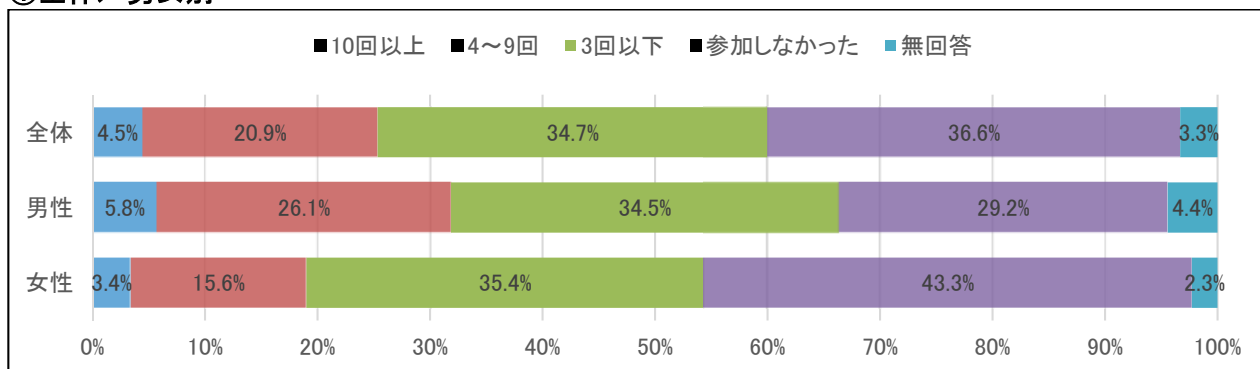
統合方法については「近くの学校同士」が 39.0%、「小中一貫校、義務教育学校」が 34.1%となり、学校再編の方法については意見が分かれる結果となりました。

その他の意見としては、「10 年、20 年後の児童生徒数を予測して、3 校以上の統合を検討する」「全ての学校を市役所周辺に集約する」などがありました。また、無回答（25.3%）も一定数に達したことから、仕組みや特徴がわからない、関心が低いといった状況も考えられます。

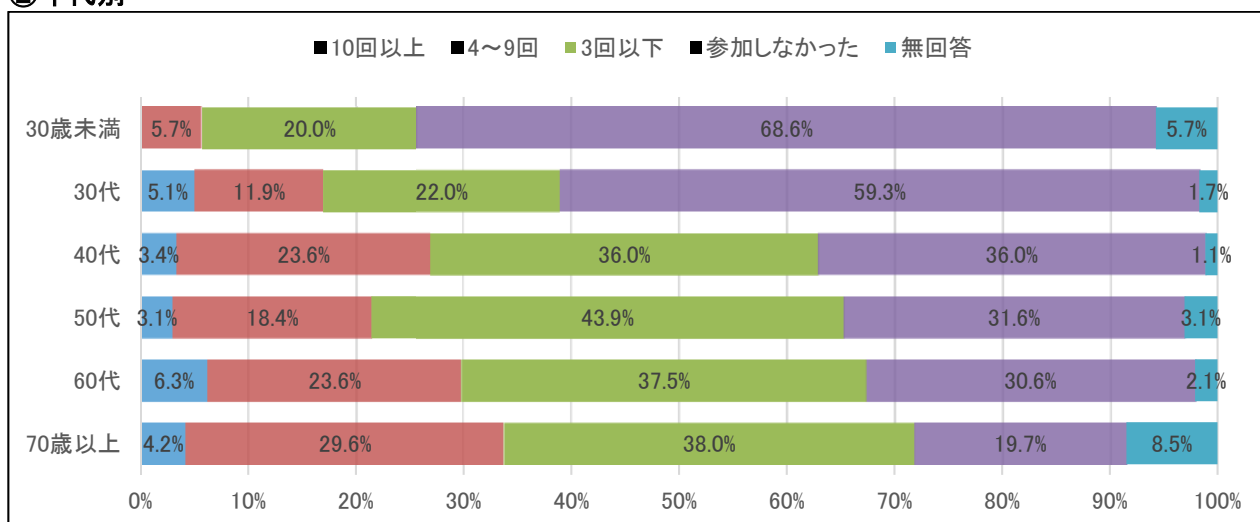
12 地域コミュニティについて

設問 13 あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動（クリーンアップ・運動会・スキー大会等含む）など）にどの程度参加しましたか。

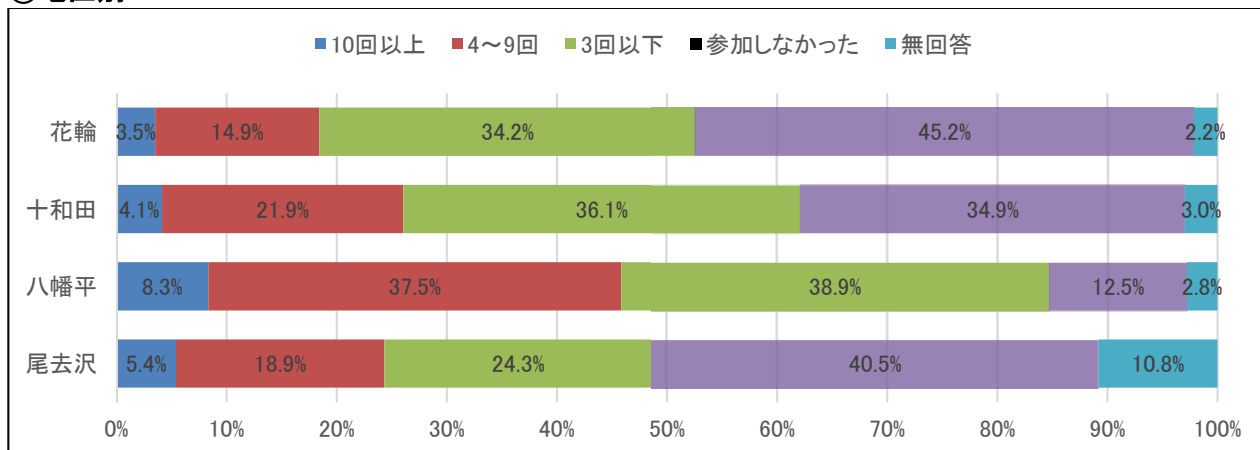
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

昨年 1 年間に社会活動や地域活動に参加した割合は 60.0%となり、前年（54.8%）から 5.2 ポイント増加しています。

男女別にみると、参加割合が男性では 66.4%、女性は 54.4%と、男性が 12.0 ポイント上回っています。

年代別にみると、年代が上がるほど参加割合が増える傾向があり、特に 40 代と 70 歳以上で前年より 10 ポイント以上増加しています。一方で、30 代では、前年より 10 ポイントほどの減少となりました。

地区別にみると、十和田、八幡平地区では前年より大きく増加したものの、ほかの地区では減少しており、特に尾去沢地区の減少の幅が大きくなっています。

地域活動に参加できない理由は、仕事の都合や育児、介護のためとする理由が多いほか、「活動の情報を知らない」「興味がない」という意見もあり、若年層の関心が薄い状況が続いていることから、引き続き、地域コミュニティのさらなる活性化を目指し、多くの世代の参加につながるよう支援します。

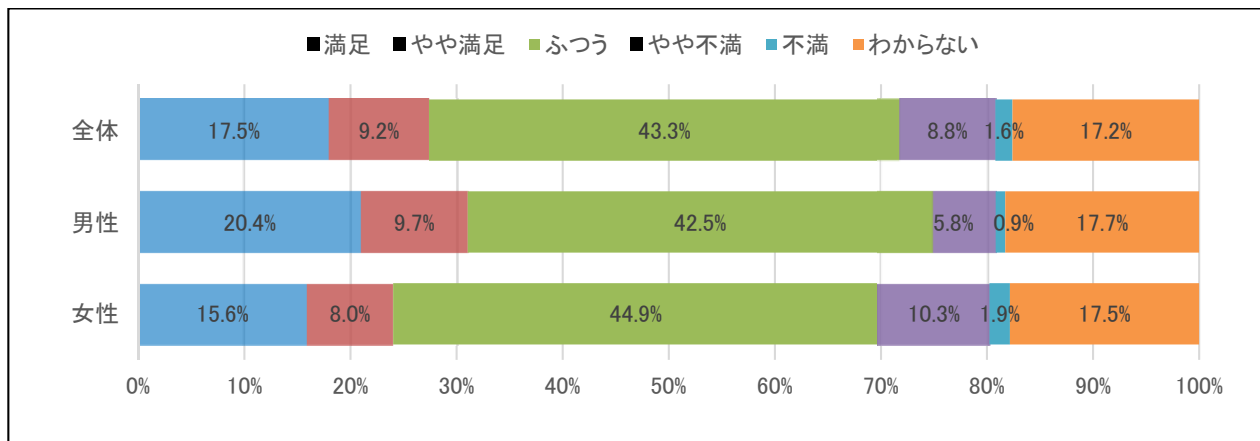
〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R2)
社会活動や地域活動（ボランティア活動・自治会活動など）に参加した市民の割合	70.5%	60.0%	75.0%

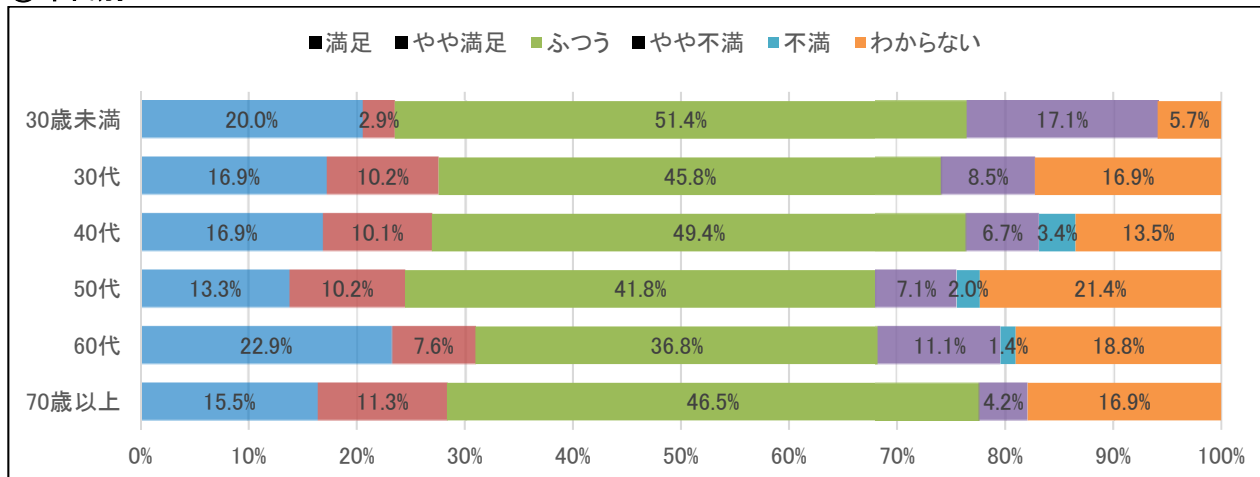
13 上水道について

設問 14 飲み水として、現在の水道水にどのような印象をお持ちですか。

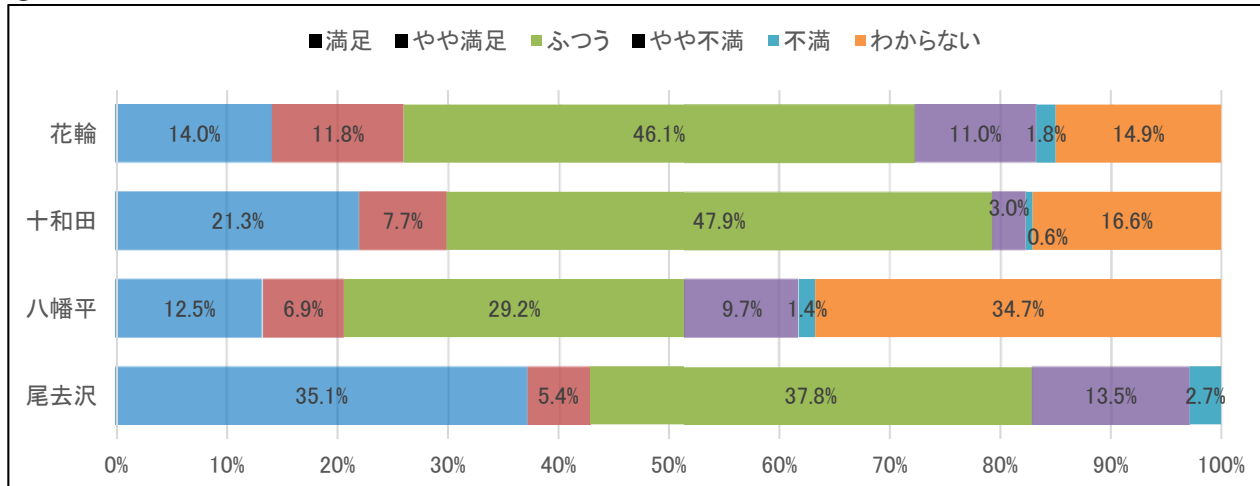
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

水道水の水質について、「ふつう」と回答した利用者が43.3%であり、「満足」「やや満足」を合わせた「満足度」が7割になることから、日常生活のなかで当たり前のサービスとして認知され、利用されていることがうかがえます。

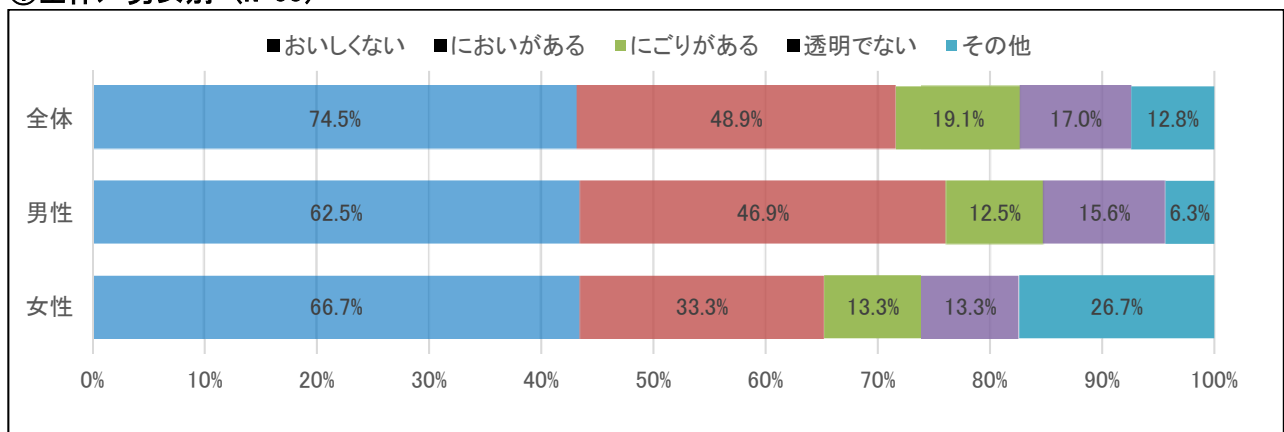
満足度を男女別に見ると、女性が23.6%であるのに対し、男性は30.1%で、男性のほうが満足している傾向にあります。

年代別では、若い世代のほうが「ふつう」と答える傾向にあり、水道を当たり前の存在と感じているようです。

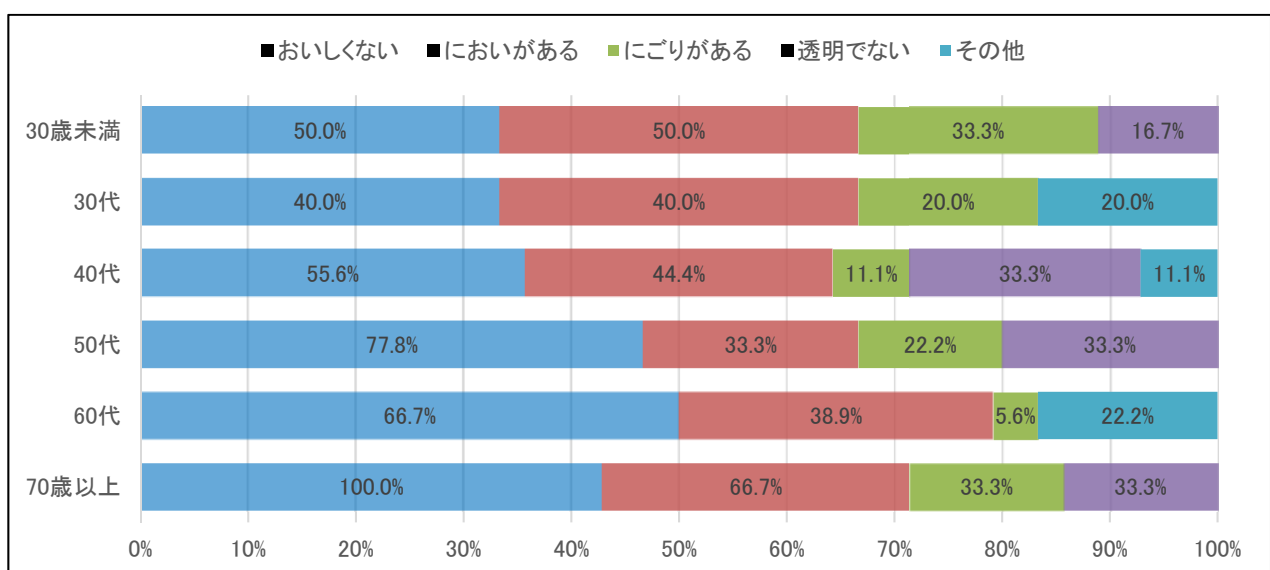
地区別にみると、「不満、やや不満」は、全体では10.4%であるのに対し、十和田地区は3.6%であることから、十和田地区での満足度が高い傾向がうかがえます。

設問14② 水道水の水質に「不満」「やや不満」を選んだ方におたずねします。どのようなことに不満を感じますか。

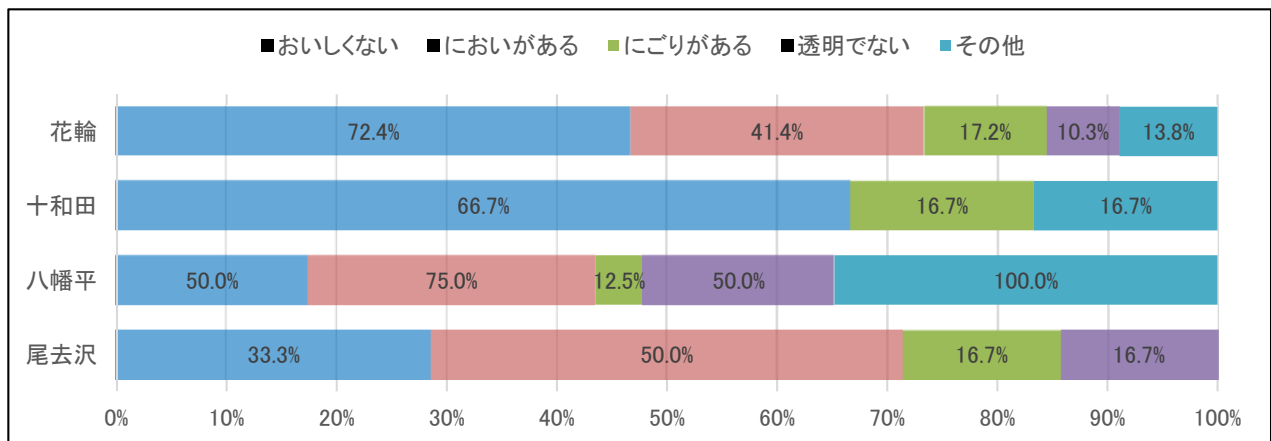
①全体／男女別（N=53）



②年代別



③地区別



④分析結果

水道水の水質に不満を感じる理由として「おいしくない」が最も多く、次に「においがある」が続いています。

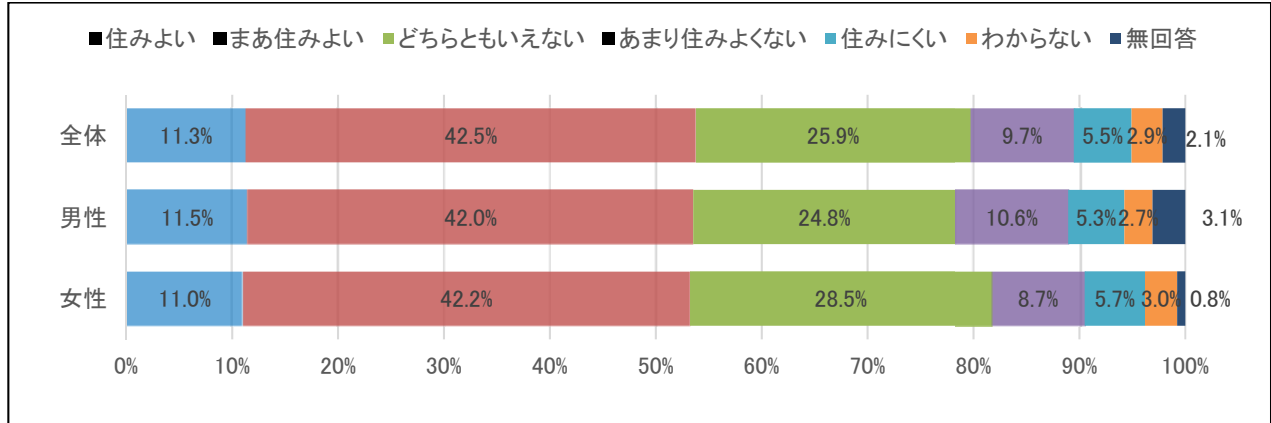
男女別では、「においがある」と答えた女性は32.6%で、男性（21.7%）よりもにおいを気にする傾向にあります。

なお、「においがある」は全体で28.4%でしたが、地区別にみると、十和田地区では「においがある」と答えた方はいませんでした。

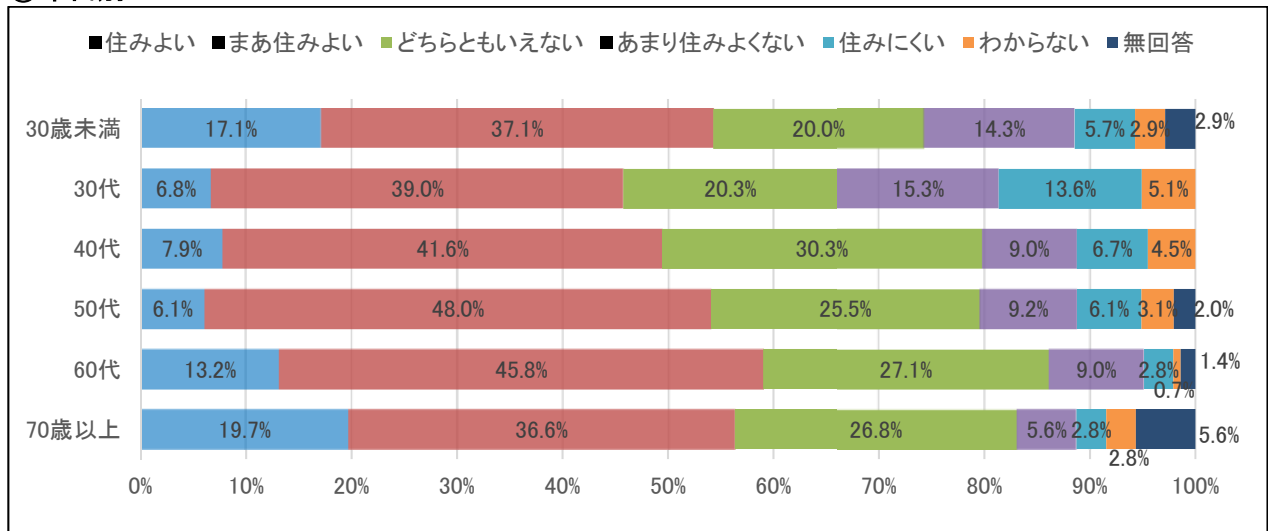
14 住みごころについて

設問 15 あなたにとって、鹿角市の住みごころはどうですか。

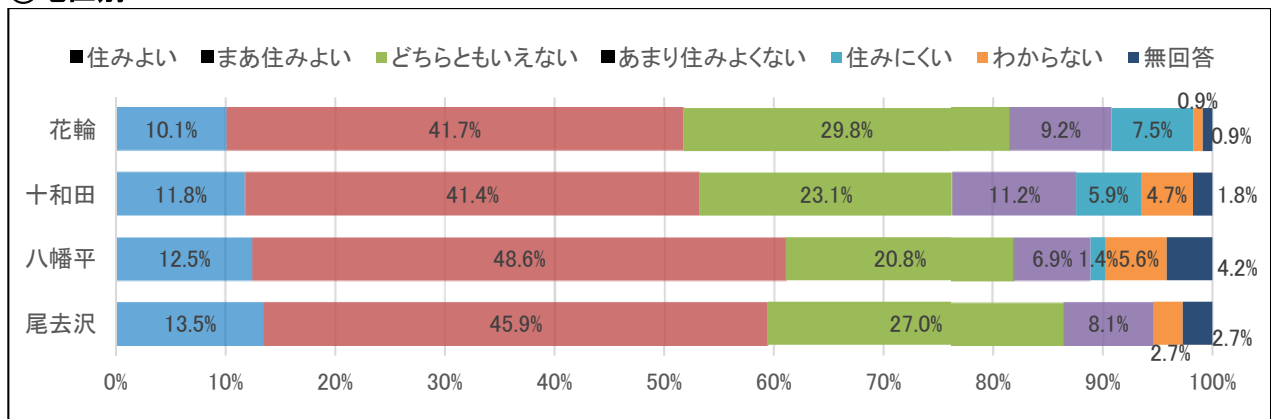
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方は前年（43.1％）より 10.7 ポイント改善しました。
すべての年代で前年を上回りましたが、特に 30 歳未満で 19.2 ポイント、60 代で 11.7 ポイント伸びています。男女別では、男性が 53.5％、女性が 53.2％で同じ水準となっています。
地区別では、前年に続き、八幡平地区（61.1％）が最も高い結果となりました。

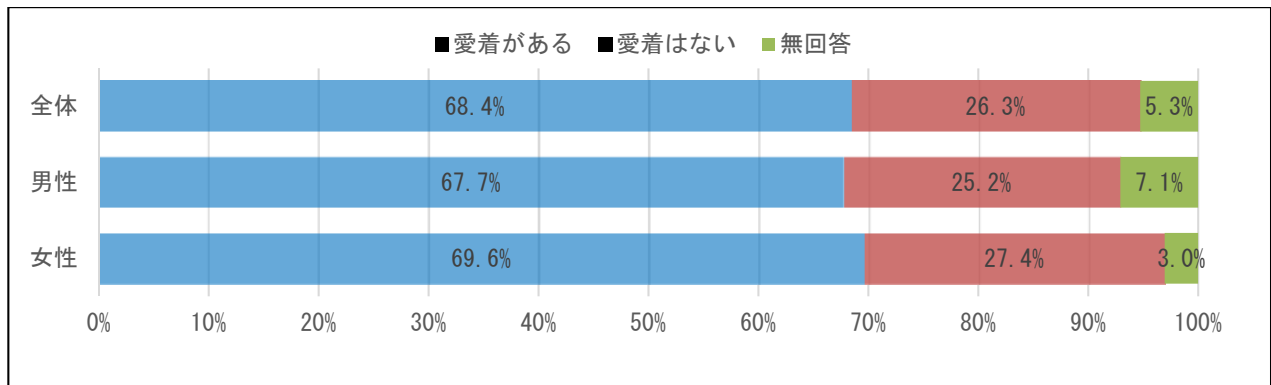
〔参考〕まち・ひと・しごと創生総合戦略数値目標と実績値

数値目標	基準値（H26）	実績値（R1）	目標値（R2）
住みごこちの満足度	54.7%	53.8%	60.0%

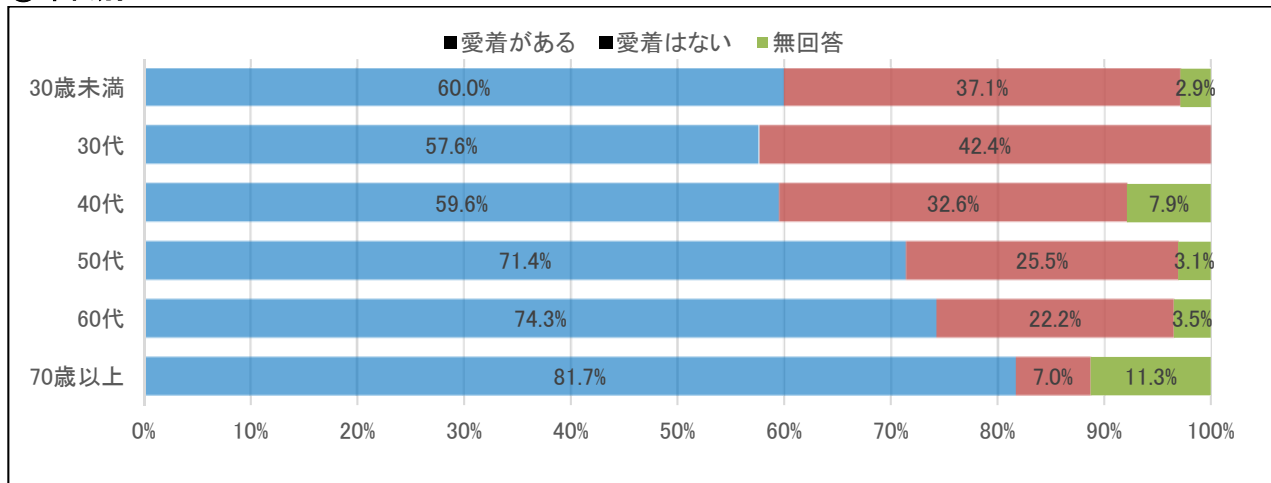
15 愛着について

設問 16 あなたは、鹿角市に愛着を持っていますか。

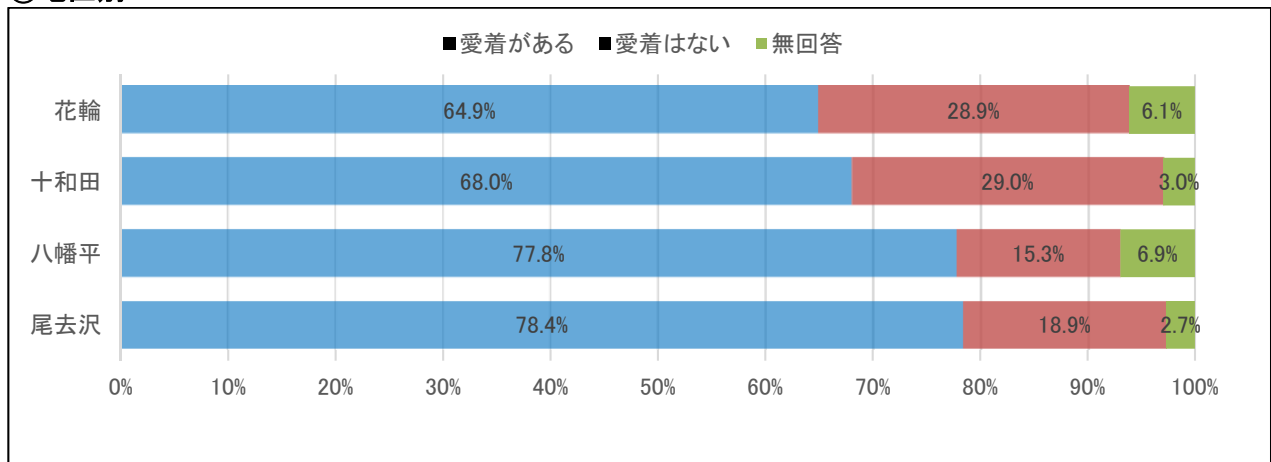
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

鹿角市に愛着がある方の割合は 68.4%で、前年（63.1%）を 5.3 ポイント上回りました。

すべての地区で前年を上回り、花輪地区が 1.5 ポイント増の 64.9%、十和田地区が 11.6 ポイント増の 68.0%、八幡平地区が 2.3 ポイント増の 77.8%、尾去沢地区が 0.8 ポイント増の 78.4% となっています。

また、年代別では 30 歳未満が 5.9 ポイント増の 60.0%、50 代が 14.0 ポイント増の 71.4%、60 代が 8.8 ポイント増の 74.3%となりました。

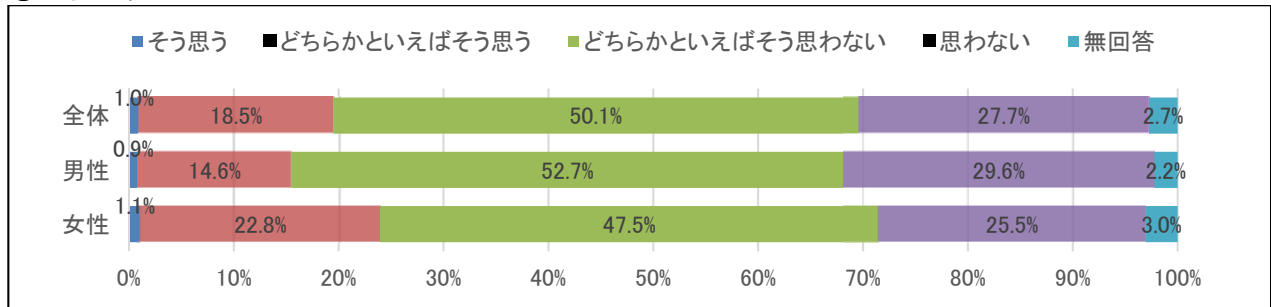
〔参考〕まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標（KPI）と実績値

重要業績評価指標（KPI）	基準値	実績値（R1）	目標値（R2）
鹿角に愛着を持つ人の割合	—	68.4%	68.0%

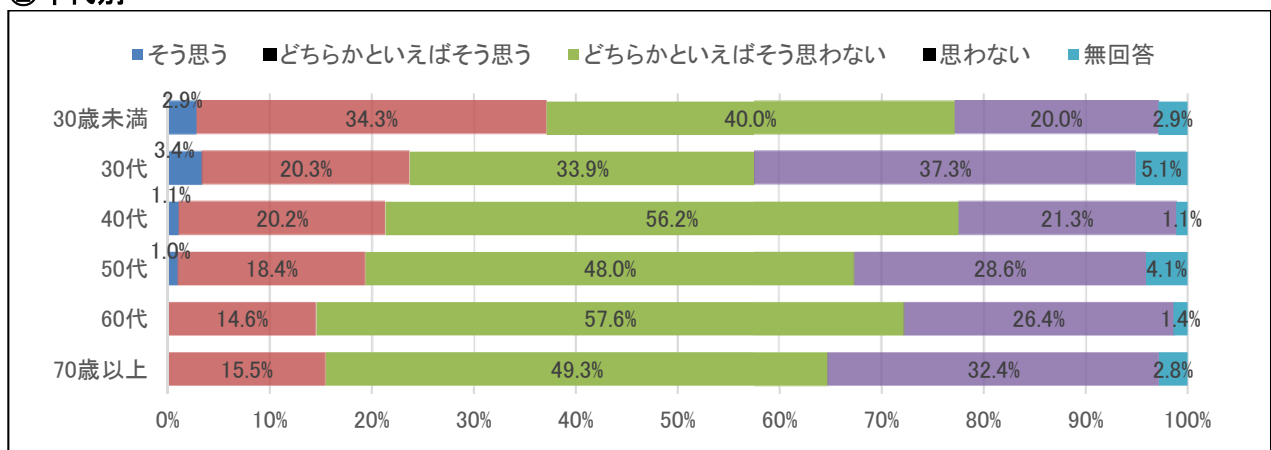
16 まちの満足度について

設問 17① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。

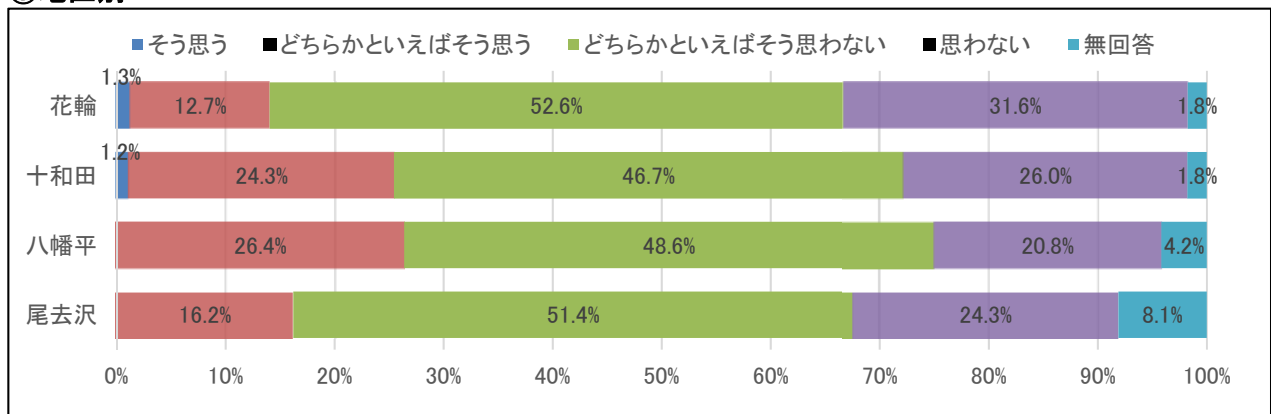
①全体／男女別



②年代別



③地区別

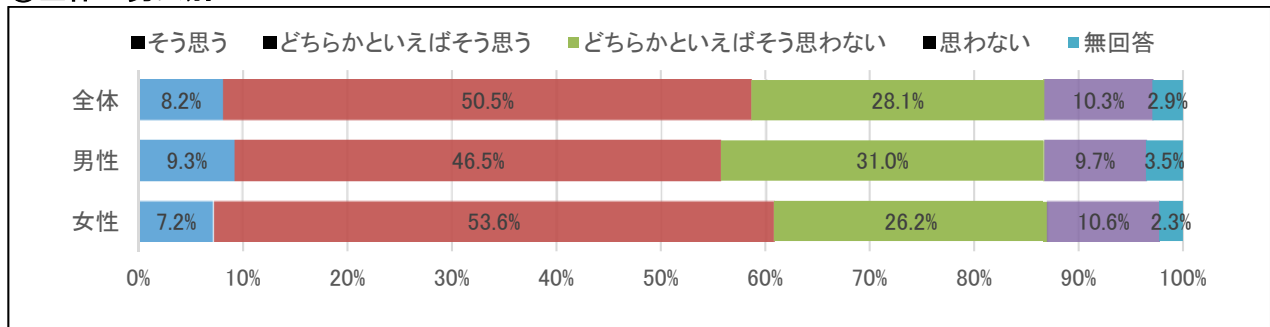


④分析結果

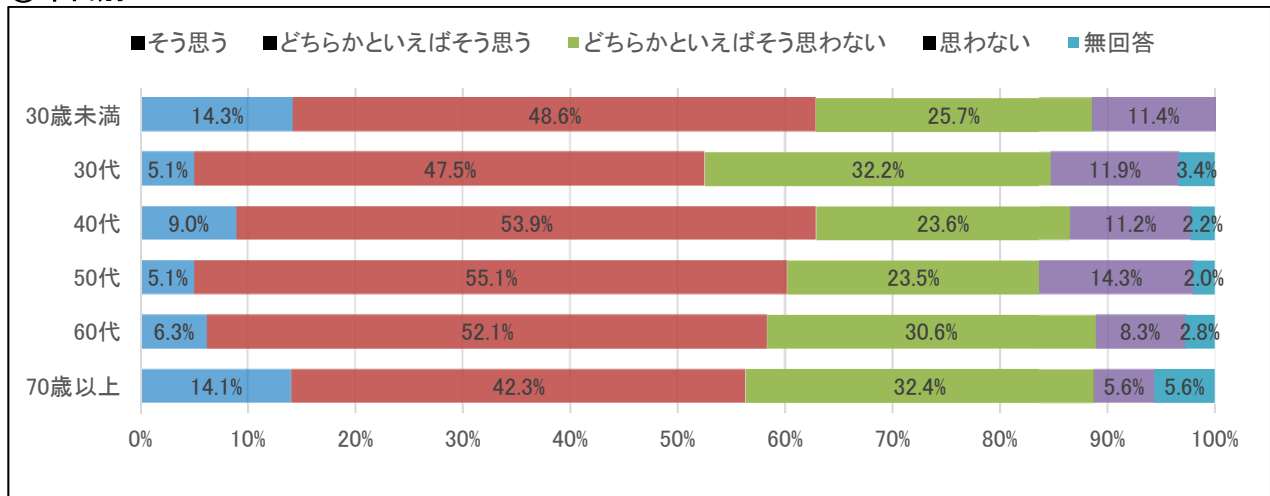
市の産業は元気で活力があると思う割合は、19.5%でした。年代別では、30歳未満が一番多く、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて37.2%でしたが、年代が上がるにつれて、その割合は減少する傾向にあり、60代は14.6%、70歳以上は15.5%となっています。地区別では、十和田や八幡平地区が、花輪や尾去沢地区よりも10ポイント程度高くなっています。

設問 17② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。

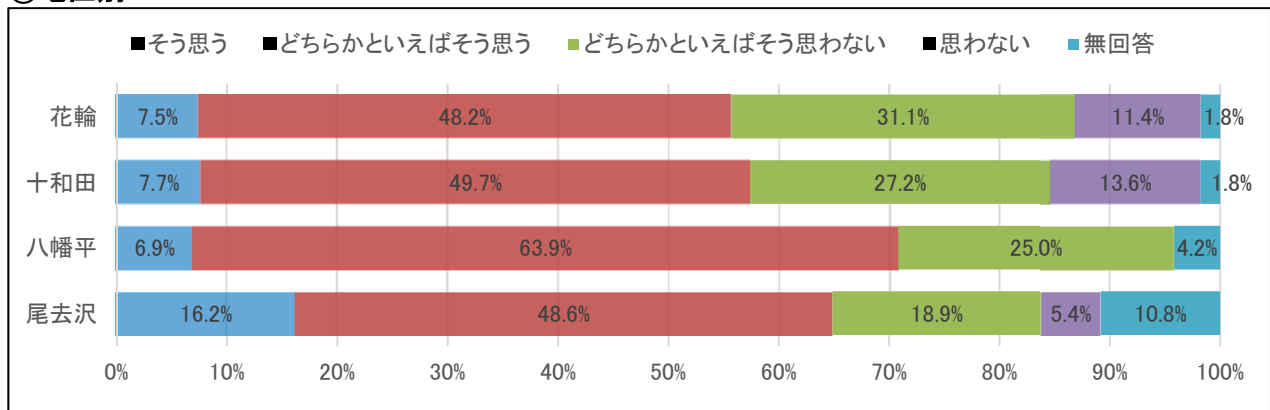
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

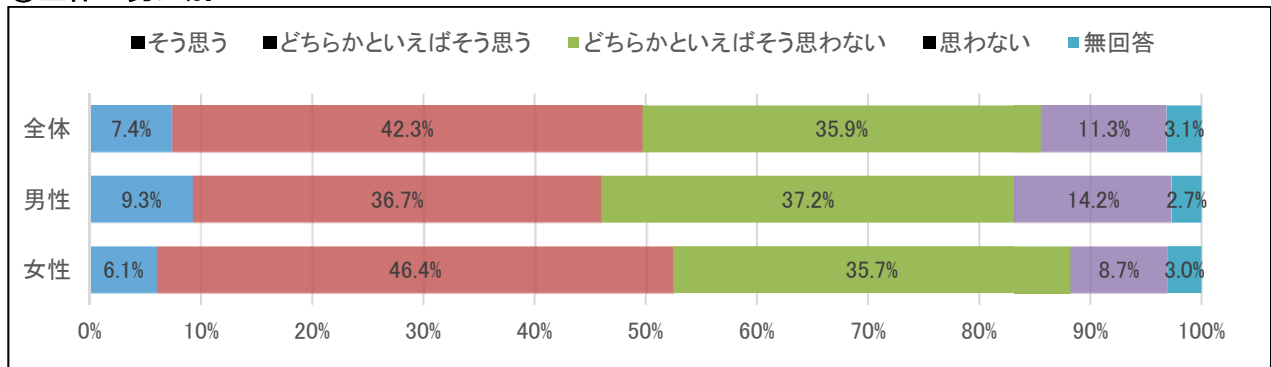
心身ともに健康な暮らしができるまちだと思う割合は58.7%でした。

年代別でみると、30代が52.6%と一番少なく、一番多かった30歳未満及び40代（62.9%）と10.3ポイントの開きがあります。設問10の運動の実施状況においても、30代の運動実施率が一番低かったことから、この結果と相関していることが考えられます。

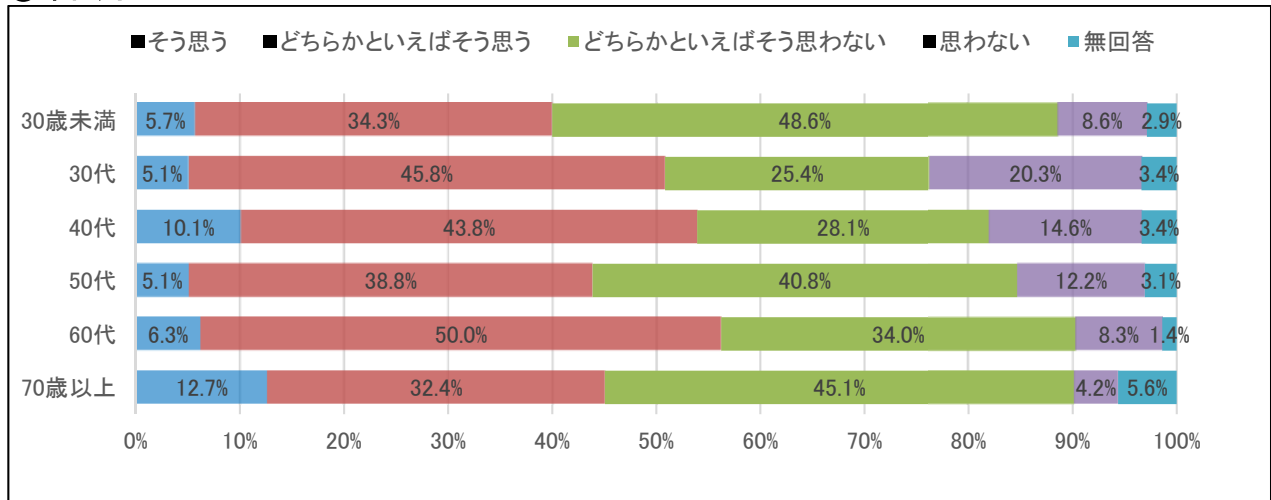
地区別では、70.8%の八幡平地区が一番高く、花輪地区（55.7%）よりも15.1ポイント高い結果となりました。

設問 17③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちだと思いますか。

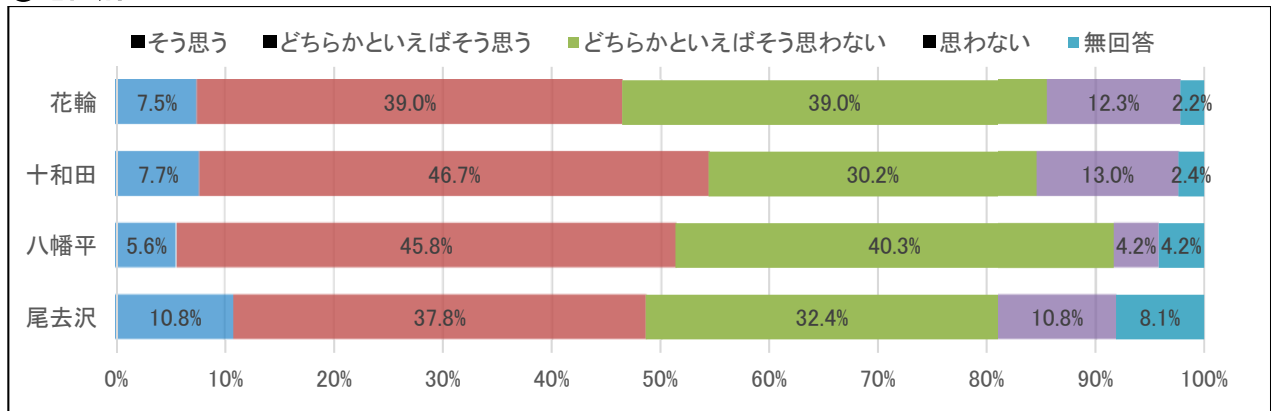
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

生活環境が快適なまちであると思う割合は 49.7%でした。

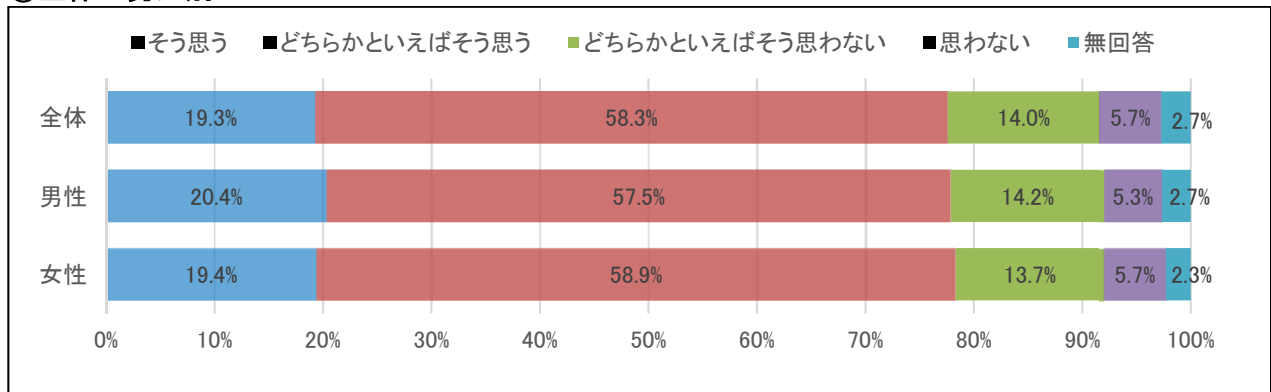
男女別では、女性（52.5%）のほうが男性（46.0%）よりも 6.5%高くなっています。

年代別でみると、各年代の満足度にばらつきがありますが、快適なまちであると「思わない」割合は、30代以降において、年代が上がるにつれて減少する傾向にあります。

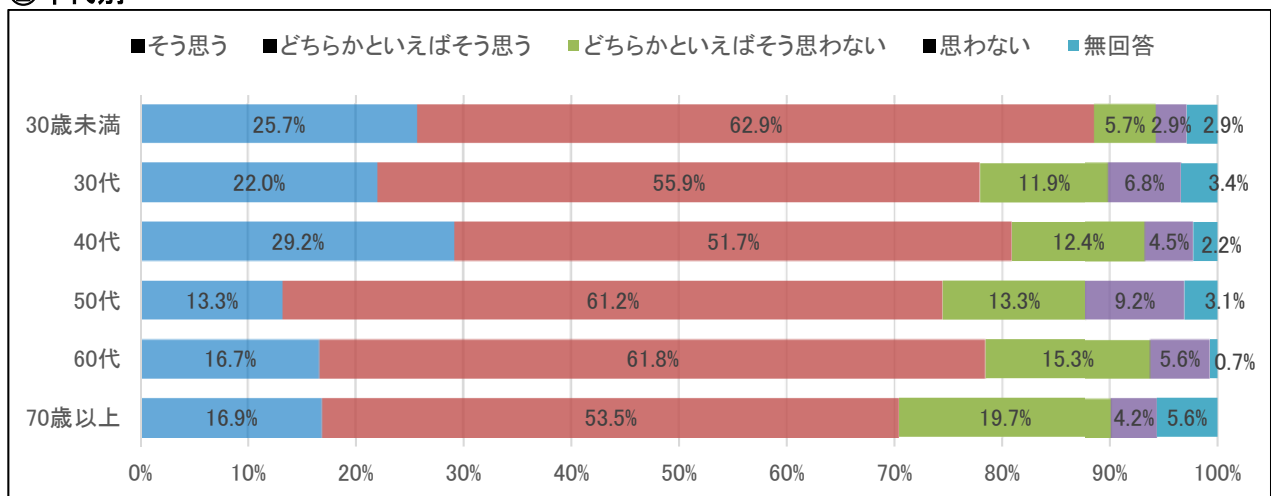
なお、地区別では大きな特徴は見られませんでした。

設問 17④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

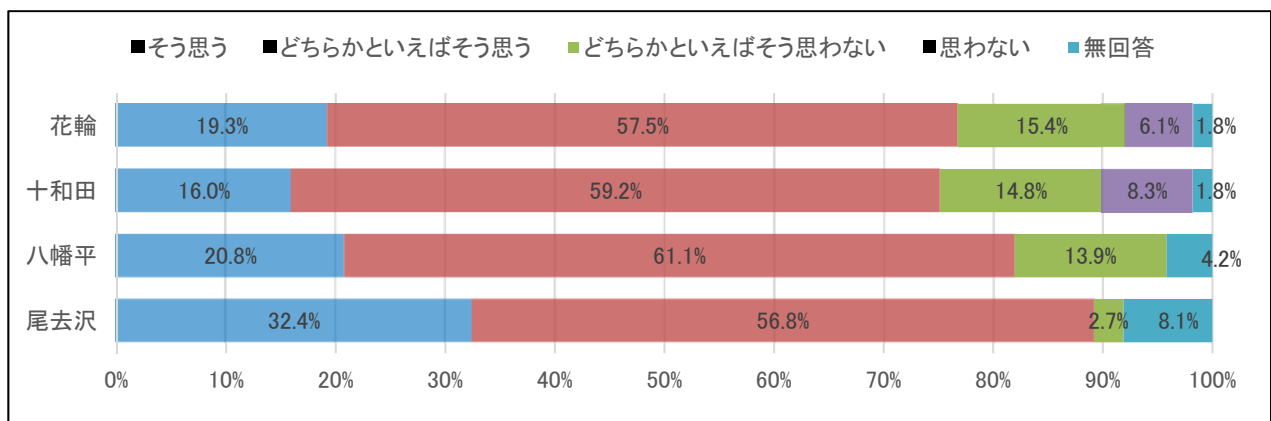
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

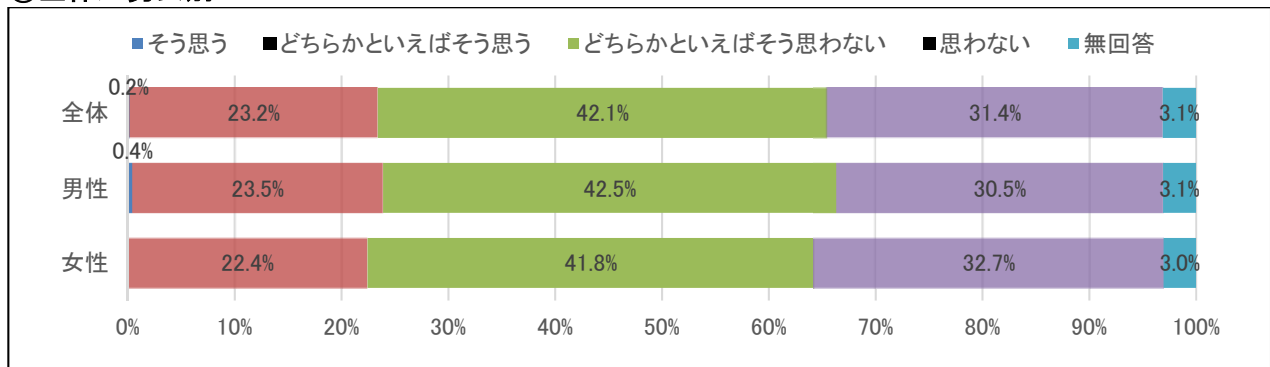
安全で安心して暮らせるまちだと思う割合は 77.6%で、7つの設問の中で一番高い評価となりました。

男女別では、男性（77.9%）と女性（78.3%）でほぼ同水準でしたが、年代別でみると、多少のばらつきはあるものの、年代が上がるにつれて満足度が減少する傾向にあります。

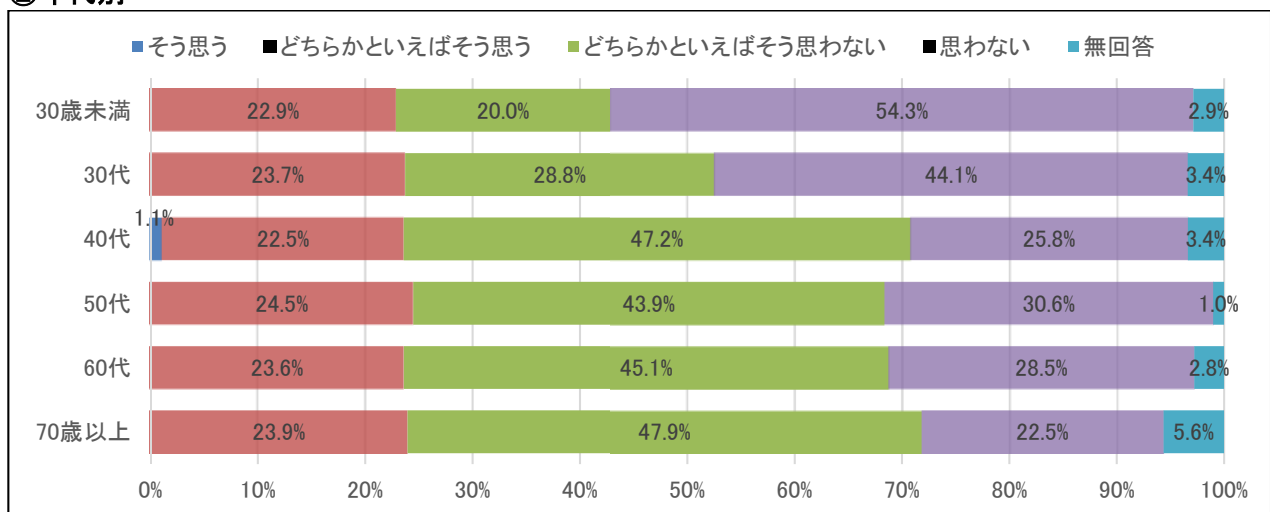
また、地区別では、尾去沢地区（89.2%）で満足度が高いことが特徴として挙げられます。

設問 17⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。

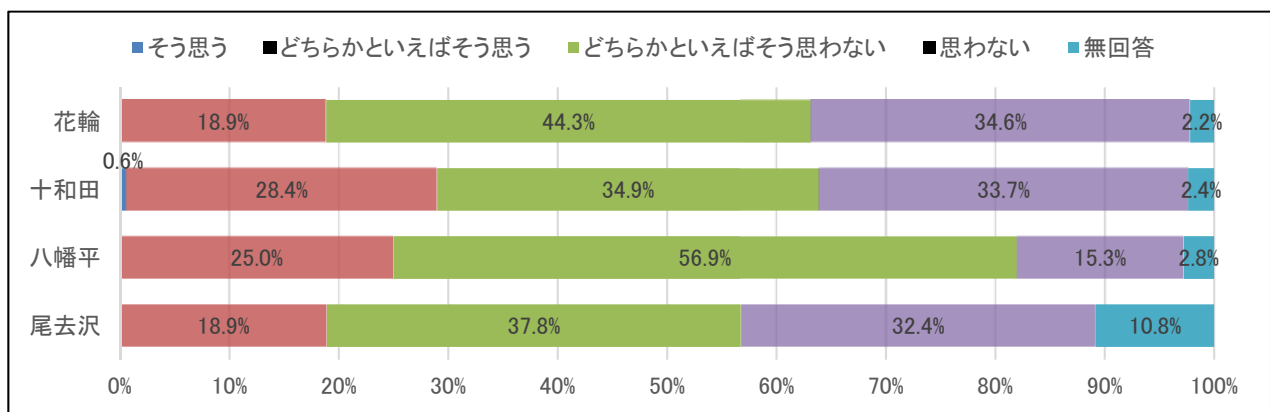
①全体／男女別



②年代別



③地区別



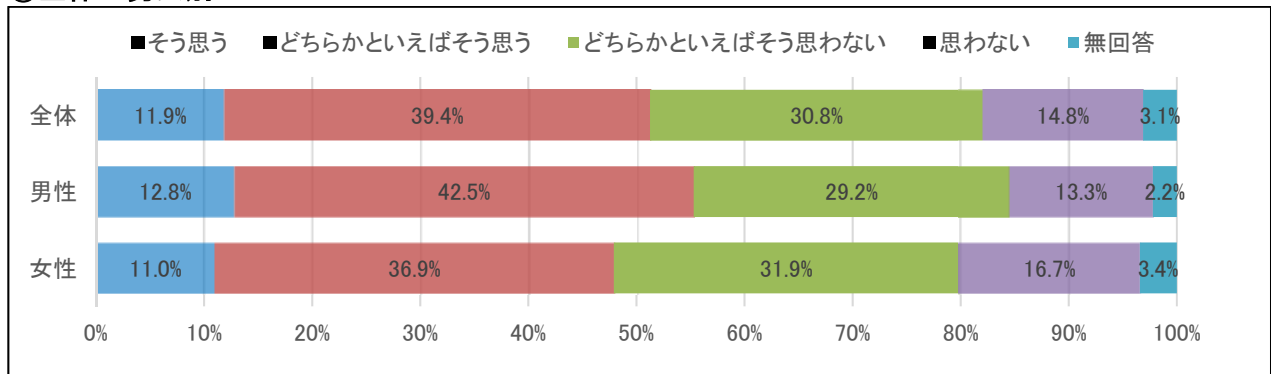
④分析結果

市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思う割合は23.4%でした。

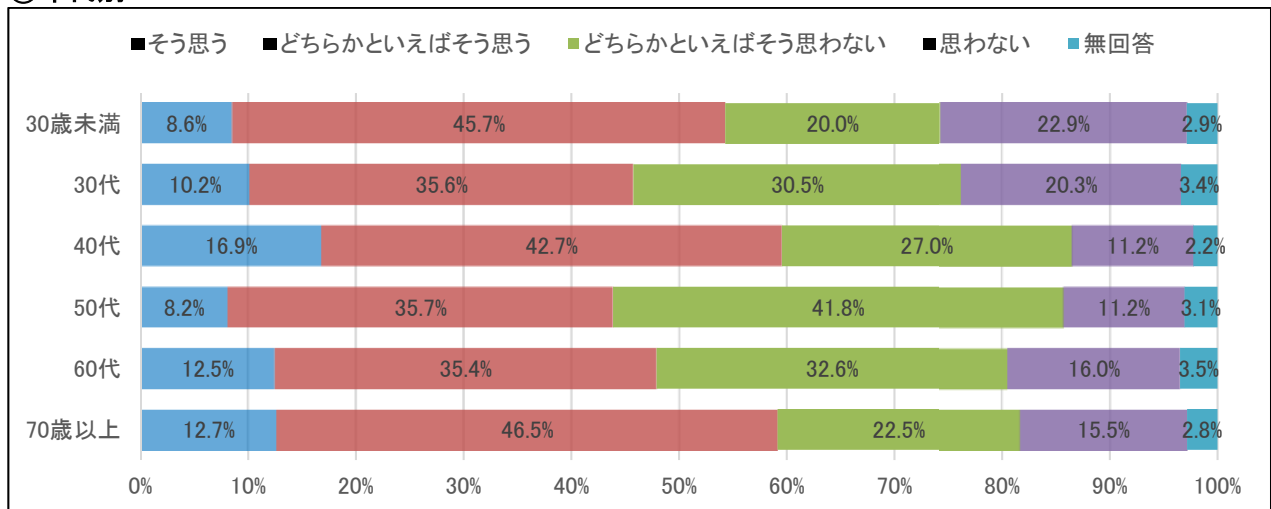
男女別での評価にほぼ違いはありませんでした。年代別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」は、各年代で同水準であるのに対して、「思わない」は若い世代のほうが多く、年代が上がるにつれて減少する傾向にあります。

設問 17⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。

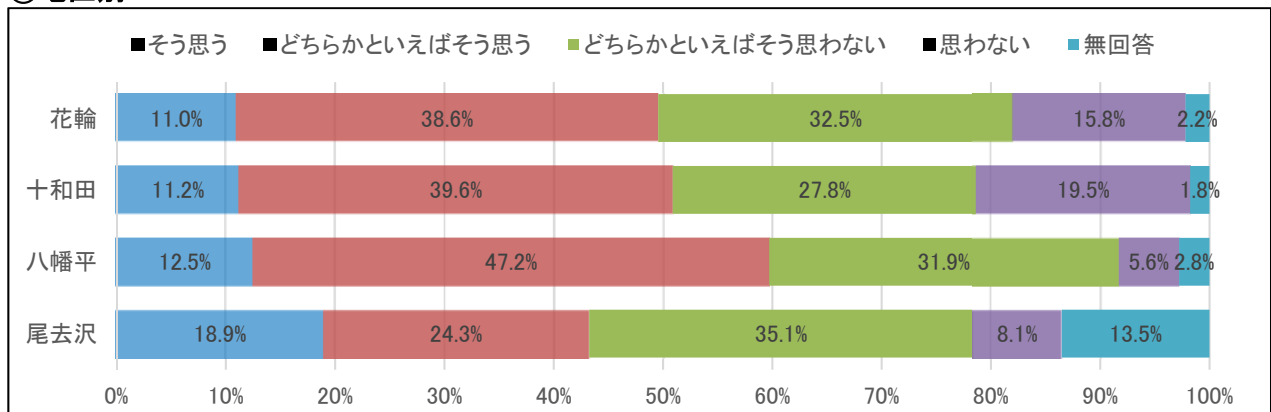
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

文化遺産が豊富で誇れるまちであると思う割合は51.3%でした。

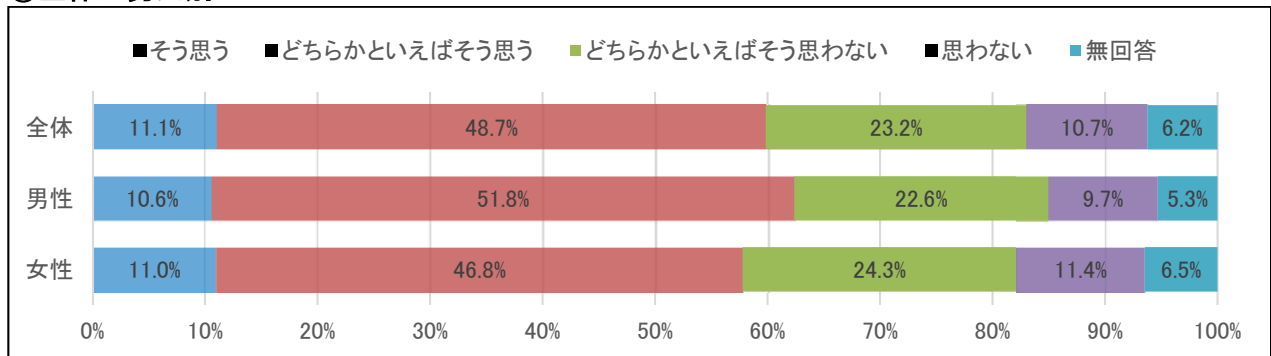
男女別でみると、男性（55.3%）が女性（47.9%）より7.4ポイント高い結果となっています。

年代別では、世代間で大きな特徴は見られませんが、30歳未満及び30代で「思わない」割合が少し高い傾向にあります。

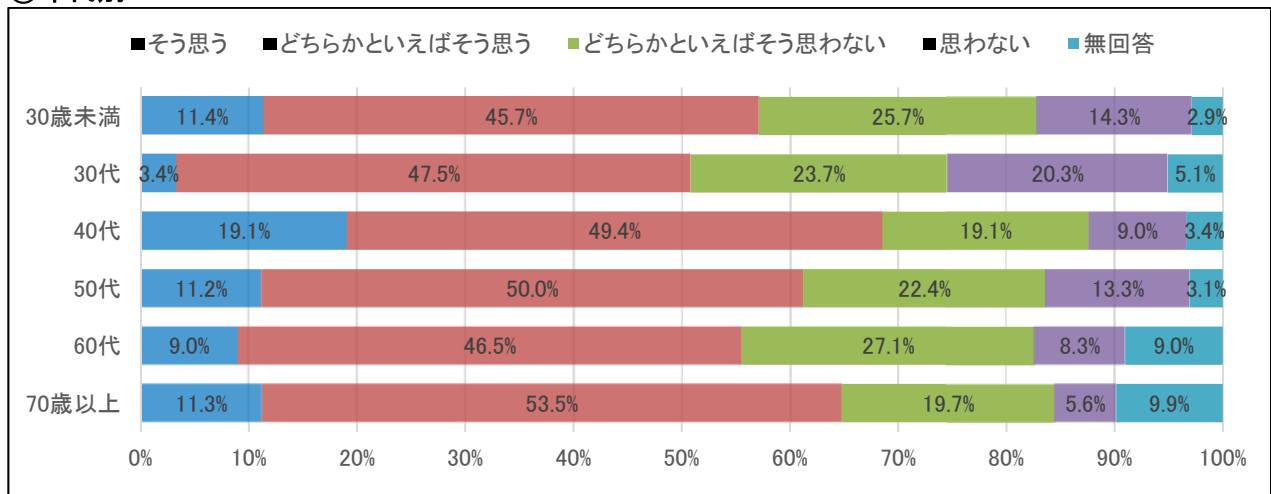
地区別では、八幡平地区が59.7%で一番高く、一番低い尾去沢地区とは16.5ポイントの開きとなっています。

設問 17⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

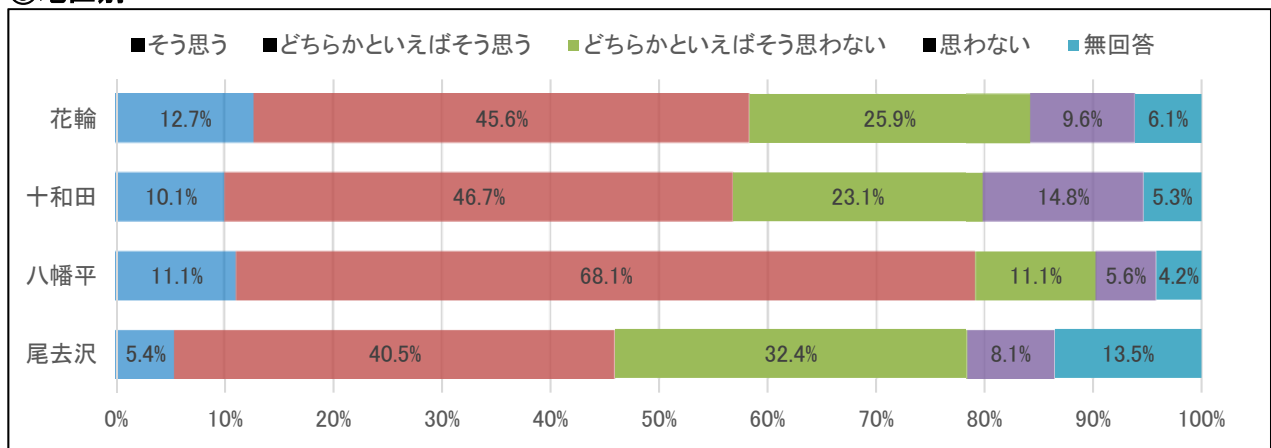
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

自分に必要な行政サービスが受けられていると思う割合は、59.8%でした。

男女別でみると、男性（62.4%）が女性（57.8%）より4.6ポイント高い結果となっています。

年代別では、ばらつきがみられますが、一番評価が高かったのは40代で68.5%となりました。

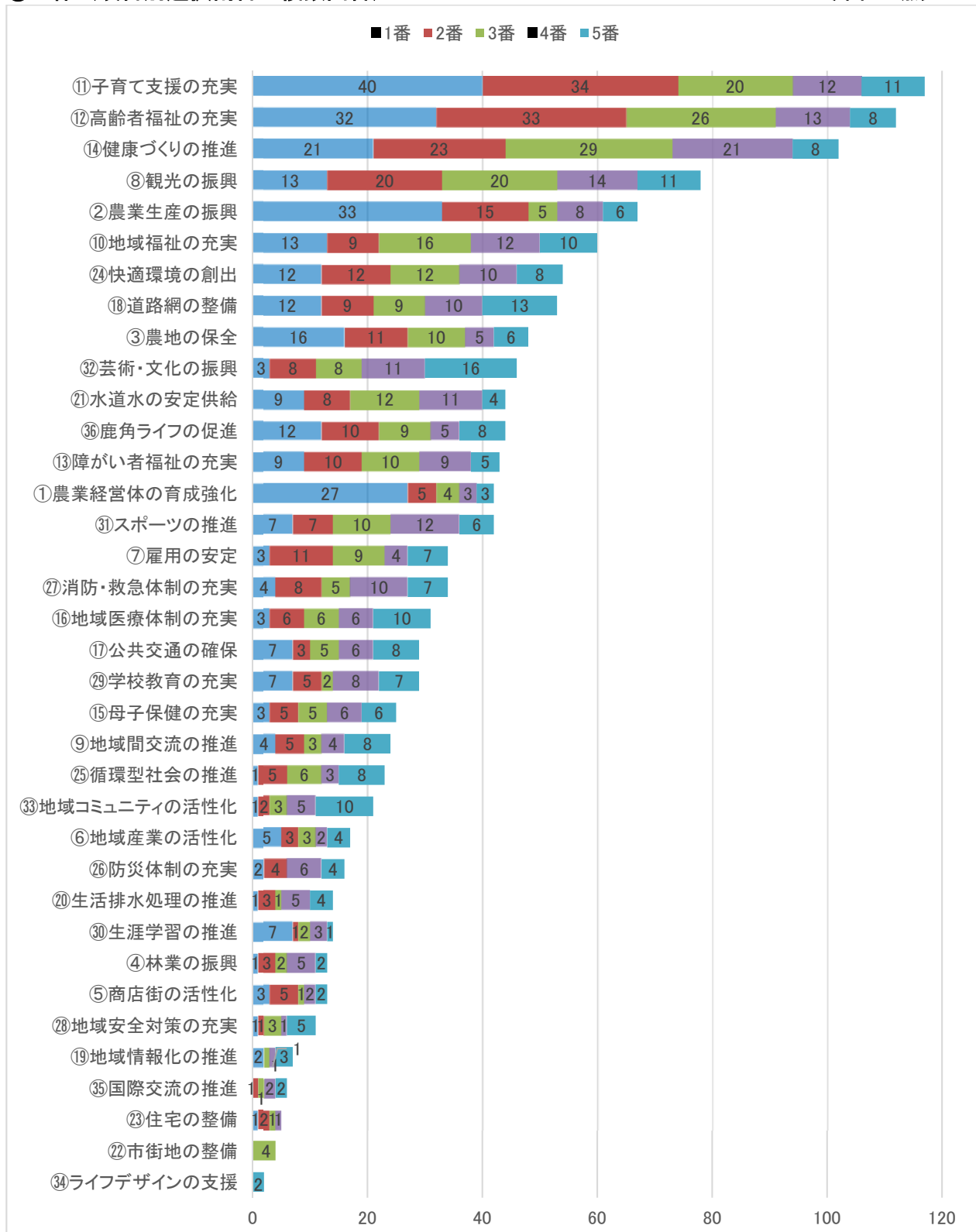
また、地区別では、八幡平地区が79.2%で一番高く、一番低い尾去沢地区とは33.3ポイントの開きとなっています。

17 市の政策について

設問 18① 市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるものを下表の 36 項目から順に 5 つ選んでください。

①全体（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



順位	前年順位	施策No.・施策名	1 番	2 番	3 番	4 番	5 番	計
1	(2)	⑪子育て支援の充実	40	34	20	12	11	117
2	(4)	⑫高齢者福祉の充実	32	33	26	13	8	112
3	(3)	⑭健康づくりの推進	21	23	29	21	8	102
4	(1)	⑧観光の振興	13	20	20	14	11	78
5	(9)	②農業生産の振興	33	15	5	8	6	67
6	(7)	⑩地域福祉の充実	13	9	16	12	10	60
7	(6)	⑲快適環境の創出	12	12	12	10	8	54
8	(8)	⑯道路網の整備	12	9	9	10	13	53
9	(17)	③農地の保全	16	11	10	5	6	48
10	(12)	⑳芸術・文化の振興	3	8	8	11	16	46
11	(5)	⑯鹿角ライフの促進	12	10	9	5	8	44
11	(11)	㉑水道水の安定供給	9	8	12	11	4	44
13	(12)	⑬障がい者福祉の充実	9	10	10	9	5	43
14	(14)	①農業経営体の育成強化	27	5	4	3	3	42
14	(10)	㉓スポーツの推進	7	7	10	12	6	42
16	(14)	㉑消防・救急体制の充実	4	8	5	10	7	34
16	(16)	⑦雇用の安定	3	11	9	4	7	34
18	(24)	⑯地域医療体制の充実	3	6	6	6	10	31
19	(17)	㉑学校教育の充実	7	5	2	8	7	29
19	(27)	⑰公共交通の確保	7	3	5	6	8	29
21	(20)	⑮母子保健の充実	3	5	5	6	6	25
22	(23)	⑨地域間交流の推進	4	5	3	4	8	24
23	(26)	㉑循環型社会の推進	1	5	6	3	8	23
24	(21)	㉓地域コミュニティの活性化	1	2	3	5	10	21
25	(25)	⑥地域産業の活性化	5	3	3	2	4	17
26	(27)	㉑防災体制の充実	2	4	0	6	4	16
27	(31)	㉓生涯学習の推進	7	1	2	3	1	14
27	(28)	㉑生活排水処理の推進	1	3	1	5	4	14
29	(21)	⑤商店街の活性化	3	5	1	2	2	13
29	(30)	④林業の振興	1	3	2	5	2	13
31	(28)	㉑地域安全対策の充実	1	1	3	1	5	11
32	(32)	⑰地域情報化の推進	2	0	1	1	3	7
33	(34)	㉑国際交流の推進	0	1	1	2	2	6
34	(24)	㉑住宅の整備	1	2	1	1	0	5
35	(33)	㉑市街地の整備	0	0	4	0	0	4
36	(34)	㉑ライフデザインの支援	0	0	0	0	2	2

②分析結果

効果が得られていると感じる施策として、最も多くの方に選択されたのは「子育て支援の充実」で117人（昨年は93人）が選択しています。昨年の2番目から返り咲きとなりますが、選択理由で多かった記載は、子ども未来センターの事業や市独自の支援策に加え、保育料の負担軽減や放課後児童クラブのサービス拡充などが挙げられています。また、子育て世代以外からも、自身が子育てしていた頃と比較して支援が手厚く、現在のほうが安心感があるといった評価もみられました。

2番目は「高齢者福祉の充実」で、112人（昨年は81人）が選択しています。介護予防施設が整備されていることや、デイサービスの利用環境が充実している点のほか、保健師の訪問活動などの対応が評価されています。また、サービス利用者のほかに、高齢者と暮らす家族からも相談体制を評価する声が届いています。

3番目に多いのは「健康づくりの推進」で、102人（昨年は82人）が選択しています。定期的な健診の実施とともに、対象者への呼びかけや案内が丁寧に行われていることのほか、フレイル予防やシルバーリハビリ体操の取り組みが評価されています。健康意識の高まりを背景に、市民ニーズに沿って効果的に取組を継続する必要があります。

4番目は「観光の振興」で、78人（昨年は105人）が選択しています。まちの玄関口である鹿角花輪駅前の整備や、道の駅かつの「あんたらあ」の改修に着手し、賑わいの創出を図っていることが評価されています。また、地域DMOとの連携が実績を生んでいることや、大湯環状列石の世界遺産登録に向けた活動も理由として挙げられています。

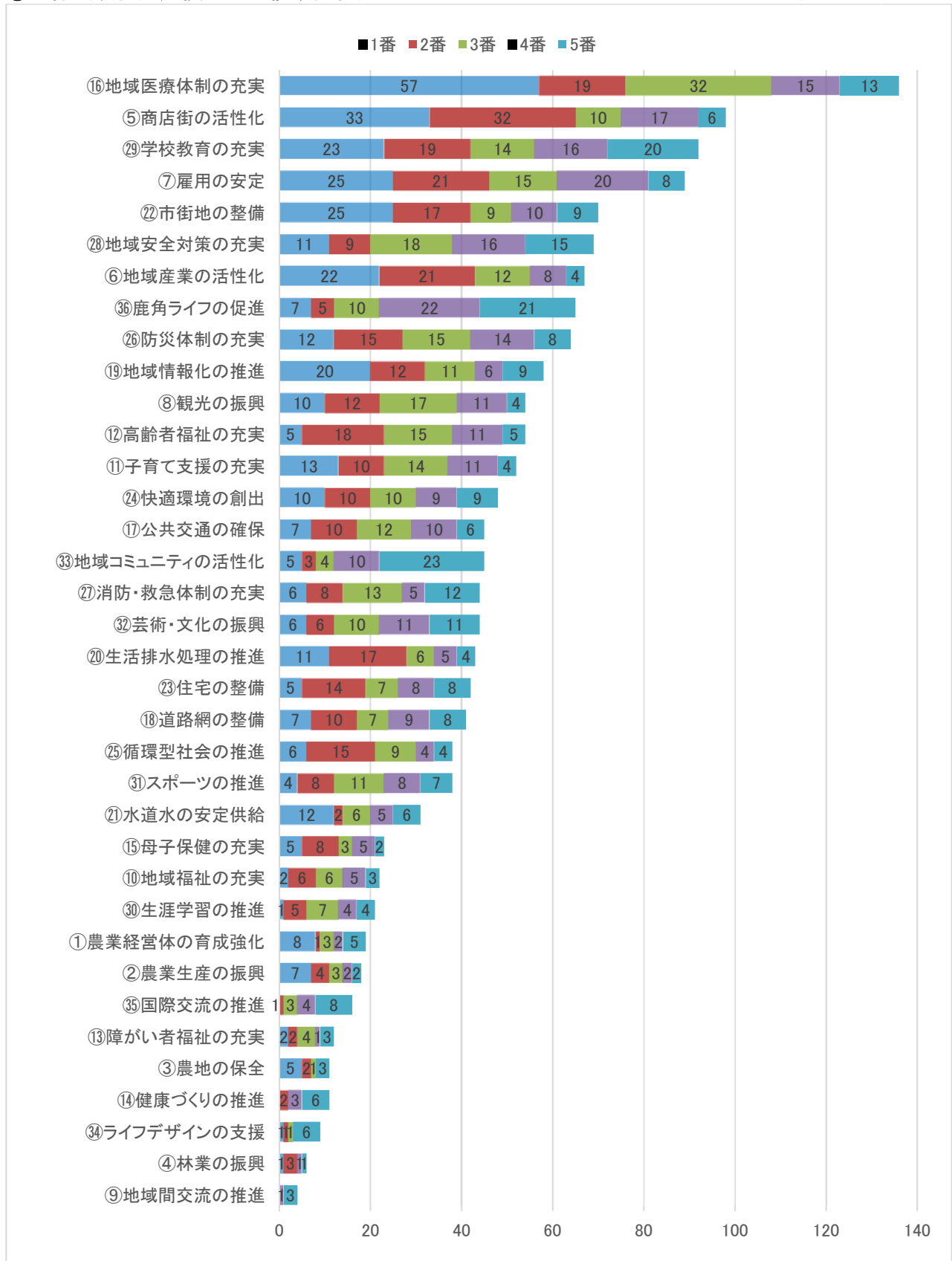
5番目は「農業生産の振興」で、67人（昨年は47人）が選択し、昨年から4つ順位を上げています。北限の桃や枝豆、かつの牛など、農産物の積極的なブランド化の取組が評価されています。また、ふるさと納税の返礼品として農産物や加工品が人気商品となっていることを評価する声のほか、他の産業との相乗効果により、地域が活性化することを期待する声もありました。

それ以降の施策については、昨年7番目であった「地域福祉の充実」が6番目となり、福祉施設の充実や軽運動などができる環境が評価されたほか、昨年6番目であった「快適環境の創出」が7番目となっています。

設問 18② 市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるものを下表の36項目から順に5つ選んでください。

①全体（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



順位	前年順位	施策No.・施策名	1 番	2 番	3 番	4 番	5 番	計
1	(1)	⑩地域医療体制の充実	57	19	32	15	13	136
2	(2)	⑤商店街の活性化	33	32	10	17	6	98
3	(2)	②学校教育の充実	23	19	14	16	20	92
4	(3)	⑦雇用の安定	25	21	15	20	8	89
5	(7)	②市街地の整備	25	17	9	10	9	70
6	(19)	②地域安全対策の充実	11	9	18	16	15	69
7	(5)	⑥地域産業の活性化	22	21	12	8	4	67
8	(13)	③鹿角ライフの促進	7	5	10	22	21	65
9	(16)	②防災体制の充実	12	15	15	14	8	64
10	(12)	⑨地域情報化の推進	20	12	11	6	9	58
11	(8)	⑧観光の振興	10	12	17	11	4	54
11	(11)	⑫高齢者福祉の充実	5	18	15	11	5	54
13	(9)	⑪子育て支援の充実	13	10	14	11	4	52
14	(18)	④快適環境の創出	10	10	10	9	9	48
15	(5)	⑪公共交通の確保	7	10	12	10	6	45
15	(25)	③地域コミュニティの活性化	5	3	4	10	23	45
17	(22)	⑦消防・救急体制の充実	6	8	13	5	12	44
17	(16)	⑫芸術・文化の振興	6	6	10	11	11	44
19	(15)	⑩生活排水処理の推進	11	17	6	5	4	43
20	(10)	③住宅の整備	5	14	7	8	8	42
21	(14)	⑩道路網の整備	7	10	7	9	8	41
22	(20)	⑤循環型社会の推進	6	15	9	4	4	38
22	(24)	③スポーツの推進	4	8	11	8	7	38
24	(20)	①水道水の安定供給	12	2	6	5	6	31
25	(22)	⑮母子保健の充実	5	8	3	5	2	23
26	(27)	⑩地域福祉の充実	2	6	6	5	3	22
27	(26)	⑩生涯学習の推進	1	5	7	4	4	21
28	(28)	①農業経営体の育成強化	8	1	3	2	5	19
29	(30)	②農業生産の振興	7	4	3	2	2	18
30	(29)	③国際交流の推進	0	1	3	4	8	16
31	(33)	⑬障がい者福祉の充実	2	2	4	1	3	12
32	(32)	③農地の保全	5	2	1	0	3	11
32	(35)	⑭健康づくりの推進	0	2	0	3	6	11
34	(33)	⑭ライフデザインの支援	1	1	1	0	6	9
35	(30)	④林業の振興	1	3	0	1	1	6
36	(36)	⑨地域間交流の推進	0	0	0	1	3	4

②分析結果

もっと力を入れて欲しいと感じる施策として、最も多くの方に選択されたのは、前年に引き続き「地域医療体制の充実」で136人（昨年は133人）が選択しています。医師不足の解消を望む声が多い中で、今回は女性に限らず、男性からも産婦人科医の確保を求める意見が寄せられました。このほか、緊急時の対応や地域医療の将来を不安に思うとの声があり、全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が収束していない状況も結果に影響しているものと考えられます。

2番目も前年に続いて「商店街の活性化」となり、98人（昨年は102人）が選択しています。店舗の少なさや、人通りが少なく活気が感じられないことなどが主な理由として挙がっています。一部には「仕方がない」とする声もありましたが、総じて商店街の賑わいと買い物の利便性が求められています。活気ある店舗が閉店すると、それまで足を運んでいたお客さんが商店街に来なくなり、商店街全体の人通りが減ってしまうことから、閉店が続いて負の連鎖にならないよう、空き店舗等の対策が必要です。

3番目は「学校教育の充実」で、92人（昨年は69人）が選択し、前年から1つ上がりました。今回のアンケートでは、設問11でも今後力を入れるべき教育分野について意見を伺っていますが、「次世代を担う子どもたちに様々な経験をさせてほしい」「教育レベルの地域間格差が生まれないよう支援してほしい」といった意見がありました。このほか、学校教材や給食費の無償化を望む声や、管内高校の統合校の学科について多様化を望む意見が寄せられています。

4番目は「雇用の安定」で、89人（昨年は89人）が選択しました。前年同様、若年層の流出を防ぐために、若者の働く場の確保や賃金の向上を求める声があり、これらは50代以降の年代の方々から多く寄せられています。このほか、30代からは、鹿角にしかない職種や就職に有利な資格取得の支援を求める声がありました。

5番目は「市街地の整備」で、70人（昨年は59人）が選択し、前年から2つ上がりました。空き家が目立つことで治安を心配する声や、商店街ではシャッター街の解消と駐車場の確保を求める意見があったほか、鹿角花輪駅前が賑わいのある場所であってほしいと願う声も寄せられています。

19 自由意見

設問 19 で記述のあった自由意見は、123 人から 148 件の意見や感想をいただきました。自由意見については施策別に整理し、それ以外を政策全般に関すること、職員に関すること、アンケートに関すること、その他に分類し、下表に掲載しています。

1-2-1 商店街の活性化

地区	性別	年代	内容
八幡平	女	60 代	鹿角に住んで、自然に恵まれ、地産地消でおいしく食べているが、花輪市日が 400 年の歴史もあり、整備されて立派になったが、賑わいがなくなっていると感じる。地元のものだけではなく、そこに行くと元気になるよう、もう一工夫が必要である。市日に行くと鹿角の特産物や観光・歴史を知るコーナーや、町の案内をしてくれる人など、これからに期待したいと思う。
十和田	女	60 代	商店街の活性化を考えてほしい。
花輪	男	60 代	買い物するところが限られ、他県に行って買い物している。地元でお金を使って市が潤い、みんなが満足するように。競争店がないせいか、接客が雑で客を見下しているような言い方をする店員がいて、教育がなっていないと痛烈に感じる。他県と比べると、鹿角市民は態度も言い方も冷たい。鼻高いのか高飛車だ。岩手県民はいろんな面で素晴らしい。他県の視察をして「井の中の蛙、大海を知らず」脱却を！
尾去沢	男	40 代	大町商店街や飲食店など、地元の店を利用したいが、駐車場がなかったり、交通が不便だったりするため、他地域を利用してしまふ。特に大町は路上駐車を取り締まりが厳しいため、絶対に行かない。利用したい店はある。

1-2-2 地域産業の活性化

地区	性別	年代	内容
花輪	男	30 代	地元に残りやすく大手企業などの誘致などをもっと積極的にしてほしい。マックやミスド、若者が集まれる場所を作してほしい。イオンなどを誘致してほしい。
花輪	男	60 代	人口の流出を防ぐため、インターネット等を活用した産業を誘致し、高卒でも地元就職できる環境をつくるべき。
花輪	男	50 代	コロナの影響もあり、飲食業や宿泊業が大変と思われます。市内がこれまで以上に活気づくようにしてほしいです。

1-2-3 雇用の安定

地区	性別	年代	内容
十和田	男	30 歳未満	鹿角出身学生に対しての就職案内などはどのようになっているのか。パンフレットか説明会などはありますか。
花輪	女	50 代	大型のショッピングモールみたいな施設があつたらよい。雇用も伸びると思います。
花輪	男	50 代	若者が定着できるまちづくり、つまり雇用の拡充が必要だと思います。高速 IC がこの数ある市はないのに、有効活用できていないのが以前から疑問に思っていました。もう 100 年もすれば鹿角市は地図から消えるかもしれません。やはり若者がこの地を守っていけるような地盤をつくっていかねばならないと思います。

十和田	男	60代	福祉関係は充実していると感じています。高齢者雇用の支援に力を入れてほしいです。
十和田	女	60代	雇用の安定(誘致企業の獲得など)。
十和田	男	50代	働く場を増やして、若者が出ていきたくないような市にしてほしい。花輪だけ栄えるのではなく、八幡平も十和田も一緒に考えてほしい。

1-3-1 観光の振興

地区	性別	年代	内容
花輪	男	60代	道の駅かづのの改修工事が終わったが、この施設または鹿角にどのように人を導くのかあいまいとしているのが残念に思う。
八幡平	女	60代	観光ふるさと館「あんたらあ」の改修工事が進められているが、そこで働く人たちの笑顔や接客サービスの教育も質の高いものになるようお願いしたい。
尾去沢	女	30歳未満	道の駅鹿角は全く意欲を感じられない。ただ商品を置いているだけという感じです。並べ方も雑なので、人気のある道の駅を参考にしたらどうでしょう。道の駅はみんなが興味を持ち、鹿角を全国の人に知ってもらう大切な場所です。もっともっと力を入れるべきです。
花輪	男	30代	鹿角には、尾去沢鉱山などとても良い名所などがあるので、もっとアピールして観光地を盛り上げてほしい。他県や他市に比べてアピールが下手な感じがする。
花輪	女	無回答	十和田南駅前の舗装の壊れたところに雨水がたまっていたため、近くの住民が市役所に通報したところ、JRの敷地であることを理由に管轄外で片づけられたそうです。観光のため、台湾や中国から訪れた方を迎えにホテルのバスが来ていたがドロドロで気の毒だったそうです。JRと話し合うとか、協力して何かできないかと思ったそうです。
花輪	女	60代	今後はもっと、十和田八幡平、小坂町との連携を図り、観光や産業に力を入れてほしい。鹿角パークホテルの再建もしてほしい。「鹿角ミステリーツアー」と称して、ピラミッドの黒又山、ストーンサークルの謎、隠れキリシタンがいたという尾去沢鉱山、有名人の名が刻まれた康楽館の楽屋、十和田湖等を小説やドラマ、映画等で日本中に宣伝出来たら良いと思う。北限の桃や八幡平ポーク等、とてもおいしいものが鹿角にある。これらをもっと他県に宣伝してほしい。
十和田	男	40代	観光に力を入れているなら、地域連携 DMO「秋田犬ツーリズム」に参加するべきだと思います。鹿角市でも秋田犬を飼っている人はたくさんいるので、広域で連携すれば、もっと観光客を呼び込むことができるのでは。鹿角は景観や食べ物も良いので、もったいないと思います。
十和田	男	70歳以上	DMOはなぜ近隣市町村と一緒に行動しないのか。鹿角市だけで上手くいくわけない。きりたんぼ発祥の地なんて今じゃ自己満足である。大館、北秋田と一緒に共同で盛り上げ、北部一帯の共同で行うべし。開催地を持ち回りにするとか。大湯の道の駅不要である。無駄な税金使用だ。中滝ふるさと学舎、ストーンサークル、市民の認知度低すぎる。世界遺産はおそらく鹿角市の盛り上げなく却下になる。

2-1-1 地域福祉の充実

地区	性別	年代	内容
十和田	女	60代	現在60代後半、夫婦二人で働いています。今はまだ市や病院のお世話になることなく過ごしています。ただ、体力もだんだん劣ってきましたので不安になることもあります。介護等、市のお世話にならなくてはいけなくなったとき、福祉の充実を願っているだけです。

花輪	女	無回答	地区コミュニティの強化について、いろいろなボランティアに取り組んでいます。昨年県外の友人から、鹿角へ講演に行くので聞きに来ないかと連絡があり、対象者を調べたところ、地区役員、福祉関係者のみで、一般の私たちは知りえないものでした。もっと広く興味のある方にもお知らせできないのでしょうか。
----	---	-----	--

2-1-2 子育て支援の充実

地区	性別	年代	内容
十和田	女	30代	小中学校の給食費を無償化してほしい。児童手当は18歳まで支給してほしい。
花輪	女	50代	7年ほど前に、特別扶養手当など現況届の手続きをする際に不愉快な思いをしたことがあった。在学届の用紙を夏休みに入る前にならないのかとの問いに対応してもらえず、最後まで学校に迷惑をかけてしまった。遠方の学校で、子どものため仕方なく、こちらのわがままですが、毎年言い続けても最後までかきませんでした。今は改善できていたらいいと思う。
八幡平	女	40代	子育て支援は本当にありがたかったです。すべての人が満足できるものを提供することは大変だと思います。子供が大きくなり、子育ては落ち着きましたが、子育て中に保育園を利用できたり、預かってもらって英会話教室に通ってみたりと充実していました。これからも少子化は簡単に解決できる問題ではないと思いますが、小さいお子さんを持つ保護者が楽しく子育てできる環境を続けていただきたいです。

2-1-3 高齢者福祉の充実

地区	性別	年代	内容
八幡平	女	60代	室内で全身運動ができる健康器具が花輪まで行かないとできないので、希望する自治会に設置してほしい。

2-2-1 健康づくりの推進

地区	性別	年代	内容
花輪	女	40代	小学生や中学生が予防接種をする場合、対応する病院の時間が学校にいる時間なのでとても困る。もう少し夕方接種できるようにしてもらいたい。
花輪	女	60代	新型コロナウイルスの感染予防、拡大防止策。病院のあり方、病床の確保。避難所の確保（ホテルほか）を速やかに決定してほしい。

2-2-2 母子保健の充実

地区	性別	年代	内容
尾去沢	女	30代	子育て中の者です。県外の友達と子育ての相談をすると、鹿角はとっても恵まれていると実感します。ですが…私は不妊治療で子供を授かりました。病院からは何も言われませんでした。ある日、友達との会話で不妊治療に助成があることを知り申請しました。しかし、「年度内の申請に限りますので、対象外です」と言われました。鹿角は子供を増やしたいのですか。広報をよく読んでいなかった私ですが、申請が年度内に必要なのであれば、治療病院から一言あってもいいのでは…予算の関係で口止めしていますか。治療の開始時期にもよりますが、長くかかる人もいるので、年度で区切らず助成してほしいです。産後の支援は他に比べるととてもいいと思います。もう一人ほしいので、また治療になると思います。子供を増やさないと…。
尾去沢	男	30歳未満	歯に塗るフッ素の無料配布。

2-2-3 地域医療体制の充実

地区	性別	年代	内容
八幡平	女	50代	お産をするのに遠いため、産婦人科がほしいです。小児科が遠く、花輪に1つほしいです。
尾去沢	男	50代	地元でお産できるよう、金、縁故を使ってまでも早急に解決しなければならない。
尾去沢	男	30歳未満	提言 中学生まで医療費の無償化。
花輪	男	60代	かづの厚生病院は地域の救急性や総合病院としての役目を果たしていない。大館市立病院がこれからの鹿角地区の主病院であるならば、かづの厚生病院への補助金はやめ、救急搬送や大館市立病院に補助金をもっと入れるべし。かづの厚生病院はもうやめて、その建物の使い道としては、市内の一般病院を集約して（一部入院も受け入れ）使用したらいかがですか。医療のあり方を、大館も含めて再度考え直す時期がきているのではないのでしょうか。
花輪	女	50代	まずは地元で出産できないことはありません!!里帰り出産もできないことは信じられない。若者が帰ってくる魅力が何もない！鹿角で出産ができるような街にしてほしい。そしてまともな医者がある病院をつくってほしい。鹿角には医者がいない。県外の医者を頼るしかない。厚生病院には行きたくない。まともな医者がいない。
十和田	女	30歳未満	産婦人科医を確保し、分娩ができるようにしてほしい。大館まで通うのは大変できつい。
十和田	女	50代	病院は急務です。ほとんど他市、県外へ出かける市民が増えています。このままでは健康を守れません。厚生病院も週2日くらいしか開かない科もあります。安心して住めません。何か対策は出来ないもののでしょうか。
花輪	男	30代	鹿角市で安心して子供が産めるように早く体制を整えてほしい。
花輪	女	30歳未満	早く厚生病院で子どもを産めるようにしてほしいです。
十和田	男	60代	一番必要なことは医療です。あの総合病院で安心して治療を受けることができますか。市については、大館市に比べると固着してしまっているように見受けられます。体制が古くなっていませんか。外郭団体も同様です。
花輪	男	60代	産婦人科がないのは、地元で安心して子供が産めず、定住生活が難しいと思う。立派な厚生病院があるにもかかわらず。
尾去沢	男	40代	花輪ふくし会に医療があれば鹿角市の未来は明るいと思います。市で何とかありませんか。
無回答	無回答	無回答	医療が安心して受けられるようになったら本当にうれしい。（ゆりかごから墓場まで鹿角で安心して生活したい）

3-1-2 道路網の整備

地区	性別	年代	内容
尾去沢	男	50代	花輪中心部のバイパスを道路拡張するとの話を聞けが、信号機が多く、利便性があるのか。
花輪	男	40代	誰の圧力が知らないが、「あんたらあ」までの歩道の整備は必要だ。ねぶた、花輪ばやしで人がたくさん通る場所でもあるし、冬にはパイロンを立てる車庫がある。危険だと思いませんか。歩道ですよ！側溝に蓋をしてほしい。歩道なのに危険だと思う。この町にどのようなリスクが存在しているのか確認してほしい。

花輪	女	30代	花輪小学校の通学路について、鳥居から学校までの道路も融雪道路にしてほしい。車のブレーキが効かなくてぶつかっているみたいです。滑って行って子供に危なくぶつかる場面も多々ありとのこと。冬期間は学校まで迎えをしないようにしているが、用事や、けが等で迎えが必要な人はどうしてもいると思うので、関ペットからの道路から学校までつなげてほしい。
花輪	男	40代	大きな道路が国道1本しかないのでバス、トラックも通り、混んだりして不便を感じる。
十和田	女	50代	市役所からいとくショッピングまでの道路の幅をもう少し広くできないものではないでしょうか。(市役所からセコムまでは特に狭い感じがする)除雪について、特定の家の前だけは敷地の中まで除雪している。万が一、業者の知り合いだとしても、そこまでやらないように、道路だけをきっちり公平にやってほしいものだ。
花輪	男	30代	道路などがガタガタすぎるのもっときれいに舗装してほしい。工事が完了するまでの時間が長すぎるので、もっとスピーディに進めてほしい。
花輪	男	60代	農免道路の維持管理。現在、生活道路となっている農免道路の状況はとてもひどい状態となっています。事故防止のために改善をお願いします。
花輪	男	60代	道路が狭い。他県の広さ、整備の良さには驚かされる。
十和田	女	60代	花輪ふくし会錦木ワークセンター近辺の道路を修繕していただきたい。交通量が多くなり、かなり穴だらけになって数年経っています。
花輪	女	60代	除雪車の除雪後の堅い雪を希望者が有料で市にお願いしたいと思う。市道、国道沿いの家だと、すごい重労働で、一人暮らしだと鹿角では今後暮らせないと今一番の思いです。個人にお願いしていますが、お隣さんとの都合があり、もめごとの一つです。

3-2-3 水道水の安定供給

地区	性別	年代	内容
花輪	男	40代	他の市町村(大館市)と比較して、水道料金が高い。人口数等の関係もあると思うが、改善する方向でお願いしたい。
十和田	男	60代	上水道の断水等について、広報車で日中に町なかで流すのはムダです。共働きが多いので日中は人がいない。いても高齢者であまり理解できてない。あれは市民に一応伝えましたよっというアリバイでしょう。メールサービスなどで確実に対象の市民に伝わるようにしてください。

3-2-4 市街地の整備

地区	性別	年代	内容
花輪	女	30歳未満	使っていない建物を解体してほしい。花輪の中心地に広い公園、広場があれば、子供連れ家族や若い人たちが集まって活気のあるまちになり、地元に戻ってくる人も増えると思う。マイホームを建てる人が増えており、もったいない土地がたくさんあるので、進んで整備してほしい。
花輪	男	60代	国道沿いの廃屋を撤去できるような景観条例や街並み条例のようなものがあれば、観光地らしくなると思います。
花輪	男	40代	駅前開発事業の整備が終わったら、もっと市民が集まりやすくなるような場所にしてほしい。交通の乗り場だけでなく、町の中心地としての商店街となるように、店舗を増やして観光客も立ち寄るように、野菜や土産物の売り場を作ったら良いです。また、駅舎を利用して自由にお茶が飲めるカフェや、音楽会や読み聞かせ会を開いて駅に人が集まる工夫がほしいです。
花輪	女	50代	鹿角にはあまり知られていないけど素晴らしい景色、場所がたくさんあります。すぐくもったい

			ないと多々思うところがあります。例えば、尾去沢の高台にある元コミュニティセンターの桜、米代川が展望から見えて本当に素晴らしいです。大きい公園はアルパスしかないので、ぜひ公園を整備してほしい。我が家には愛犬がいるのですが、鹿角にはドッグランがなく、すごく不便だと感じます。犬を飼っている世帯が増えているのに、他県とか大館に連れて行ったりしている人が結構います。アルパスのどこか一角に作ってもらえたらありがたいです。
尾去沢	女	30代	街ができて駐車できる場所がないと利用できません。飲食店も少ない。

3-4-3 地域安全対策の充実

地区	性別	年代	内容
十和田	男	60代	廃屋の撤去。
尾去沢	女	40代	空き家対策でもう少し助成金の制度をわかりやすくしてほしいです。実家卖了りたくても売れず、再建築不可と新築の許可も出ない土地なので、解体してもしなくても同じかなと思っています。お金もかかるしローンを組むのも大変です。
花輪	女	40代	総合運動公園を利用している学生、家族が迎えに来られない子は暗い中を歩いています。最近クマの出没などもありますし、木々がうっそうとしているので、外灯を増やしてあげることができないものかと思います。

4-1-1 学校教育の充実

地区	性別	年代	内容
無回答	男	30歳未満	コロナの影響で夏休みが短くなるが、学校にエアコンがないので子供の体調が不安。子供のことを考え、クラスに1台エアコンをつけてほしいです。
花輪	男	60代	学校は減らすのではなく、残す方策を考えるのもいいのでは。たとえば山村留学とか。
十和田	女	30歳未満	学生のコミュニケーション不足が深刻だと思うので、学校だけではなく企業の手も借りての会話の場を増やしてあげたいと思います。
十和田	女	50代	現在鹿角市在住で奨学金返済者に補助金を出していただくよう検討をお願いします。

4-2-1 生涯学習の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	女	30歳未満	心理学や食生活などを学べる機会を増やしていただけたら、よりよい人生を歩めると思います。オンラインで受講できるようにしてくれたら、多くの人が参加すると思います。

4-2-2 スポーツ環境の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	女	50代	「スキーと駅伝のまち」とうたっているがその根拠は何ですか。何の援助をしているのか、何も感じない。むしろたっていることが恥ずかしい!!他県ではもっとしっかりとした活動があり、地元で活動できるようバックアップがしっかりしていますよ。

4-2-3 芸術・文化の振興

地区	性別	年代	内容
花輪	男	60代	駅前の声良鶏銅像の移転は寂しい。花輪駅前の懐かしい風景がなくなった。芸術文化をどのように育てようとしているのか、市の将来像が見えてこない。
十和田	女	30代	ストーンサークル周辺の草がすごい。管理できていないように見える。
花輪	女	60代	夜になると、コモッセのこもれび広場が暗い。

5-1-1 地域コミュニティの活性化

地区	性別	年代	内容
八幡平	女	60代	市民センターでは、それぞれ企画をしている催し物があります。それぞれが工夫を凝らし、毎年参加者を募っていますが、花輪市民センターでは参加者を花輪地区お住まいの方に限定する場合があります。それは如何なものか？と思う場合があります。参加したくてもできない。参加人数が少ないときにOKとは？何か矛盾を感じるが多々あります。
尾去沢	男	50代	自治会活動(特に老人の憩いの場)に助成していただき、ありがたいと思う。
八幡平	女	30代	地域活動に参加できず申し訳なく思っています。不参加時の費用はお渡ししているのですが、以前に匿名で不参加に対しての批判が書かれた紙がポストに入っていました。子が小さく主人も仕事が忙しく事情があったのですが、少し住みづらく感じました。

5-1-4 鹿角ライフの促進

地区	性別	年代	内容
花輪	男	70歳以上	新型コロナ感染の社会現象により、社会の仕組みに変化が生じると思います。生活および仕事への取り組みがテレワークへと比重が大きくなり、地方への移住化が進むと思います。鹿角市も地方移住事業(移住者に安く提供)に力を入れてほしいと思います。
花輪	男	60代	約半世紀前に生まれ育った花輪を出て、東京で暮らすようになりました。そして今年4月に花輪に戻ってきました。70歳近くになる私が子どもの頃に住んでいたときと違い、50年の時の流れを感じています。高齢の私が若い人たちとどのように生活ができるのか少し不安なところもあります。日々の生活の中で、今年はコロナの影響でまちの行事が大分中止になったようですが、私のような人間にでも花輪のまちにこのような行事、催し、サービスが受けられるなど、個人個人にあった説明があったらいいですね。

①政策全般に関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	女	70歳以上	豊かな自然を大切にして、高齢者が安心して暮らせる環境と、働く場所の提供で若者が住みたいと思う地域にしてみたいです。
花輪	女	50代	今後人口減少で農業離れ、都会への流出で跡継ぎ不足になる。行政として農地、山林等の受け皿の考えはありませんか。
八幡平	女	40代	コモッセや市民センターがあり、子どもも大人も安心して過ごせる場所ができました。スポーツ施設と文化施設のバランスも良いと思います。
花輪	無回答	無回答	具体的なアイデアがあるわけではないので恐縮ですが、政策や事業について保守的な感じがあります。人が集まらなないと賑わいも生まれません。思い切った持続可能なイベントを考えていかなければならないと思います。例えば、ネット環境を整備し、テレワークで仕事をする企業の誘致や、アルパスの設備を拡張し、各種競技団体の合宿の増加を図るなど、今までより思い切った投資をする必要があるのではないのでしょうか。
尾去沢	男	50代	市の総合計画に斬新さが見当たらないばかりか、実行のスピードが遅く感じられる。
花輪	女	30代	観光も大事ですが、子供がもっと楽しめる施設を創ってください。勉強も大事ですが、小さい子供がいる親としては、娯楽施設が少ない。子供服が買える場所も少ない。まったく市民の声を

			聞いてないと同じです。子供の暮らしを考えるのだったら、他人事のように考えないで、子供中心に考えてください。今のままでは、確実に鹿角から人が離れていきます。また、子供を巻き込んだイベントを考えてください。
十和田	女	40代	鹿角が大人、子どもの住みやすい環境になるよう、若い子たちがいたいと思えるようなまちづくりをしていただきたい。やはり若い子はネット環境が充実し、個々のプライベートが守られるような環境。店も増やしてほしい。病院も少ない。町場も山周辺も店が増えてほしい。
十和田	男	30代	地元の人も移住してくる人も普通に生活できる鹿角市であってほしいです。
花輪	男	70歳以上	観光の振興、子育て支援、健康づくり、地域福祉の充実、思いやり等を特に大切にしていきたいと思います。
花輪	女	50代	生まれてからずっと鹿角に住んでいるので、たとえ不便があっても「仕方ないか」と思っていました。市に元気がないなあと思う近頃です。子供の数、老人だけということでしょうか。何年も前から、市に大きな企業と叫ばれていましたが、魅力のある鹿角(私にはわかりませんが…)を発信できれば、何か根本的に変える必要があると思います。10年後、20年後に市が栄えると希望して。サービスの内容をもっと広告していただけたら幸いです。
花輪	女	30代	介護、保育の現場職員への処遇改善(月々)。室内でも楽しめる、遊べる施設の増加。
花輪	女	70歳以上	あまりにもさみしい市政。他県からの交流事業の拡大。このままでは悲惨なので老若男女の活気をもっと引き出してほしい。
花輪	男	40代	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、失業者の増加が見込まれる。市が雇用を生み出して住民を助けてほしい。たとえば、学校用務員など、教員の負担軽減のため、草刈り作業や絵本の読み聞かせ等、保護者に負担が寄せられている。市が人を雇ってやらせてくれないと保護者は満足に稼げない。市税の収入も減るのでは？老人や子供への支援ばかりで、実際に働いて納税している人たちへの支援を忘れないでほしい。きれいごとばかりの政策では、鹿角はいずれ老人と障がい者のまちになる気がする。
八幡平	男	60代	全国に鹿角を発信できる体制を作っていると思うけれど、より多くの人に知ってもらえたらいいと思います。若者の声が聞こえるまちであってほしい。
八幡平	男	60代	高齢者が自宅に残り、若者たちが各々家を建てて住み、高齢者が自分たちで自宅を維持していくのが大変な時代が来る。何か良い政策はないものか。
花輪	男	40代	年間を通して、市外県外からの観光客を呼び込む企画や、この先10年20年を見据えた計画をしてほしい。(農業でも)その場しのぎでは、いつか終わる。
八幡平	女	50代	若者が流出しない雇用と将来設計ができる医療、産業の充実に力を入れていただきたい。
花輪	男	50代	鹿角市は交流人口増加に資する観光資源を豊富に有していると思います。また、北東北3県の中心に位置するという地理的優位性もあります。観光振興と産業振興の両立により、若者の定着化が図られるような政策を今後も期待しています。
花輪	女	70歳以上	安心して生活できるための医療の充実。人口増加。小売店を守ってほしい。
十和田	男	30歳未満	学校が次々と廃校する地域に若者や子育て世代は移住など考えられない。人口流出に歯止めはかからない⇒活気がない⇒魅力がない⇒人は来ない。農業は跡継ぎもない。その対策は？商工業はシャッター街にその先の未来があるの？観光業は自然を観光の目玉にうたう

			割に自然に触れあえる場所が極端に少ない。保健、医療は皆大館や弘前の病院に行っている。人口減少に歯止めがかからないのに、この先何ができますか？にかほ市のように警察署もなくなっていくのですか。廃校・閉所・閉店は全て人口減少が原因だと思いますが。
花輪	男	無回答	高齢者が多いですが、若者のための施設やイベントなどの充実的な開催か税金の見直し地域施設など開発などで魅力かやりがいなどが感じない。
花輪	男	40 代	若者に魅力的なまちづくりをしてください。
八幡平	男	30 代	ユネスコばかりでなく、もっと生活のために力を入れてほしい。そんなにユネスコが必要ですか。高卒の地元就職が増えないのは、地元企業を知らないからではないでしょうか。若い人たちが鹿角で働きたい、ずっと暮らしたいと思えるようなまちづくりを市民みんなで話し合いをしてみたいかでしょうか。これから市のためにいろいろと頑張ってください。
花輪	男	60 代	子供をもっと産んで人口を増やすことで、子供にかかる教育費の軽減。せっかく育っても働く場がないと流出してしまう。観光は、鹿角市に行ってみたいと思わせない限り、来ない。人口減少に真剣に取り組んでほしい。これを解決しない限り、活性化はない。
十和田	男	50 代	小深田付近に駅の新設。北東北の中心の地域特性を生かす企業誘致。再生エネルギーに興味のある企業誘致。GAFA を誘致する。大学、専門校等のキャンパス誘致。自動運転のスクールバス、シャトルバス、除雪車。太陽光発電装置の補助金、光回線普及率 100%。いま社会に求められていることがトータル的に実現できる環境が、少し手を加えるだけで鹿角市に眠っていると思う。
花輪	女	30 歳未満	もう少し市民に対しての政策よりも、市民を増やせる市の活性化につながる政策を行い「笑顔がつながり活力を生むまちかづの」などと抽象的な将来都市像を掲げるよりも「人が集まる」や「人が賑わう」明るい都市鹿角を目指してほしいです。一昨年鹿角へ嫁いできましたが、子育ての支援が充実していて、良いところがたくさんある素敵な街だと感じました。しかしお店の種類が少ないことと、観光名所がたくさんあってもPRする能力がないことがもったいないと思います。もっといろいろな人に鹿角市の魅力が伝わって人が賑わう市になればうれしいです。
花輪	無回答	40 代	鹿角市から発信している情報を増やす取り組みを継続しさらに強化してほしい。企業向け誘致、起業、農業へのイメージアップ、働き手の確保・育成、観光資源のアピール→雇用の創出、賃金アップ→人口流出抑制、U ターンや県内就職の促進。それぞれの政策が繋がらないと鹿角の発展サイクルが築けません。これからも市政に期待しています。
無回答	無回答	60 代	人口減少が進む今日、誰もが公共事業の恩恵を受ける権利はありますが、限られた財源では限界があります。市が破綻してはごみ収集、公共施設管理などの維持・修復・建設はだれが行うのですか。市民税を上げるのですか。市の職員を増員して手厚い福祉事業、社会こうけんするのですか。私の世代はまだまだ元気にあふれた老人(68 歳)です。個人ではたいした社会貢献できませんが、草刈くらいはできます。業者に委託して草刈するのであれば、市の有志を集めて自分たちの周りは自分たちで清掃するくらいの気持ちで、あまり市に負担をかけないようにしたらどうでしょうか。

②職員・市の窓口に関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	女	30代	市役所に行きにくい。市民課などに行こうとすると、なぜ役所の人ににらまれなきゃいけないのですか。不愉快です。客対応もできないのですか。職員同士で笑いながら対応するのはやめてください。
十和田	男	60代	鹿角市の印鑑証明をとるとき、他市町で使用できていた印鑑のサイズが小さいから新しい印鑑を買って2度目にやっとOKもらいました。盛岡市、小坂町OKでした。なぜ鹿角市は出来ないのか。それから鹿角市に住むのが嫌になりました。型にはまった人間が市役所に多いと思います。なぜダメなのか、ちゃんと理由を説明できなければ、いけない理由を教えてください。それがずっとトラウマになって今日まで生活してきました。
十和田	男	60代	支所の対応が悪い(昨年)。2人いるのに、1人の男性だけ対応しており、女性は後方のデスクでお茶を飲んでおり、とんでもない役所だと思った。
花輪	男	60代	市に要望を提出すると、これは県ですと、全く対応してくれない。県に対応してくれる課があっても良いのでは。市役所職員の異動が早く、わからない職員が多く、対応に時間がかかる。
尾去沢	女	50代	市役所の対応について、とてもよく対応してくださる方もいますが、たまに高齢者に対しての言い方が上からの物言いの方を見かけます。手続きや記入の仕方、たまにしか書かない書類など、説明を何度もしていて面倒なのかなと、こちらが気を使わなければいけないのはどうなんだろうと思います。
花輪	女	60代	窓口対応で、不安な気持ちで行った人に対し、もう少し親切に対応してほしい。
花輪	男	40代	聞いた話だと、電話での対応が少々無愛想で、知りたいことがあってもつい躊躇してしまうようです。
十和田	男	30代	市役所に行くと、人が余っているように見えるが、対応できる人が固定で、デスクワークが大半は逆だと思う。対応を早く、人が空になってデスクワークの流れが普通だと思う。民間企業と比べて、圧倒的に動けない。マニュアル対応だと思うが融通が利かない。市として何を行っていく時期なのか、わからない。まったく変化していると思えない。長所を伸ばしたほうが効率とアピールになると思う。教育面は子供がいないのでわからないが、いじめに対応してもらえないと聞いているので、最悪自殺者が出ることもあるのでしっかり対応するべき。
十和田	女	60代	日本国内で起きている災害などの復旧復興に積極的に参加してほしい。
花輪	男	30歳未満	車がないと平日は市役所に行くことも困難です。休日、近場、開庁時間外でサービスを受けられる場所が増えてくれればと思います。
十和田	女	50代	市職員の不正行為等をチェックするシステム強化(組織の設定や第3者機関の設立)。市営住宅に係る計算ミスや水道料金及び市税徴収に係るミスの未然防止の強化対策をしてほしい。市職員のモラル研修(公務員としての自覚形成)を定期的実施してほしい。
花輪	女	60代	2、3年前に市の事業に協力した時のことですが、知りたいことがあり部署に行き、担当が不在のため後日来ることにしたら、その夕方にお電話をいただきました。そのとき、80代の母が電話に出ましたが、何事かわからず、用件だけ聞いて話は終わりました。私が帰宅すると、母は立腹で「何なのだ、一言目はご協力ありがとうございましたではないのか。一方的な話し方で、老人だと思い馬鹿にしている」と。若い市の職員であったようですが、ほんの少しの言葉遣いで対応が変わりますので！市職員ということで過剰なお叱りを受けることがあると思います

			が、お仕事頑張ってください。
十和田	女	40代	コロナウイルスに対しての定額給付金の対応の素早さにとても感謝しています。スムーズな給付ありがとうございました。日々、市の窓口を利用する事柄に対してスムーズな対応に毎回ありがたいと感じています。(介護、納税、子育てに関して相談したことがあります)

③ アンケートに関すること

地区	性別	年代	内容
十和田	女	40代	どのアンケートに記入してもなかなか成果が目に見えませんが、何のためにアンケートを書いているのかと思います。
十和田	女	50代	前にもアンケートしたが進歩がない。
花輪	男	40代	このアンケートが何のためか一人ひとりのアンケートの結果を大事にして、一人の意見も逃さないで真剣に考えてほしい。鹿角市を愛する一人の意見です。
尾去沢	女	40代	設問18で市が進めている取組を聞かれても、そもそも何を進めているのか市民には届いていないと思うので、効果が得られているとか、わかりません。
花輪	無回答	30代	こういうアンケートを取っているなら、市の政策に活かしてほしい。活かされていると思えない。本当に子育てがしにくいと感じる。転勤で様々な市で暮らしてきたが、鹿角市が一番生活しづらい。
花輪	女	40代	まだ、転入後2か月ですが、これから鹿角市中を見回り、厳しくチェックしたいと思います！ただ、転入後間もない私がこのアンケートに選ばれて意味があったのかわかりません。そういうところ、少し考えてみてください…プライバシーの関係で確認できないのですが。
花輪	女	30代	健康上、外に出られない方などは仕方ないかもしれないが、700人も回収に訪問するのは、コロナのご時世、リスクが高いように思います。回収する方の労力もかかるので大変かと。
花輪	男	60代	講座などは Zoom で参加可能にしてほしいです。最近、役所はアンケートが多すぎます。アンケートを書くために市民の貴重な時間を奪っていることを自覚してください。アンケートは仕事ではなく、その結果によって仕事に変化をもたらすことが仕事です。

④ その他

地区	性別	年代	内容
尾去沢	男	50代	コロナ問題で成人式も中止される中、他市町村で行っている遠方にいる学生支援を迅速に行うべきと思う。一人でもUターンのきっかけになれば良い。
花輪	女	30歳未満	研修などでコモッセを訪れる際、駐車場が少なく困りました。コロナにより、市から子育て世帯へ1人1万円の特別給付金が出たのですが、少し少ないかなと感じました。
花輪	女	30代	様々な業務でお忙しい中、特別定額給付金の支給を速やかに対応してくださり、ありがとうございました。
花輪	女	40代	特別給付金手続きについて、大変迅速に振り込まれて有難うございました。職員の皆様、お疲れ様でした。住民票の転入手続きくらいしか具体的にかかわっておりませんが、大変感じよく手続きしていただきました。
花輪	女	30代	特別定額給付金が申請後すぐに入金になり、とてもありがたかったです。ただ、6/17の申請スタート日にマイナポータルで申請しようとしたら、鹿角市は対象外になっていました。結果的に郵送申請ですぐに入金になったので良かったのですが、ネットでの申請を試みたかったの

			で、ちょっと残念でした。
花輪	女	40 代	特別給付金手続きのドライブスルー方式すごくよかったと思う。
尾去沢	男	50 代	市議会の質疑応答がワンパターンにしか思えないのは何故。
花輪	女	30 代	そもそも何をどう取り組んでいるのかよく分からない。大館のほう頑張っているように見える。このアンケートに記入しても何も変わらないと思っています。お年寄りだけではなく、若い人たち子どもが楽しめるような町にしてほしい。給料が安ければ子供を産みたいと思えなくなりますし、最低賃金秋田ワースト1ですので、そこらへんを考えてほしいです。給料安くとも他県と同じように税金支払っていかなければなりませんし、今回のアンケートで最後にします。無駄です。
十和田	男	30 歳未満	廃校となった校舎の利用を許してほしい。利用できるならば、広報で発信してほしい。
十和田	男	70 歳以上	公的年金少額なのに、市職員の給与高すぎる。議員も同じ。また、議員数多すぎる。市長の顔色だけ見ている。与野党議会の発言時間廃止するのが市民の選択であり、国会のマネをするな！
尾去沢	男	60 代	市長、行政及び議員の皆さんにおかれましては、日々ご苦勞のことと思います。願わくは、もう少し見える行政、市民の声が通りやすい行政にしていただけないでしょうか。何かをやっているのはわかりますが、よく見えていないのが実情です。例えば、あんとらあは完成予定形が見えません。せっかく造った歩道の傾斜もあります。いろいろあるでしょうが、体を大切に。
八幡平	女	60 代	確定申告の税務相談は大変ありがたい。申告書提出にホッとしてしましますが、翌年もまたバタバタ領収書や控除証明を持ってご指導されたとおり金額入力をして…。申告が終わった後の時期に勉強会はできないものでしょうか。中学生くらいだったら税金の勉強もするでしょうから、自由参加でぜひお願いしたいです。
十和田	女	70 歳以上	若い人が安定して住むためには、老人のマナーの問題があると思います。私は盛岡市から、祖母がいたので鹿角市に2年前に転居してきました。大湯地区にいますが、とにかく老人の方が「老害」といわれる行動が多いなと感じます。お風呂の入り方や若い人に対しての口調など、これでいいのかと思うことがたくさんあります。今一度、人としてのマナーを考えるべきなのではないでしょうか。安定して若い人がいなければ、このまま大湯地区は 10 年後、20 年後にはなくなってしまうのではないのでしょうか。また、窓口でも対応の悪い方がいらっやいます。
十和田	女	60 代	市長への手紙を書いても返事がきませんでした。とても残念でした。
八幡平	女	60 代	高齢で収入減になり、固定資産税等が重いです。対策を考慮していただけないでしょうか。
十和田	男	50 代	市県民税をもっと安くしてほしい。
十和田	女	70 歳以上	ホテル鹿角または道の駅おゆ付近にスーパーがあればと望んでいます。高齢化に伴い切実です。
花輪	女	50 代	マイナンバーカードの市民全員配布を前向きに行ったらどうか。急にできないのだから、今からシステムを作り、窓口に行けない市民のことも考え、顔写真の件など面倒なく作れるようにしてほしい。そうなら一番に作りに行きます。
十和田	男	30 代	人口が少なく商業施設もない。住みやすいかどうかを問われると、そうとは言えない、と思うことが多かったのですが、このコロナウイルスで都会、人口密集地よりは良いのではないかと思います。

			っています。また、感染者が出ていない鹿角ですが、対策は県内でも早かったと思います。私は鹿角が好きです。
十和田	女	50 代	私の友人の子たちは、ほとんど鹿角を離れ、そちらで結婚し、家族を持ち、家を購入し、この先戻ってくることはおそくないであろうと覚悟しています。そしていつも話題になるのがお墓のこと。子供たちが帰ってこないことを考えると、迷惑をかけたくない。秋田市の合葬墓のように、鹿角市でも自治体で運営する霊園などを考えていただけたらありがたいです。
花輪	女	40 代	自治会に入っていないからと、いろいろ縛りがあるのが不満。納税はしている。広報くらい郵送でも良くないかと思う。粗大ごみや市の情報がわからず不便です。除雪もわざわざうちだけショベルを上げて通過するのを何年も我慢している。たった数メートルなのに、どうして除雪をしないのか、と自治会長に言われてあきれました。不公平です。

資 料

令和 2 年度市民アンケート回答票

はじめに、あなた自身についておたずねします。

設問1 あなたの住んでいる地区、性別、年代等について、あてはまるものの□に○を記入してください。

①住んでいる地区	☐ 花輪	☐ 十和田
	☐ 尾去沢	☐ 八幡平
②性別	☐ 男性	☐ 女性
③年代	☐ 30 歳未満	☐ 30 代
	☐ 40 代	☐ 50 代
	☐ 60 代	☐ 70 歳以上

※現在、ご自分が子育てをされている方はご記入をお願いします。

④子どもの成長段階（複数いらっしゃる方は下の子）	☐ 未就学児	☐ 小学生
	☐ 中学生	☐ 高校生

子育てについておたずねします。

設問2① あなたは、鹿角市が子育てしやすいまちだと感じますか。

1. 感じる
2. どちらかといえば感じる
3. どちらかといえば感じない
4. 感じない

設問2② 現在、ご自分が子育てをされている方におたずねします。どのような子育て支援の充実が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 休日保育や一時預かりなど保育サービスの充実
2. 保育料や教育費用などの負担軽減の充実
3. 出産に係る費用助成の充実
4. 子どもに対する医療費助成の充実
5. 児童手当支給終了年齢の引き上げや支給額増額などの充実
6. その他（）

公共交通についておたずねします。

設問3① バス（予約型乗合タクシーを含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度として当てはまるもの**1つに○をつけてください。**

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 週2回以上利用 | 2. 週1回程度利用 |
| 3. 月に1回以上利用 | 4. 年に数回程度利用 |
| 5. 数年間利用したことがない | |

設問 3 ② あなたは、普段の生活の中で、公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

1. 感じる → 不便を感じる理由

2. 感じない

3. あまり利用しないのでわからない

地域情報化についておたずねします。

設問4 あなたはインターネットを利用していますか。また、利用している場合は、利用機器について、あてはまるもの**すべてに○をつけてください。**

1. インターネットを利用している
- ①パソコン ②スマートフォン ③スマートフォン以外の携帯電話・PHS
④タブレット型端末 ⑤ゲーム機 ⑥インターネット機能付きテレビ
⑦その他（具体的に： ）
2. インターネットを利用していない

中心市街地についておたずねします。

設問 5 あなたは、花輪市街地の生活環境（住みごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

1. 満足している	不滿とを感じる理由
2. やや満足している	
3. やや不滿である →	
4. 不滿である →	

男女共同参画の状況についておたずねします。

設問 6 あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。

1. 男性の方が優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が優遇されている

▼男女共同参画社会

固定的な男性観、女性観にとらわれず、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思で個性と能力を発揮することができる社会をいいます。

芸術鑑賞についておたずねします。

設問 7 あなたは、昨年 1 年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

- | | | |
|-----------------------|---|---|
| 1. 鑑賞した
2. 鑑賞しなかった | → | そのうちコモッセで鑑賞したものは何回ですか。

1. 4 回以上
2. 1～3 回
3. なし |
|-----------------------|---|---|

コモッセの利用状況についておたずねします。

設問 8 あなたは、昨年 1 年間にコモッセをどの程度利用されましたか。

- | | | |
|---|---|-----------|
| 1. 毎週
2. 月 1 回程度
3. 年 3 回程度
4. 年 1 回
5. 利用しなかった | → | 利用しなかった理由 |
|---|---|-----------|

学びの状況についておたずねします。

設問 9 あなたは、昨年 1 年間に講座や研修会（※）に参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※鹿角市が行う講座だけでなく、民間団体等が行うもの（通信教育、講演会、オンライン講座など）も含みます。

- | | | |
|--|---|---------------|
| 1. 市内で実施された講座等に参加した
2. 市外で実施された講座等に参加した
3. 参加しなかった | → | どのような内容の講座ですか |
|--|---|---------------|

運動の実施状況についておたずねします。

設問 10 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や、健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。
また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

1. ほぼ毎日	→	主に行っている運動や活動： _____ 1回あたりの時間： 約 _____ 分
2. 週に1回程度	→	
3. 月に1回程度	→	
4. ほとんど行っていない		

教育のあり方・方向性についておたずねします。

設問 11 あなたは、鹿角市の教育で今後10年間にどのような項目に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもの 5つまでに ○をつけてください。

1. 自己実現のために必要な確かな学力の育成	
2. ふるさとを愛し、ふるさとを支える気概をもった人材の育成	
3. あいさつや言葉遣いなど集団生活のルールを身に付ける指導	
4. 社会の中でたくましく生き抜く豊かな心と健やかな体の育成	
5. ICTを活用した情報活用能力と情報モラルの育成	
6. グローバル化に対応した国際理解教育と英語教育の推進	
7. 他校や他地域との交流によるコミュニケーション能力と発信力の育成	
8. 地球温暖化防止対策をはじめとする環境教育の充実	
9. 自然災害や獣害、感染症から身を守る教育の推進	
10. その他	→ ()

学校の再編（統合など）を進めることについておたずねします。

設問 12① 児童生徒数の減少により、今後も学校の小規模化が予想されています。望ましい学校規模（※）にするためにさらに統合を進めることについて、どのようにお考えですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。

※国の指針では、学校の適正規模は1学年2～3学級とされています。

- | | | |
|--|---|------------|
| 1. 統合することもやむを得ない
2. 今のままでよい
3. その他 | → | 理由をお書きください |
| | | |
| | | |
| | | |

設問 12② 設問 12①で「1. 統合することもやむを得ない」を選んだ方におたずねします。学校を統合する方法について、どのようにお考えですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。

- | | | |
|---|---|------------|
| 1. 近くの小学校または中学校同士で統合する
2. 同地域の小学校と中学校を小中一貫校や義務教育学校（※）として整備する
3. その他 | → | 理由をお書きください |
| | | |
| | | |
| | | |

※義務教育学校：9年制で小学校課程から中学校課程までの義務教育を一貫して行う学校

地域コミュニティについておたずねします。

設問 13 あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動（クリーンアップ・運動会・スキー大会等含む）など）にどの程度参加しましたか。

- | | | |
|---|---|------------|
| 1. 10回以上
2. 4回～9回
3. 3回以下
4. 参加しなかった | → | 理由をお書きください |
| | | |
| | | |
| | | |

上水道についておたずねします。

設問 14① 飲み水として、現在の水道水の水質にどのような印象をお持ちですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。

1. 満足
2. やや満足
3. ふつう
4. やや不満
5. 不満
6. 上水道を利用していないのでわからない

設問 14② 設問 14①で「4. やや不満」「5. 不満」を選んだ方におたずねします。どのようなことに不満を感じますか。あてはまるもの すべてに○ をつけてください。

1. おいしくない
2. においがある
3. にごりがある
4. 透明でない
5. その他



住みごころについておたずねします。

設問 15 あなたにとって、鹿角市の住みごころはどうですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. 住みよい | 2. まあ住みよい | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり住みよくない | 5. 住みにくい | 6. わからない |

愛着についておたずねします。

設問 16 あなたは、鹿角市に愛着をもっていますか。

1. 愛着がある
2. 愛着はない

まちの満足度についておたずねします。

市では、第7次総合計画において、各分野の満足度を指標に設定したいと考えており、現状を調査するものです。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。

設問 17① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 17② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 17③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちであると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 17④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 17⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 17⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

設問 17⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. 思わない |

鹿角市の政策についておたずねします。

設問 18① 市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるものを**下表の 36 項目（①～③⑥）から順に 5 つ**選んでください。（理由がありましたらその記入をお願いします。）

1 番： 理由：

2 番： 理由：

3 番： 理由：

4 番： 理由：

5 番： 理由：

農林業の振興

- ① 農業経営体の育成強化
- ② 農業生産の振興
- ③ 農地の保全
- ④ 林業の振興

福祉の充実

- ⑩ 地域福祉の充実
- ⑪ 子育て支援の充実
- ⑫ 高齢者福祉の充実
- ⑬ 障がい者福祉の充実

商工業の振興

- ⑤ 商店街の活性化
- ⑥ 地域産業の活性化（雇用創出、高度化）
- ⑦ 雇用の安定（就職支援）

保健・医療の充実

- ⑭ 健康づくりの推進
- ⑮ 母子保健の充実
- ⑯ 地域医療体制の充実

観光業の振興

- ⑧ 観光の振興
- ⑨ 地域間交流の推進

交通基盤の整備

- ⑰ 公共交通の確保
- ⑱ 道路網の整備

設問 18② 市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるものを 下表の 36 項目（①～③⑥）から順に 5 つ 選んでください。（理由がありましたらその記入をお願いします。）

1 番： 理由：

2 番： 理由：

3 番： 理由：

4 番： 理由：

5 番： 理由：

住環境の整備

- ①⑨ 地域情報化の推進（インターネット環境）
- ②⑩ 生活排水処理の推進
- ③⑪ 水道水の安定供給
- ④⑫ 市街地の整備
- ⑤⑬ 住宅の整備

環境づくり

- ⑥⑭ 快適環境の創出（自然・ごみ処理）
- ⑦⑮ 循環型社会の推進（リサイクル・再生エネ）

市民生活の安全確保

- ⑧⑯ 防災体制の充実
- ⑨⑰ 消防・救急体制の充実
- ⑩⑱ 地域安全対策の充実

学校教育の推進

- ⑪⑲ 学校教育の充実

生涯学習・スポーツ・文化の推進

- ⑫⑳ 生涯学習の推進
- ⑬㉑ スポーツの推進
- ⑭㉒ 芸術・文化の振興

市民参加と地域づくりの推進

- ⑮㉓ 地域コミュニティの活性化
- ⑯㉔ ライフデザインの支援（男女共同参画）
- ⑰㉕ 国際交流の推進
- ⑱㉖ 鹿角ライフの促進（移住定住）

設問 19 最後に、市の政策・事業・各種手続き等について知りたいことや、市に対する提言、改善要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

[illegible]

以上で市民アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

令和 2 年度

市民アンケート実施結果報告書

令和 2 年 8 月

鹿角市総務部政策企画課総合戦略室

電話 : 0186-30-0201

FAX : 0186-30-1122

E-mail : kikaku@city.kazuno.lg.jp